

# 栗山町第6次総合計画

平成27年度～平成34年度

## 【基本構想】

- I 計画策定の趣旨・・・P 1
- II 計画の体系・・・P 2～ 3
- III まちづくりの基本目標・・・P 4～13
- IV 計画の運用・・・P 14
- V 町財政中長期試算・・・P 15

# I 計画策定の趣旨

## (1) 計画の目的・位置付け

本計画は、平成 27 年度から平成 34 年度まで、8 年間の町政の進むべき方向性を明らかにし、その具体化に向けた政策、施策、事業（以下「政策等」）の総合的かつ計画的な推進を目的に策定するものです。

また、本計画は、町が定める全ての計画の最上位に位置するものであり、計画期間内に町が進める全ての政策等は、総合計画に根拠を置くものとします。

\* 計画策定の根拠条例

栗山町自治基本条例第 25 条 (平成 25 年 4 月 1 日施行)

栗山町総合計画の策定と運用に関する条例 ( " )

## (2) 計画の役割

本計画は、「町財政の健全運営」と「個性ある自律したまちづくり」の両立を前提に、町民全体で共有する「まちの将来像（将来ビジョン）」を定め、その具体化に向けた政策等を効率的かつ効果的に実行するための指針となるものです。

### 【 町民との情報共有 】

- 町民が、目指すべきまちの将来像（将来ビジョン）を共有する手段としての役割
- 町が進める政策等が分かりやすく体系化され、その進捗や成果等を町民が理解できる手段としての役割

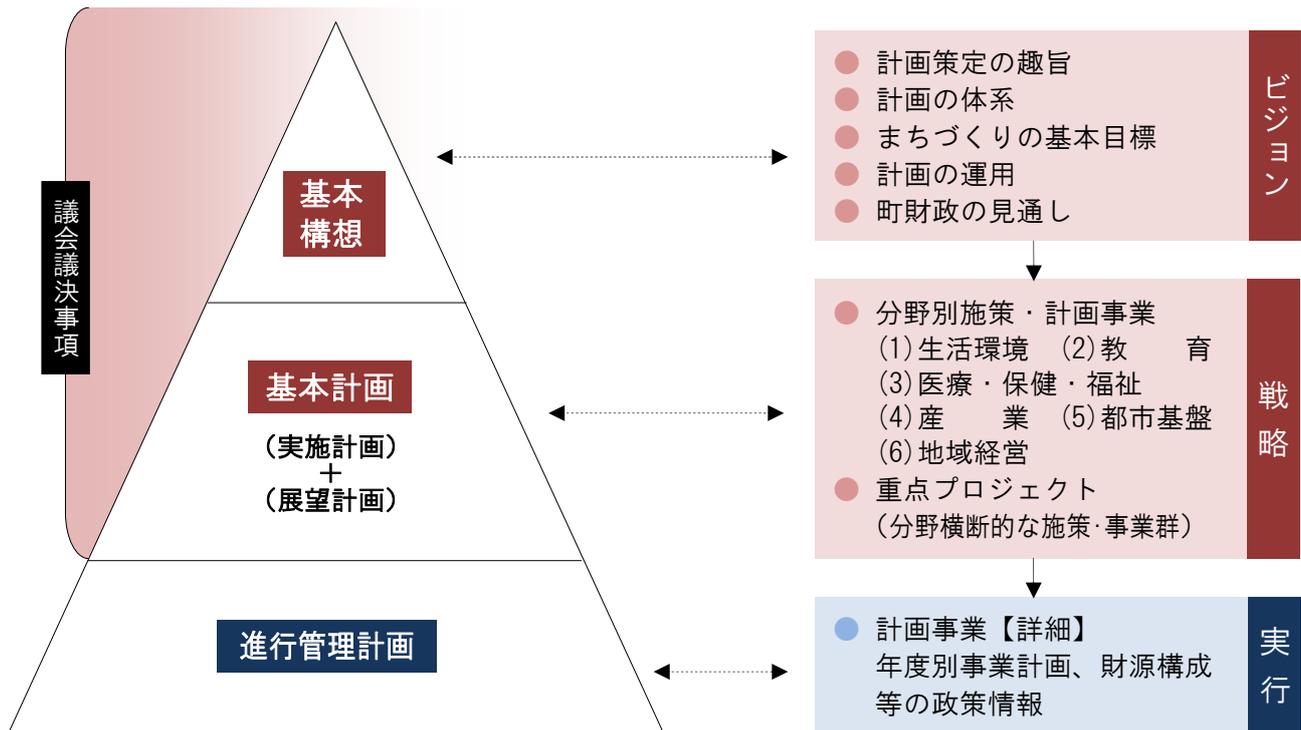
### 【 効率的かつ効果的な政策実行 】

- 予算編成や行財政改革推進計画等と連動し、限られた財源を効果的に活用する役割
- 政策評価制度と連動し、政策等の検証・改善により行政活動の生産性を高める役割
- 各政策分野の基本的な計画（分野別個別計画）との整合性が図られ、一体的なまちづくりを推進する役割
- 主要な地域課題に対応する分野横断的な重点政策（重点プロジェクト）を設定し、個性的なまちづくりを推進する役割

## Ⅱ 計画の体系

### (1) 計画の構成

本計画は、「基本構想」、「基本計画」、「進行管理計画」の3層で構成され、このうち、「基本構想」と「基本計画」の策定・改定・見直し等は、議会の議決の対象となります。



#### 【 基本構想 】

基本構想は、まちの将来像や重点政策方針、分野別政策の基本方針など、まちづくりの基本目標を定めるほか、計画の財源（町財政の見通し）、改定・見直し手続きなど、計画の運用に関する基本ルール等を定めるものです。

#### 【 基本計画 】

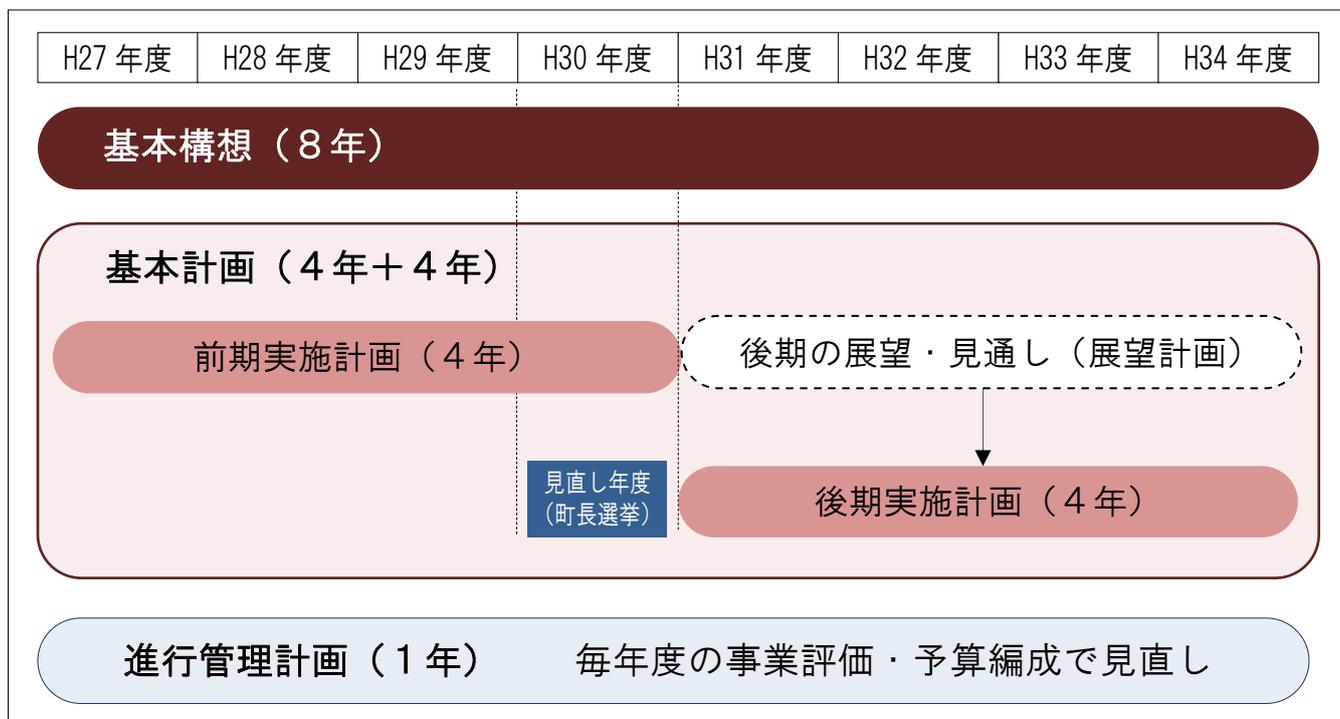
基本計画は、分野別政策の基本方針に基づく施策・計画事業を定めるほか、重点政策方針に基づく分野横断的な重点プロジェクトを定めるものです。

#### 【 進行管理計画 】

進行管理計画は、基本計画における個々の計画事業の進行を適切に管理するため、年度別の事業計画（事業内容と事業費）や、財源構成等を記載した詳細の政策情報であり、毎年度、事業評価の結果等を含めて公表するものです。

## (2) 計画の期間

社会経済情勢への対応や町長任期との整合性を図るため、計画期間は8年とします。ただし、計画期間中に町長が交代した場合は、必要に応じて計画期間を見直します。



### 【 基本構想 】

平成27年度～平成34年度の8年間とします。

### 【 基本計画 】

実施計画（前期）4年と、展望計画（後期）4年で構成します。

- ・実施計画（平成27年度～平成30年度）  
財源調達を含めて、前期4年で実施が確実に見込まれる政策等で構成します。
- ・展望計画（平成31年度～平成34年度） → 後期実施計画  
将来を展望する政策構想と、総合計画の策定時点では緊急性が低い政策等により構成します。

\* 展望計画に掲げた政策構想等については、前期4年目に施策・事業評価の結果や町長公約等を踏まえた総合的な再検討と議会の議決を経て、後期実施計画に反映されます。

### 【 進行管理計画 】

毎年度（1年ごと）の事業評価・予算編成で見直しを行います。

# Ⅲ まちづくりの基本目標

## (1) まちづくりの基本理念

### ① 情報共有のまちづくり

まちの将来像や政策等の目標・成果などを町民が共有できるよう、適切な町政情報の公開・提供を前提としたまちづくりを推進します。

### ② 町民参加のまちづくり

町民一人ひとりが主体的に参加・参画するまちづくりを推進します。また、町民が政策等の形成過程に参加できる機会の充実を図ります。

### ③ 連携・協働のまちづくり

重点政策方針に基づく分野横断的な政策展開など、町民相互、町民と行政が連携・協働するまちづくりを推進します。

### ④ 持続可能な自律したまちづくり

地方分権時代に対応した自律したまちづくりを推進するとともに、町財政の健全運営と個性的で効果的な政策展開を両立した、持続可能なまちづくりを推進します。

## (2) まちづくりの合言葉・まちの将来像

**ふるさととは栗山です。**

(まちづくりの合言葉)

**～ 誰もが笑顔で、安心して暮らすまち ～**

(まちの将来像)

今後8年間における、町民全体のまちづくりの合言葉を「ふるさととは栗山です。」とします。

積み重ねられた町の歴史と先人の夢をつなぎ、次世代に誇れるふるさと栗山を築いていくため、町民一人ひとりが主役となり、和衷協力の精神で地域に根差したまちづくりを進めます。

また、目指すべき理想のふるさと栗山の姿を現す「まちの将来像」については「誰もが笑顔で、安心して暮らすまち」とします。暮らしの本質的な豊かさに恵まれた、いつまでも住み続けたいと思えるまちを目指します。

**“笑顔”**

- ・次代を担う子どもたちが夢・希望を描くことができるまち
- ・町民一人ひとりが生きがいを持てる、文化豊かな賑わいのあるまち

**“安心”**

- ・町民誰もが安心して暮らすことができるまち
- ・町民の心がふれあい、共に支え合う住みよいまち

## (3) 重点政策方針

### ① 子どもたちの笑顔が輝くまち 【若者定住対策】

若者世代の生活満足度を高める、子育て・教育環境のさらなる充実を図るとともに、移住・定住促進に向けた取り組みを進め、「子育てするなら栗山で」と町内外に認知される、生活ブランド力を高めるまちづくりを推進します。

#### 【政策課題】

- 町外（近隣都市）から通勤する若者世代の定住促進
  - \* 将来人口の推計：20～44歳（若者世代）平成27～34年で449人減少（△16.2%）
  - \* 町外からの通勤者：20～44歳（若者世代）平成22年国勢調査：829人
- 子育て・教育環境の充実による、若者世代に対する生活ブランド力の向上
- 医療・都市間交通アクセスなど、若者世代が求める生活環境の充実
- 若者世代が求める雇用環境づくりの推進

#### 【重点的に実施する施策群】

##### 【重点施策1】 若者世代が移住・定住しやすい環境づくりを推進します。

- 若者世代が求める情報を総合的に発信します。
- 若者世代が求める住環境・雇用環境づくりを推進します。
- 都市圏への交通アクセス向上に向けた検討を進めます。
- 移住体験の機会づくりを推進します。



##### 【重点施策2】 安心して子育てができる環境づくりを推進します。

- 子育て家庭の経済的な支援（医療費など）を充実します。
- 子育て・発達支援や保育サービスなどを充実します。
- 各公園施設の安全確保と利便性の向上を図ります。



##### 【重点施策3】 特色ある豊かな教育環境づくりを推進します。

- 学校教育におけるICT教育・英語教育を充実します。
- 児童生徒の学力向上に向けた指導体制等を充実します。
- 地域資源を活かした「ふるさと教育」を充実します。
- 児童・生徒のスポーツ・文化活動を支援します。
- 栗山高校生の就業拡大のため、各種資格取得の支援を行います。



## ② 生涯を自分らしく暮らすまち ..... 【健康寿命延伸】

町民全体の健康づくり意識を高め、心身の健康度が高い町民が、生涯にわたって自分らしく、心豊かな暮らしができるようにするとともに、元気な高齢者が、まちづくりの担い手として社会に参加し、活躍できるまちづくりを推進します。

### 【政策課題】

- 町民全体の健康管理に対する意識の向上
- 町民の健（検）診受診率の向上
  - \* 特定健診受診率 近隣町 58.3% : 栗山町 23.7%
  - \* がん検診受診率 近隣町 38.5% : 栗山町 14.2%
- 町民の生活習慣（食生活・運動習慣・禁煙・適正飲酒など）の改善

### 【重点的に実施する施策群】

#### 【重点施策1】 町民全体の健康意識を醸成します。

- 町民・関係団体などと連携した、健康管理に関する意識の高揚を推進します。
- 地域や企業・団体による健康づくり活動を支援します。

#### 【重点施策2】 生活習慣改善と疾病予防を推進します。

- 妊娠期・乳幼児期からの生活習慣づくりを推進します。
- 若年層の勧奨強化を含め、健（検）診受診率の向上を図ります。
- 町民の運動習慣づくりと、生涯スポーツを推進します。
- 高齢者の要介護状態発生を防ぐ、介護予防（生活機能の維持・向上）を推進します。

#### 【重点施策3】 高齢者による社会参加の環境づくりを推進します。

- 高齢者の多様な学びの機会づくりを推進します。
- 高齢者の居場所・活動の場づくりを推進します。
- 高齢者の生活・活動のための交通手段を確保します。



### ③ 人と自然が共生するまち ..... 【自然環境保全・再生】

子どもたちの教育環境づくりのため、町民全体で身近な自然・里山環境を保全・再生する運動を推進します。また、自然・里山環境を活かした「ふるさと体験教育」や、都市農村交流事業を展開し、全国に里山ブランドを発信します。

#### 【政策課題】

- 自然・里山環境の保全・再生活動の担い手（リーダー）の確保・育成（町内児童・生徒等の自然体験教育の継続性の確保）
- 町民参加による自然環境保全・再生運動の再構築（オオムラサキの森づくり、ハサンベツ里山づくりなどの継続性の確保）
  - \*ハサンベツ里山の日への参加者が減少傾向
  - \*町内児童生徒の自然体験活動が増加（延2,200名/年）

#### 【重点的に実施する施策群】

##### 【重点施策1】 自然教育中長期ビジョンを策定し、推進体制を整備します。

- 町民参加による自然教育中長期ビジョン・推進計画を策定し、その目的・目標などを広く町民と共有します。
- プロジェクトの中心的な担い手（リーダー）の確保・育成を図ります。

##### 【重点施策2】 町民参加による自然環境保全・再生運動を推進します。

- 自然関係団体による主体的な保全・再生運動を支援します。
- オオムラサキの森づくり・ハサンベツ里山づくりなど、広く町民が保全・再生運動に参加する機運・機会づくりを推進します。

##### 【重点施策3】 自然体験教育の充実を図ります。

- 児童生徒による「ふるさと自然体験教育」プログラムを充実します。
- 町外の小中学校等の受入など、グリーン・ツーリズムとも連携した都市圏との交流事業を推進します。



## ④ 地域の潜在力を活かすまち

## 【産業活性化対策】

基幹産業である農業の基盤を活かし、商工業と連携した6次産業化の推進や、観光・交流産業の活性化を図ることで、雇用の場の創出や、交流人口拡大、多面的な経済効果の創出など、地域資源を活かしたまちづくりを推進します。

### 【政策課題】

- 農業基盤を活かし、商工業などが連携した6次産業の創出
- 観光・交流産業の拡大を効果的に推進する仕組み・体制の整備
- 各産業の担い手・後継者の育成

### 【重点的に実施する施策群】

#### 【重点施策1】 農業基盤を活かした6次産業化を推進します。

- 6次産業化に取り組む町内農業者等を支援します。
- 栗の活用などの新たな特産品開発及び販路拡大を推進します。
- 農産物を活かした企業の立地促進を推進します。

#### 【重点施策2】 地域資源を活かした観光・交流産業づくりを推進します。

- 観光推進体制を構築し、観光振興計画に基づく事業を推進します。
- 自然・農村環境を活かした都市農村交流（交流人口拡大と多面的な経済効果の創出）を推進します。

#### 【重点施策3】 各産業の担い手育成を推進します。

- 農業の担い手育成を推進します。
- 空き店舗対策を含めた商工業の担い手育成を推進します。



## (4) 計画期間中の目標人口

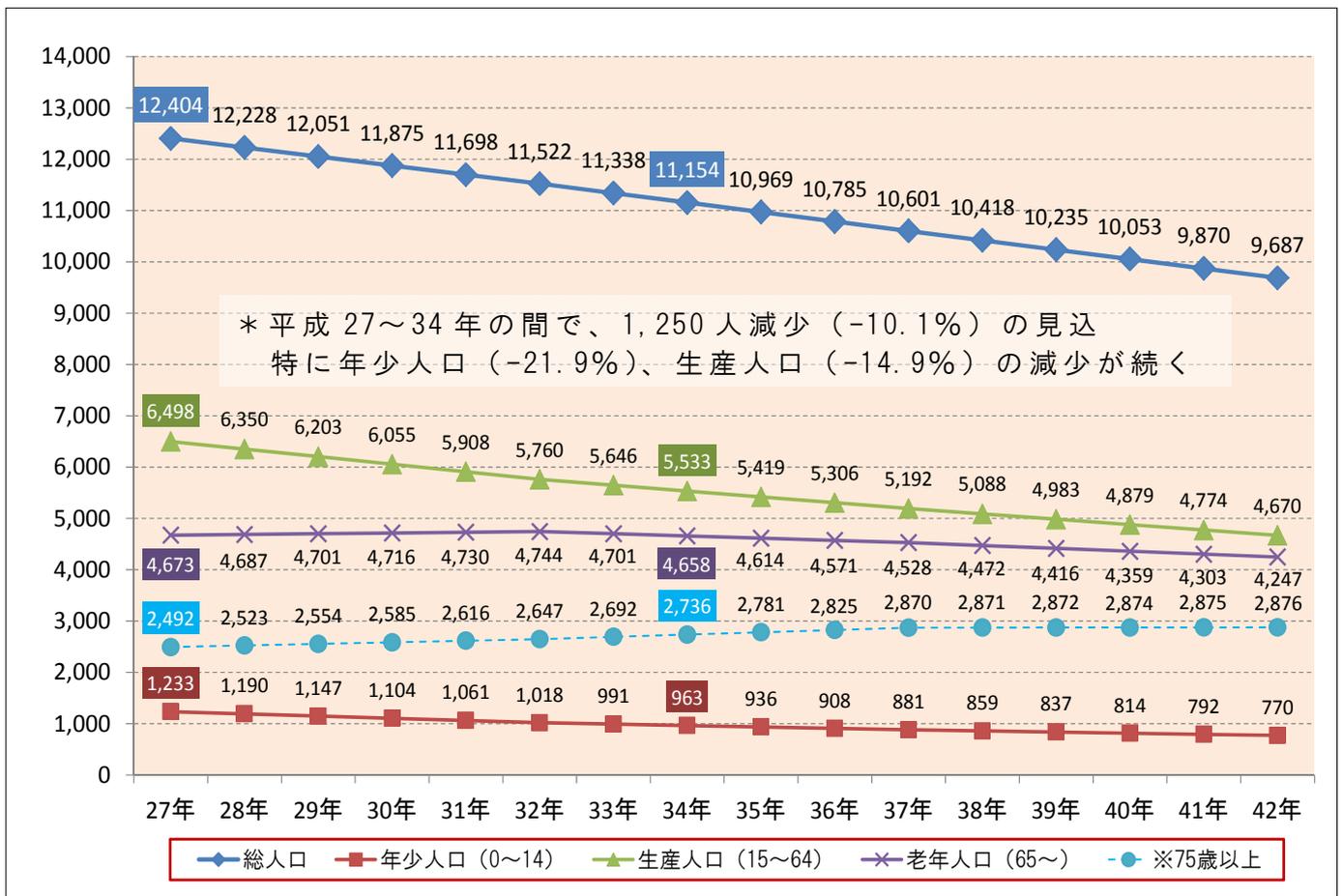
平成 34 年（10 月時点） = 12,000 人

		H27 年	H28 年	H29 年	H30 年	H31 年	H32 年	H33 年	H34 年
推計人口	人口	12,404	12,228	12,051	11,875	11,698	11,522	11,338	11,154
	高齢化率	37.7%	38.3%	39.0%	39.7%	40.4%	41.2%	41.5%	41.8%
目標	人口	12,453	12,388	12,323	12,257	12,192	12,127	12,052	12,000
	高齢化率	37.5%	38.0%	38.4%	38.9%	39.3%	39.8%	39.8%	39.8%

**人口の考え方** … 平成 22 年 10 月時点の国勢調査人口を基準とし、本推計・目標における人口は「町内に 3 ヶ月以上住んでいる常住者」としています。

**目標人口の設定** … 重点政策として取り組む「若者世代が移住・定住しやすい環境づくり」などの成果として、若者世代の人口の変化率が、計画期間中の 8 年間で横ばい（減少がとまる）から微増となる見込みで目標設定しています。

### 【参考データ】 栗山町の将来人口推計【コーホート要因法】



## (5) 分野別政策の基本方針

### I. 生活環境

#### 安心して暮らせるふるさとづくり

#### (1) ごみ処理

- 適正な分別の推進によるごみの発生抑制（減量化）とともに、中間処理による再資源化を進めるなど、循環型社会の形成を推進します。
- 埋立てごみのさらなる減容により最終処分場の延命化を図るとともに、今後の高齢化の進展等を見すえ、広域共同（焼却）処理への参加等による、安定したごみ処理体制を確立します。

#### (2) 環境・エネルギー

- 全町的な環境美化を推進します。
- 地球温暖化防止のための温室効果ガスの発生抑制と、再生可能エネルギー導入による環境にやさしいまちづくりを推進します。

#### (3) 防 災

- 地域組織による自主的な防災活動の充実を図るとともに、町民の防災意識を高める取り組みを推進します。
- 行政の危機管理体制を確立するため、災害用物資（食料・資機材・燃料等）の確保を進めるとともに、災害情報の適正な把握と町民への伝達手段の充実を図ります。

#### (4) 消防・救急

- 適正な消防・救急体制を確保するため、消防施設・車両等の計画的な更新を行います。
- A E D（自動体外式除細動器）の普及・利活用を推進します。
- 消防団活動の充実・強化を図ります。

#### (5) 生活安全

- 交通安全施設の整備と交通安全運動・教育を推進します。
- 防犯・安全運動の推進など、地域防犯活動を推進します。
- 知識啓発及び相談体制の充実など、消費生活保護を推進します。

### II. 教 育

#### 人々が輝くふるさとづくり

#### (1) 学校教育

- I C T利活用や・英語教育の充実など、特色ある学校教育を推進します。
- 児童生徒の基礎学力の定着・向上のため、指導体制の充実を図ります。
- 児童生徒の豊かな心と健やかな身体を育成するため、社会体験・スポーツ・文化活動の充実や、学校における読書環境の向上などを推進します。
- 地域に開かれた学校づくりと、地域総ぐるみの「ふるさと教育」を推進します。
- 学校施設の適正な維持管理を行います。
- 地元・道内産の食材活用など、安全・安心な学校給食の提供を推進します。
- 学生確保対策による介護福祉学校の健全運営を図るとともに、高齢社会を支える人材の育成を推進します。

## (2) 生涯教育

- 家庭の教育力向上とより良い家庭環境づくりを推進します。
- 人間性豊かな青少年を育成するため、自然・社会体験等の青少年体験活動を推進します。
- 町民の多様な学びの環境づくりと、生きがい創出を推進します。
- 町民の生涯学習活動の基盤を確保するため、社会教育施設の適正な維持管理を行います。

## (3) 自然環境教育

- 人と自然の共生推進に係る町の方針を宣言し、身近な自然・里山環境の保全・再生と教育環境づくりを継続するとともに、町民意識の向上と担い手づくりを推進します。
- ハサンベツ里山地区や「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」を拠点に、ふるさと自然体験教育を推進します。

## (4) スポーツ

- 年齢や技術・技能の段階に応じた生涯スポーツの環境づくりを推進します。
- 町民のスポーツ活動の基盤を確保するため、社会体育施設の適正な維持管理を行います。

## (5) 芸術・文化

- 町民が芸術・文化に親しみ、活動することができる環境づくりを推進します。
- 歴史的建造物の保存・継承など、地域の文化財保護と活用を推進します。

## (6) 国際・地域間交流

- 青少年の海外派遣研修など、町民による国際交流の機会づくりを推進します。
- 姉妹都市（宮城県角田市）との青少年交流など、地域間交流を推進します。

# Ⅲ. 医療・保健・福祉

## 健幸に暮らせるふるさとづくり

### (1) 保 健

- 生活習慣病予防を推進するため、町民への啓発活動や健康教育の推進、各検(健)診受診率向上などの取り組みを推進します。
- 町民の生活習慣改善を推進するため、食生活改善や運動習慣の習得などを推進します。
- 健康づくりに係る町の方針を宣言し、町民・関係団体と協働した健康を守る地域環境づくりを推進します。

### (2) 地域医療

- 地域に必要な医療水準の維持に努めるとともに、将来的な医療環境の検討を進めます。
- 高齢社会に対応するため、在宅療養生活を支える医療供給体制づくりを進めます。
- 町民の安心な暮らしを守る救急医療体制の維持・確保を行います。

### (3) 児童福祉

- 子ども・子育て支援に係る町の方針を宣言し、子育て家庭への支援や、子育てしやすい地域環境づくりを推進します。
- 子どもの健全な活動の場づくりと、安全で利用しやすい施設環境の整備を推進します。
- 関係機関と連携した保育・教育環境の充実を図ります。
- 要保護児童の対策を強化するため、効果的な組織体制づくりを進めます。
- 心身に障がいや発達の遅れがある子どもへの相談・指導機能等の充実を図ります。

## (4) 高齢者福祉

- 高齢者が地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、介護予防事業を推進するとともに、在宅生活支援の充実を図ります。
- 医療と介護の連携を含めた地域包括ケア体制の構築を進めます。
- 各市街地域の拠点施設整備や、介護福祉学校と介護事業所との連携による事業展開など、地域に密着した高齢者福祉事業の充実を図ります。

## (5) 地域福祉

- 高齢者の社会参加と活動の場づくりを推進します。
- 高齢者等を地域で見守り・支え合う環境づくりを推進します。

## (6) 障がい者福祉

- 障がい者の社会参加と地域での自立した生活を支援します。

# IV. 産 業

## 賑わいと活力あるふるさとづくり

### (1) 農林業

- 後継者の育成や新規就農支援、集落営農の育成など、農業の担い手対策を進めます。
- 優良農地の確保、計画的な基盤整備など、生産性の高い農業・農地づくりを推進します。
- 景観形成・保全など、農業・農村の持つ多面的な機能を守り育てます。
- 6次産業化の支援や都市農村交流（グリーン・ツーリズム）の推進など、魅力的な農業・農村ブランドづくりを推進します。
- 森林が持つ多面的な機能を発揮するため、適正な森林管理を推進します。

### (2) 商工業

- 空き店舗活用や活性化イベントの支援など、魅力ある商店街づくりを推進します。
- 積極的な企業誘致活動を推進します。
- 商工業者の経営安定・経営改善支援を推進します。

### (3) 観光・交流産業

- 観光推進体制を構築し、観光振興計画の策定と計画に基づく事業推進を図ります。
- 新たな特産品の開発と販路拡大を支援します。
- 宅地分譲地等を活かした町内への移住・定住を促進します。

### (4) 雇用環境

- 季節労働者の通年雇用化など、労働者の労働環境の向上と福祉向上を図ります。

# V. 都市基盤

## 快適でやすらぐふるさとづくり

### (1) 道路・交通

- 計画的な道路網の整備と適切な道路環境の維持を図ります。
- 冬期間の交通確保のため除雪体制を整備します。
- デマンド方式のバス運行やコミュニティバスの導入など、高齢社会に対応した公共交通システムの充実を図ります。

## (2) 住宅・住環境

- 住宅団地の造成や公営住宅の建替えなど、計画的な宅地・住宅の整備を進めます。
- 空き家対策や住宅改修・解体助成など、地域の住環境づくりを進めます。
- 若者世代の定住促進に向けた環境づくりを推進します。

## (3) 上・下水道

- 上・下水道施設・設備の適正な維持管理と効率的な処理体制の確保を推進します。
- 汚水処理費用負担の統一化を推進します。

## (4) 河川

- 河川環境の保全・整備と、自然河川づくりを推進します。

## (5) 街なみ・景観

- 将来を見据えた市街地（北部・中部・南部）形成を推進します。
- 町民と行政の協働による魅力的な景観の保全・形成を推進します。
- 各公園施設の安全確保と魅力向上を推進します。
- 御大師山周辺（栗山公園等）の利活用に向けた、施設の改修・整備を進めます。

# VI. 地域経営

## みんなが主役のふるさとづくり

### (1) コミュニティ活動

- まちづくり協議会やNPO法人等による公益的な活動を支援します。
- 町民団体等が連携・協力する地域活性化・賑わい創出活動を支援します。

### (2) 行政経営

- 総合計画に基づく効果的な施策・事業の展開を図ります。
- 限られた財源の有効活用と行財政改革の取り組みにより、健全な財政運営を推進します。
- 公共施設を含む町有財産の適正な維持管理を進めます。
- 行政職員の育成や組織体制の見直しなど、効果的な行政体制を構築します。
- 行政事務の効率化やサービス向上のため、行政情報化を推進します。
- 近隣自治体等との広域連携を推進します。

### (3) 情報共有と町民参加

- 行政情報の公開・提供に関する仕組みの充実を図ります。
- コミュニティ活動の活性化に向けた情報共有インフラの整備を推進します。
- 多様な世代が町政に参加できる機会の充実を図ります。

## Ⅳ 計画の運用

### (1) 計画と予算

町が進める政策等は、原則として総合計画に基づき予算化します。

毎年度の予算要求・予算査定等は計画事業単位で実施され、その予算編成の結果は、都度、進行管理計画に反映されます。

### (2) 計画の見直し

後期実施計画の策定（中期の改定）時に限らず、政策等の追加・変更・廃止等の必要が生じたときは、議会の議決を経て、総合計画を見直すことができます。

総合計画の見直しを行う場合は、栗山町自治基本条例の各規定に基づき、可能な限り町民への情報公開と町民の参加機会の提供に努めるものとします。

#### \* 政策等の追加・変更・廃止等を要する場合

- (1) 自然災害等の緊急事態（町民の生命・財産に影響する危機）への対応
- (2) 国の経済・財政対策等の緊急政策への対応
- (3) 社会経済情勢の急激な変化への対応
- (4) 総合計画の策定・改定年度以外の年度で町長が交代した場合の対応 など

### (3) 計画の評価

本計画に基づく政策等を効果的かつ効率的に進めるため、施策・事業の評価を実施します。毎年度半期を終えた段階の事中評価を行うこととし、行政内部の自己評価（内部評価）はもちろん、評価の客観性を高めるため、町民等による外部評価も実施します。

また、評価結果を公表するとともに、その改善策等を次年度の予算編成に反映します。

#### \* 事業評価

基本計画に定める計画事業単位で毎年度、評価を実施する。事業に関わる人件費を含めたトータルコストにより評価を行う。

#### \* 施策評価

前期実施計画においては4年目（中期改定年度）、後期実施計画においては、3年目に施策単位での評価を実施する。計画事業の総点検・新規立案などにつなげる。

# V 町財政中長期試算（一般会計）

本計画に定める政策等を実施した場合の町財政の中長期試算は下記のとおりです。  
その結果、平成30年度年度までは黒字収支で推移しますが、平成31年度以降、毎年度の収支不足（赤字）が生じ、平成34年度までに、約4億7千万円の累積赤字が見込まれます。

（単位：百万円）

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
歳出	人件費	1,138	1,176	1,181	1,182	1,188	1,200	1,171	1,178
	公債費	1,163	1,086	1,120	1,293	1,249	1,226	1,105	1,130
	投資的事業費	1,057	824	1,043	984	526	866	589	510
	義務費維持費	1,313	1,263	1,294	1,323	1,298	1,299	1,278	1,285
	一般施策	3,046	2,973	2,973	2,868	2,791	2,773	2,762	2,747
	計	7,717	7,322	7,611	7,650	7,052	7,364	6,905	6,850
歳入	町税	1,209	1,205	1,203	1,169	1,167	1,164	1,133	1,131
	地方交付税	3,168	3,008	3,002	3,095	3,046	3,033	2,961	3,005
	町債	914	772	834	943	579	739	598	552
	その他	2,374	2,349	2,415	2,217	2,108	2,224	2,077	2,021
	繰入金	102	38	207	276	49	39	38	38
	計	7,767	7,372	7,661	7,700	6,949	7,199	6,807	6,747
収支差引	50	50	50	50	△103	△165	△98	△103	
収支差引累計額	-	-	-	-	△103	△268	△366	△469	



## 第4次行財政改革推進計画に基づく改革の推進【赤字解消】

平成34年度までに見込まれる累積赤字額約4億7千万円の解消と、町の基金（預金）の一定額保持のため、平成27年度から平成34年度までの8年間を推進期間とする、第4次行財政改革推進計画に基づく改革を推進していきます。

この改革の効果により、本計画の政策等の実行財源が確保されるとともに、健全な財政運営が確保・継続されます。

改革項目	効果額
(1) 行政効率を高める行政内部の改革 ・特別職および一般職給与・手当の削減 ・職員数の適正化および組織機構の見直し ・公共施設マネジメントの推進 ・民間委託業務の拡大	約4億3千万円
(2) その他の行財政改革 ・地方公営企業の経営健全化 ・予算マイナスシーリングの設定 ・財政規律ガイドライン（財政運営指針）の策定 ・町税等の収納率向上と滞納額の縮減 ・多様な手法による自主財源の確保	約1億8千万円
(3) 町民負担を伴う改革 ・社会経済情勢等に応じた税率等の見直し ・受益者負担の適正化に係る使用料・手数料の見直し	今後検討 *効果額を計上していません。

# 栗山町第6次総合計画

平成27年度～平成34年度

## 【基本計画】

I	生活環境	・	・	・	・	・	・	P	1～5
II	教 育	・	・	・	・	・	・	P	6～15
III	医療・保健・福祉	・	・	・	・	・	・	P	16～23
IV	産 業	・	・	・	・	・	・	P	24～29
V	都市基盤	・	・	・	・	・	・	P	30～36
VI	地域経営	・	・	・	・	・	・	P	37～41
VII	重点プロジェクト	・	・	・	・	・	・	P	42～51

# I 生活環境

## 安心して暮らせるふるさとづくり

### (1) ごみ処理

#### 主な課題

- ◆平成 23 年度より可燃ごみの炭化処理を実施してきましたが、炭化施設の廃止に伴い、最終処分場の新たな延命対策と、さらなる埋め立てごみの減量対策が必要となっています。
- ◆高齢化の進展などを見すえ、広域組合への加入による共同（焼却）処理への転換など、将来の安定したごみ処理体制の構築が急務となっています。

#### 施策① ごみの減量化・資源化の推進

- ごみの再資源化による循環型社会の形成
- 適正な分別の推進とごみの発生抑制

計画事業	事業概要	担当課
中間処理（リサイクル・堆肥化）を行い、再資源化を推進します。	資源ごみのリサイクル推進、生ごみ・下水道汚泥の堆肥化（栗肥土＝クリピットとして町民に還元）、外部処理委託の推進	環境政策課 環境政策 G
<b>充実</b> ごみ分別の正しい知識の普及啓発と協力体制づくりを進めます。	地域・団体・事業所などを対象とした説明会・施設見学会の実施、分別啓発用パンフレットの作成、小中学生の分別学習の推進 など	環境政策課 環境政策 G

#### 施策② ごみ処理体制の整備

- 埋立てごみの減容による最終処分場の延命化
- 広域処理による安定したごみ処理体制の確立

計画事業	事業概要	担当課
老朽化したごみ処理施設・設備などの計画的な更新・修繕を行います。	堆肥化施設上屋ビニール修繕・脱臭施設等の修繕、資源リサイクルセンター圧縮梱包器等の更新・修繕、作業用重機・ごみ収集車の更新 など	環境政策課 環境政策 G
<b>充実</b> 埋立てごみの減容を推進します。	埋立てごみの破碎処理の実施（最終処分場の延命化）、外部焼却処理委託の推進	環境政策課 環境政策 G
<b>新規</b> 広域組合加入による共同処理により、安定したごみ処理体制を構築します。	広域組合（道央廃棄物処理組合）への加入、焼却処理（平成 36 年 4 月施設稼働予定）に向けての基本計画、建設用地選定・購入、施設等建設 など	環境政策課 環境政策 G

## (2) 環境・エネルギー

### 主な課題

- ◆地球温暖化対策に関する実行計画（事務事業編・区域施策編）の策定による温室効果ガスの発生抑制と、再生可能エネルギー導入による環境にやさしいまちづくりの推進が必要となっています。

### 施策① 地域環境美化の推進

- 全町的な環境美化の推進

計画事業	事業概要	担当課
町内会・自治会などによる、地域環境美化の運動を支援します。	年2回（春・秋）の全町一斉清掃の実施、町内会・自治会などの地域清掃活動（児童公園など）に対するボランティア袋の提供	環境政策課 環境政策G

### 施策② 地球温暖化対策の推進

- 地球温暖化防止のための温室効果ガスの発生抑制

計画事業	事業概要	担当課
<b>充実</b> 温室効果ガス排出削減などに向けた、地球温暖化対策実行計画を策定します。	栗山町役場の対策を定める実行計画（事務事業編）と、町内全域の取り組みを定める実行計画（区域施策編）を策定	環境政策課 環境政策G

### 施策③ 再生可能エネルギー活用の推進

- 再生可能エネルギー導入による環境にやさしいまちづくりの推進

計画事業	事業概要	担当課
<b>新規</b> 環境にやさしい循環型社会への貢献を目指す企業を支援します。	太陽光・バイオマス・雪氷冷熱などの再生可能エネルギーを導入する町内事業者を支援（導入費用の一部を助成）	ブランド推進課 ブランド推進G
<b>充実</b> 公共施設などの再生可能エネルギー導入を推進します。	住宅（家庭）用太陽光発電設備の導入を助成、災害対策も兼ねた主要公共施設（役場庁舎など）への太陽光発電設備の導入  【後期展望】 木質バイオマス、風力発電などの再生可能エネルギー活用に向けた調査検討	環境政策課 環境政策G

## (3) 防災

### 主な課題

- ◆各地域（町内会・自治会等）における自主防災組織設置と活動支援が必要となっています。
- ◆栗山市街（北部）地区の備蓄場所（備蓄庫）の確保が必要となっています。
  - \* 南部：南部公民館、中部：旧農業集落排水処理場、北部：役場別館（建物の老朽化）
- ◆災害情報の伝達手段（各世帯）の確保が必要となっています。

### 施策① 地域防災活動の推進

- 地域組織を活かした災害時における協力体制の確立

計画事業	事業概要	担当課
<b>新規</b> 自主防災組織の設置により、地域防災活動を推進します。	まちづくり協議会などによる自主防災組織の設置支援（助成）・育成、防災士（地域リーダー）の養成 など	総務課 広報・防災 ・情報 G

### 施策② 行政危機管理体制の整備

- 災害用物資（食料・資機材・燃料等）の計画的な備蓄
- 災害時における町民への情報伝達手段の確保
- 降雨・降雪など気象状況の的確な把握

計画事業	事業概要	担当課
<b>充実</b> 災害用物資の計画的な備蓄を進めるとともに、備品保管倉庫を整備します。	備蓄計画に基づく食料・資機材（毛布・ストーブ・投光器など）の確保、役場敷地内に備蓄倉庫整備、家庭備蓄の啓発 など	総務課 広報・防災 ・情報 G
<b>新規</b> 災害時の電源・燃料確保を推進します。	各地区の主要避難所に非常用電源設備を整備、電源及び暖房機器などの燃料確保に向けた供給業者との災害時協定の締結 など	総務課 広報・防災 ・情報 G
<b>新規</b> 災害時の情報伝達手段を充実します。	小中学校・各公共施設に対する災害・避難情報の伝達手段（緊急速報配信システム）の構築	総務課 広報・防災 ・情報 G
<b>新規</b> 防災情報システム（気象観測等）を導入します。	早期の避難情報提供のため、町内各地点に気象計測器・ライブカメラを設置（降雨や降雪状況の把握）	総務課 広報・防災 ・情報 G

### 施策③ 防災意識の啓発

- 町民の防災意識の高揚

計画事業	事業概要	担当課
防災訓練の実施と、町民の防災知識の啓発を推進します。	町民・関係機関と連携した総合防災訓練の実施（年1回）、町職員防災訓練の実施（年1回）、町広報などでの防災知識の啓発	総務課 広報・防災 ・情報 G

## (4) 消防・救急

### 主な課題

- ◆平成11年に導入した消防通信指令装置の経年劣化が進み、更新が必要となっています。  
\*通報受理・出動命令・消防団招集等の迅速化、増加する携帯電話からの通報時の位置特定を強化
- ◆サイレン吹鳴装置の更新（デジタル化）が必要となっています。  
\*現在のアナログ無線設備の使用期限が平成28年5月31日までとなっている。
- ◆引き続き、消防施設・車両等の計画的な改修・更新が必要となっています。

### 施策① 消防・救急体制の確保

- 消防車両の計画的な更新による消防・救急体制の確保
- AED（自動体外式除細動器）の普及・利活用による救命率の向上

計画事業	事業概要	担当課
<b>展望</b> 消防車両などを計画的に更新します。	<b>【後期展望】</b> 消防署化学消防ポンプ自動車、救助工作車、指令車、小型ポンプ付水槽車、高規格救急車などの更新を検討	消防署
<b>新規</b> 消防通信指令装置を更新します。	消防署の通信指令装置の更新（通報受理・出動命令・情報提供の迅速化等）	消防署
AEDの活用など救急救命講習を実施します。	救急救命講習の実施、AEDの設置拡大に向けた啓発活動 など	消防署

### 施策② 消防施設の整備

- 消防施設の計画的な更新による消防・救急体制の確保

計画事業	事業概要	担当課
<b>充実</b> 老朽化した消防施設を計画的に改修・整備します。	消防待機宿舎改修、サイレン塔改修、消防署庁舎屋上防水改修 など	消防署

### 施策③ 消防団の充実・強化

- 消防団活動の充実・強化による火災・災害時等の被害軽減

計画事業	事業概要	担当課
消防団施設の更新など、充実・強化を図ります。	分団小型動力ポンプ自動車の更新、各分団除雪機の更新、サイレン遠隔吹鳴システム整備、各分団庁舎の改修・補修 など	消防署

## (5) 生活安全

### 主な課題

- ◆関係団体との連携による、継続的な交通安全運動・教育の推進が必要となっています。
- ◆広域化・悪質化する犯罪（振り込め・還付金詐欺など）に対し、家庭・地域・学校・関係団体との連携を強め、地域ぐるみの防犯活動が必要となっています。
- ◆消費者協会と連携を図りながら、継続的な消費者保護・相談事業の推進が必要となっています。 \*消費者協会会員の高齢化の現状もあり会員増に向けた取り組みも必要。

### 施策① 交通安全対策の推進

- 町民一人ひとりの交通安全意識の高揚
- 危険箇所への警戒標識設置等による交通事故抑止

計画事業	事業概要	担当課
交通安全運動・教育を推進します。	各種団体の協力による交通安全運動・キャンペーンの実施、幼児・児童生徒などの交通安全教育の推進 など	住民生活課 生活安全G
交通安全施設の整備を進めます。	町道への道路警戒標識などの設置	住民生活課 生活安全G

### 施策② 地域防犯活動の推進

- 犯罪の無い安全な地域社会の形成

計画事業	事業概要	担当課
地域の防犯・安全運動を推進します。	栗山地区防犯協会による地域安全運動、地域安全講習会、子ども110番の家事業の支援 など	住民生活課 生活安全G
防犯灯（街路灯）の適切な配置を推進します。	町内会等による防犯灯（街路灯）設置・修理費用の助成、電気料の助成、LED化の推進	住民生活課 生活安全G

### 施策③ 消費者保護の推進

- 知識啓発及び相談体制の充実等による消費生活の保護

計画事業	事業概要	担当課
消費生活に関する啓発活動の支援や相談窓口の充実を図ります。	「消費者まつり」や啓発事業などを行う栗山消費者協会の活動を支援（助成）、消費生活相談員による相談窓口の開設 など	ブランド推進課 ブランド推進G

# Ⅱ 教育

## 人々が輝くふるさとづくり

### (1) 学校教育

#### 主な課題

- ◆地域総ぐるみによる学校教育の創造と、地域の特性を生かした「ふるさと教育」のさらなる推進が必要となっています。
- ◆ICT利活用や英語教育など、社会変化に対応した特色ある教育活動の推進が必要となっています。
- ◆教育機会の均等を保障する就学援助制度の継続が必要となっています。
- ◆各小中学校施設の計画的な改修(栗山中体育館の大規模改修等)が必要となっています。
- ◆アレルギー対応等を含めた、衛生管理基準に適合する学校給食センターの建替えの検討が必要となっています。
- ◆少子化や介護職離れ等により介護福祉学校への入学希望生徒が年々減少しており、事業所と連携した修学資金制度運用など、学生確保に向けた対策が必要となっています。

#### 施策① 確かな学力の育成と特別支援教育の充実

- ICT利活用や英語教育の充実などによる特色ある学校教育の推進
- 指導体制の充実による児童生徒の基礎学力の定着・向上
- 学習や学校生活に困難さを抱える児童生徒への支援
- 教職員の指導力発揮に向けた環境整備

計画事業	事業概要	担当課
<b>充実</b> 学校教育におけるICTの利活用を推進します。	各教室に常設型ICT環境(電子黒板・実物投影機・タブレット端末等)を整備、デジタル教材の導入、利活用の支援 など	教育委員会 学校教育G
<b>充実</b> 小中学校の英語教育の質的向上、充実を図ります。	小学生専属の英語指導助手配置による英語教育の充実	教育委員会 学校教育G
<b>新規</b> 児童生徒の学力向上に向けた指導機能の充実を図ります。	教育委員会事務局に学校教育活動の指導・助言を行う専門職員(1名)を配置、授業力向上に向けた教職員研修機会の充実	教育委員会 学校教育G
各学年において「全国標準学力検査」を実施します。	小学2～6年生・中学校全学年で全校標準学力検査を実施	教育委員会 学校教育G
特別支援教育を推進します。	特別支援教育支援員(学習支援員)の配置(各学校の実情に合わせて配置)	教育委員会 学校教育G
教職員による学校事務(校務)の負担軽減を図ります。	臨時職員配置による学校事務などの補助、校務支援システム(出欠・成績管理、指導要録など)の利活用による校務の情報化	教育委員会 学校教育G

## 施策② 豊かな心と健やかな身体の育成

- いじめや不登校などの問題行動の未然防止と早期発見・解決
- 児童生徒による読書活動の充実
- 児童生徒の豊かな心と健やかな身体の育成

計画事業	事業概要	担当課
小学生のフッ化物洗口を推進します。	各小学校週1回、希望する家庭の児童に低濃度フッ素でのうがいを実施	教育委員会 学校教育G
いじめや不登校などの問題行動の未然防止と早期解決を図ります。	教育相談員の配置（1名）、児童福祉と連携した虐待防止、中学校でのスクールカウンセラー活用（月1回北海道から派遣）	教育委員会 学校教育G
<b>充実</b> 学校の読書環境（図書室）の充実を図ります。	栗山町図書館（指定管理者：NPO法人くりやま）との連携強化による学校図書の充実・活用の推進	教育委員会 学校教育G
<b>充実</b> 「子ども夢づくり基金」を活用し、児童生徒のスポーツ・文化活動を支援します。	児童生徒のスポーツ・文化活動の支援（全道大会以上への参加時に対象経費の一部を助成）、中学生の芸術鑑賞機会の充実	教育委員会 学校教育G
「輝け！栗っ子」児童生徒表彰を行い、子どもたちの意欲を育みます。	努力賞（学校・社会生活での努力）・奉仕賞（社会や個人への奉仕活動）・親切賞（親切な行い）・体育賞・学芸賞の各表彰を実施	教育委員会 学校教育G

## 施策③ ふるさと総がかりによる教育の推進

- 子どもの豊かな育ちを支える地域総ぐるみ教育の実現
- 地域を題材にした学校での「ふるさと教育」の推進
- 各家庭における経済的負担の軽減

計画事業	事業概要	担当課
<b>充実</b> コミュニティスクール（学校運営協議会制度）の導入を進めます。	各小中学校に学校運営協議会を設置し、地域住民・関係者の声を学校経営に反映させた地域とともにある学校づくりの推進	教育委員会 学校教育G
児童生徒の登下校時の安全・安心を確保します。	通学路の定期点検（危険箇所把握）と校区安全マップの作成	教育委員会 学校教育G
ふるさと教育を推進するため、栗山らしい副読本を作成します。	社会科・理科副読本の作成と利活用（小学校3年生に配布）	教育委員会 学校教育G
各家庭の経済的負担（教育費）の軽減を図ります。	要保護・準要保護児童生徒の就学援助（医療費・学用品費など）、幼稚園への通園を希望する保護者の負担軽減 など	教育委員会 学校教育G

## 施策④ 学校施設・設備などの整備

- 学校施設の適切な維持、改修による長寿命化の推進

計画事業	事業概要	担当課
<b>充実</b> 栗山中学校校舎の計画的な改修を行います。	校舎屋上防水工事 ----- 【後期展望】校舎外壁塗装の検討	教育委員会 学校教育 G
<b>新規</b> 栗山中学校体育館の大規模な改修を行います。	非構造部材の耐震化、照明器具 LED 化、外壁改修（断熱）、屋根改修（断熱）、窓の交換、地域開放用玄関の付設	教育委員会 学校教育 G
<b>展望</b> 栗山小学校校舎・体育館の大規模な改修について検討します。	【後期展望】体育館屋根・外壁改修、内装・床・内壁の改修、非構造部材の耐震化、暖房設備更新の検討 など	教育委員会 学校教育 G
<b>充実</b> 角田小学校校舎・体育館の計画的な改修を行います。	体育館耐震改修、ボイラー修繕、体育館屋根塗装、屋上防水改修 ----- 【後期展望】校舎外壁塗装の検討	教育委員会 学校教育 G
継立小学校校舎・体育館の計画的な改修を行います。	体育館屋根塗装 ----- 【後期展望】 校舎外壁塗装、屋上防水改修の検討	教育委員会 学校教育 G
<b>新規</b> 教職員住宅（校長・教頭）を改修します。	住宅新築（栗山小校長・教頭住宅）、住宅改修（栗山中教頭住宅、継立小校長・教頭住宅、角田小校長・教頭住宅）	教育委員会 学校教育 G

## 施策⑤ 安全・安心な学校給食の提供

- 食生活への正しい理解と食習慣の形成
- 学校給食における地産地消の推進
- 安心・安全な学校給食の提供に向けた環境整備

計画事業	事業概要	担当課
栄養教諭による食育事業を実施します。	学校行事などでの食育講話・料理教室の実施、児童生徒の発達に合った食育指導の実施	教育委員会 学校教育 G
地元・道内産の食材活用を推進します。	米・野菜・小麦粉など、地元産を活用した給食提供を推進	教育委員会 学校教育 G

計画事業	事業概要	担当課
安全な給食提供のため、備品・食器などの計画的な更新を行います。	計画的な備品・食器などの更新	教育委員会 学校教育G
<b>展望</b> 学校給食センターの整備(建替え)について検討します。	<b>【後期展望】</b> アレルギー対応を含め、最新設備を有する給食センターの整備について検討	教育委員会 学校教育G

## 施策⑥ 北海道介護福祉学校の運営

- 高齢化社会を支える人材の育成
- 学校施設の適正な維持・改修による長寿命化の推進

計画事業	事業概要	担当課
優秀な介護福祉士を毎年80名輩出し、これからの高齢化社会を支える人材を創出します。	2年制専修学校として介護福祉士を養成、学生確保対策(定員80名の入学者確保)、地域と連携した福祉教育の推進 など	介護福祉学校 事務局
介護福祉学校・学生寮の計画的な改修を行います。	ボイラー更新、実習室冷暖房設備整備、校舎外壁塗装 など  <b>【後期展望】</b> 講堂・学生寮外壁改修、屋上防水改修 など	介護福祉学校 事務局

## (2) 生涯教育

### 主な課題

- ◆ 青少年育成事業に参加できる子どもが限られており、新たな展開が必要となっています。
- ◆ 高齢者大学の受講生の固定化・高齢化が進んでおり、新たな展開が必要となっています。
- ◆ 図書館と教職員との連携強化により、図書館システムを活用した学校での読書活動の充実に向けた取り組みが必要となっています。
- ◆ 町民に親しまれる生涯学習情報の発信（マナビィの発行等）が必要となっています。
- ◆ 老朽化が進む社会教育施設の計画的な改修が必要となっています。

### 施策① 幼児・家庭教育の推進

- 家庭の教育力向上とより良い家庭環境づくりの推進

計画事業	事業概要	担当課
家庭教育の機能を高める啓発・支援を行います。	家庭教育講演会・学習会等の開催、相談ボランティアの育成、家庭教育サポート企業との連携推進 など	教育委員会 社会教育G

### 施策② 青少年教育の推進

- 人間性豊かな青少年の育成

計画事業	事業概要	担当課
自然・社会体験など、青少年の体験活動の機会を提供します。	くりやまキッズクラブ（青少年体験学校）の実施、夏・冬の宿泊体験事業（アドベンチャー・スクール）の実施 など	教育委員会 社会教育G
青少年育成会活動を支援します。	栗山町青少年育成会事業の支援（子ども会リーダー研修、かるた大会、各地区・単位育成会の活動支援など）	教育委員会 社会教育G

### 施策③ 成人・高齢者教育の推進

- 町民への多様な学習機会の提供と地域活動の担い手育成
- 高齢者による学びの機会と生きがいづくり

計画事業	事業概要	担当課
町民の多様な学びの機会づくりを行います。	町民講座・協定大学有識者による「くりやま地域大学」など町民の学習機会の提供、生涯学習情報誌「マナビィ」の発行 など	教育委員会 社会教育G

計画事業	事業概要	担当課
<b>充実</b> 高齢者が喜びと生きがいを感じる学びの機会を提供します。	高齢者大学「いきいきスクール」「いきいき塾」の実施、定年世代向け（概ね 55 歳以上）町民講座の開催 など	教育委員会 社会教育 G

## 施策④ 図書館活動の推進

- 町民の心豊かで文化的な暮らしを支える読書活動の普及

計画事業	事業概要	担当課
町民の読書活動を支援します。	学校図書室との連携を推進、子育てブックスタート事業の実施、栗山ふるさと文庫事業の実施 など *指定管理者委託事業	教育委員会 社会教育 G

## 施策⑤ 社会教育施設の整備

- 社会教育施設の適正な維持・改修による長寿命化の推進

計画事業	事業概要	担当課
老朽化した社会教育施設の改修などを計画的に行います。	農村環境改善センター管理棟屋上防水改修・テーブル更新、ファープルの森観察飼育舎施設等改修、南部公民館ボイラー改修 など  【後期展望】 ふれあいプラザ陸屋根改修の検討、図書館・開拓記念館屋上防水改修の検討	教育委員会 社会教育 G

## 施策⑥ ふるさと教育の推進

- 学校・家庭・地域が一体となった「ふるさと教育」の推進
- 町民のふるさとへの愛着・誇り、地域や人と関わり合う力の醸成

計画事業	事業概要	担当課
地域総ぐるみで「ふるさと教育」を推進します。	地域教育協議会事業（ふるさと教育交流会など）の実施、学校支援活動の実施、普及啓発活動 など	教育委員会 社会教育 G

## (3) 自然環境教育

### 主な課題

◆ハサンベツ里山計画実行委員会など関係団体の高齢化が進み、新たな担い手づくりが課題となっています。また、オオムラサキの森づくり、ハサンベツ里山づくりなどの継続性の確保が必要となっています。

\*子どもの体験教育を継続するためには、自然環境の維持・保全が必要

◆今後の自然教育の方向性や取り組みをまとめた、中長期計画の策定が必要となっています。

### 施策① 自然環境の保全・再生

- 身近な自然・里山環境の保全・再生と教育環境づくり
- 保全・再生運動に対する町民意識の向上と担い手づくり

計画事業	事業概要	担当課
<b>充実</b> 国蝶オオムラサキの生息環境を保全・再生し、生態を公開します。	オオムラサキ育成・公開（観察飼育舎）、オオムラサキ生息環境の保全・再生、自然繁殖の推進 など	教育委員会 社会教育G
<b>充実</b> ハサンベツ地区の里山環境を保全・再生します。	里山環境の保全・整備、里山計画実行委員会など関係団体の活動支援、新たな担い手発掘・育成支援 など	教育委員会 社会教育G
<b>新規</b> 自然・里山環境の保全・再生に係る町の方針を宣言し、人と自然との共生を推進します。	「(仮称)人と自然が共生するまちづくり宣言」の実施、記念事業の開催、自然教育中長期計画の策定、担い手・人材確保（専任職員の配置検討、地域おこし協力隊導入検討） など	教育委員会 社会教育G

### 施策② ふるさと自然体験教育の推進

- 児童生徒等の豊かな感性、たくましく成長する力などを育む自然体験教育の推進
- 「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」の拠点活用と適正な維持管理

計画事業	事業概要	担当課
<b>充実</b> 「ふるさと自然体験教育」の推進と、拠点施設「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」の利活用を図ります。	自然体験プログラム指導者の確保、プログラム集・指導事例集作成、町内児童生徒の体験学習支援、ボランティア養成 など	教育委員会 社会教育G
<b>新規</b> 教育効果向上のため、観察飼育舎とふれあいプラザの機能統合を図ります。	ふれあいプラザへの観察飼育舎設置（移設）、ファープルの森観察飼育舎の撤去・休憩所設置 など	教育委員会 社会教育G

## (4) スポーツ

### 主な課題

- ◆ 総合型地域スポーツクラブと町事業との連携による、効果的な事業展開が必要となっています。
- ◆ スポーツ行事の参加者が減少傾向にあり、また、少子化に伴い、種目によっては少年団活動が縮小傾向にあるため、スポーツ団体の育成が必要となっています。
- ◆ 老朽化した体育施設の修繕が多発しており、計画的な維持・補修が必要となっています。

### 施策① 生涯スポーツの推進

- 年齢や技術等の段階に応じた生涯スポーツの環境づくり
- 大学等の合宿誘致による交流人口拡大と地域スポーツ団体の競技力向上

計画事業	事業概要	担当課
<b>充実</b> 年齢や技術・技能の段階に応じた生涯スポーツを推進します。	体育イベント（歩けあるけ運動など）・体育大会（ソフトボール・ミニバレーなど）の開催、スポーツ少年団本部の支援、総合型地域スポーツクラブへの事業委託 など	教育委員会 社会教育G
スポーツ合宿などの受入体制を整備します。	大学などのスポーツ合宿誘致 （10人以上・3泊以上の団体に、くりやまギフトカードを提供）	教育委員会 社会教育G

### 施策② スポーツ施設の整備

- スポーツ施設の適正な維持・改修による長寿命化の推進

計画事業	事業概要	担当課
老朽化した社会体育施設の改修などを計画的に行います。	スポーツセンター、公園・町民球場、水泳プール、ふじスポーツ広場、テニスコートなど体育施設の計画的な修繕・改修、総合グラウンドの4種公認の継続	教育委員会 社会教育G
<b>展望</b> ふじスポーツ広場の大規模な改修を検討します。	<b>【後期展望】</b> 芝の全面人工芝張替、付帯施設改修の検討	教育委員会 社会教育G
<b>展望</b> 栗山町スキー場の大規模な改修を検討します。	<b>【後期展望】</b> リフト更新、ロッジ建替え、圧雪車更新の検討	教育委員会 社会教育G

## (5) 芸術・文化

### 主な課題

- ◆文化連盟加盟団体の減少と会員の高齢化が進み、各文化祭への参加者層も高齢化・固定化傾向にあるため、現役世代の参加のきっかけとなる取り組みが必要となっています。  
\*各文化団体・活動の後継者育成が今後の課題
- ◆小林酒造などの歴史的な建造物の保全・活用に向けた制度の構築が必要となっています。

### 施策① 芸術・文化活動の推進

- 優れた芸術・音楽鑑賞機会の提供
- 文化団体の育成と町民による芸術・文化活動の推進
- 町内で創作活動を行う芸術家への支援

計画事業	事業概要	担当課
町民が芸術文化に親しむことのできる環境づくりを推進します。	小学校での演劇鑑賞事業、美術展など芸術鑑賞事業、札幌ひなまつりコンサートなどの音楽鑑賞事業の実施 など	教育委員会 社会教育G
町民や文化団体による芸術・文化活動を支援します。	芸術祭・音楽祭の開催支援、芸能祭・菊花展など栗山町文化連盟事業の支援	教育委員会 社会教育G
芸術創造のまちづくりを推進します。	芸術家による工房新築・改築の支援(奨励金)、個展開催支援(奨励金)、あさひ工房での工房体験教室の実施	教育委員会 社会教育G

### 施策② 文化財保護・活用の推進

- 文化財及び伝統文化に対する町民理解・意識の高揚
- 歴史的文化財の保護・活用

計画事業	事業概要	担当課
ふるさと栗山の文化財保護・活用を推進します。	文化財の指定・文化財保護の啓発活動の推進、栗山町開拓記念館事業の推進 など	教育委員会 社会教育G
<b>新規</b> 歴史的建造物などの保存・継承に向けた支援制度を検討します。	歴史的建造物などの現状調査、有識者・所有者などを含めた検討会議の開催、整備活用計画の策定 など	教育委員会 社会教育G

## (6) 国際・地域間交流

### 主な課題

- ◆ 姉妹都市である宮城県角田市との交流を継続的に推進する必要があります。
- ◆ 児童生徒等の国際感覚を養うため、国際交流の機会づくりを推進する必要があります。  
\* 少年ジェット派遣事業は、英語圏以外への派遣について検討が必要

### 施策① 国際交流の推進

- 国際社会に対応できる青少年の育成

計画事業	事業概要	担当課
少年ジェット派遣事業を行います。	町内在住の中高生（8名程度）の海外派遣研修を実施 （8泊程度で英語圏への派遣を予定）	教育委員会 社会教育G

### 施策② 地域間交流の推進

- 多様な分野での地域間交流の推進

計画事業	事業概要	担当課
姉妹都市（宮城県角田市）、被災地などとの青少年交流事業を行います。	姉妹都市子ども交歓のつどい、姉妹都市青年交歓のつどい、被災地児童生徒の受入・交流事業の実施	教育委員会 社会教育G

# Ⅲ 医療・保健・福祉

## 健康に暮らせるふるさとづくり

### (1) 保健

#### 主な課題

◆ 特定健診・各種がん検診の受診率向上対策、健（検）診受診に対する町民意識の醸成が必要となっています。

＊ 特定健診受診率 近隣町 58.3% : 栗山町 23.7%

＊ がん検診受診率 近隣町 38.5% : 栗山町 14.2%

◆ 健康づくり推進協議会等と連携し、地域全体の健康づくりの意識・環境を高める取り組みが必要となっています。

#### 施策① 生活習慣病予防・重症化予防の推進

- 「がん」及び生活習慣病予防対策による健康寿命の延伸

計画事業	事業概要	担当課
がんの早期発見・早期治療を進め、がん死亡率の減少を目指します。	啓発活動・健康教育・講座等の実施（一次予防）、若年者等のがん検診受診勧奨強化・無料クーポン検診の実施など（二次予防）	保健福祉課 健康推進G
<b>充実</b> 脳血管疾患・循環器疾患・糖尿病などの予防を推進します。	啓発活動・健康教育・講座等の実施（一次予防）、特定健診と保健指導、若年者受診勧奨強化、脳検診対象拡大など（二次予防）	保健福祉課 健康推進G

#### 施策② 生活習慣改善活動の推進

- 生活習慣病予防につながる適切な生活習慣形成の推進
- 口腔機能の維持と歯の喪失防止

計画事業	事業概要	担当課
バランスのとれた食生活や運動習慣の習得など、より良い生活習慣への改善を推進します。	食生活改善の啓発・栄養・食に関する教育など（食の健康推進）、運動習慣の習得や禁煙・適正飲酒など生活習慣改善の推進	保健福祉課 健康推進G
<b>充実</b> 乳幼児「う歯」予防、成人・高齢者の歯周病予防など、口腔の健康づくりを推進します。	子どもの「う歯」予防の推進（健診・フッ化物洗口など）、成人・高齢者の歯の歯周病予防、よい歯コンクール事業の実施 など	保健福祉課 健康推進G

### 施策③ 健康を守る地域環境づくり

- 妊娠前から乳幼児・学童期までの親子の健康づくり
- こころの健康を支える地域環境づくり
- 町民が主体的にかつ連帯して取り組む健康づくり運動の推進

計画事業	事業概要	担当課
<b>充実</b> 妊娠前から乳幼児期の健やかな発達・発育を支援し、次世代の健康を支えます。	特定不妊治療助成、妊婦保健指導、家庭訪問等の育児支援、学童期の生活習慣形成、任意予防接種費助成の実施 など	保健福祉課 健康推進G
ストレス要因の軽減や早期発見・支援など、こころの健康づくりを推進します。	啓発活動（一次予防）、自殺対策・産後うつ対策など（二次予防）、ハイリスク者等の専門個別支援（三次予防） など	保健福祉課 健康推進G
<b>充実</b> 地域や団体の健康づくり活動を支援し、健康を支え守る環境を整備します。	健康づくり推進協議会の活動支援、企業・団体等の健康づくり活動助成、「健康づくり応援団」事業所・「禁煙の店」認定 など	保健福祉課 健康推進G
<b>新規</b> 健康づくりに係る町の方針を宣言し、町民・関係団体と協働した健康寿命延伸を目指します。	「（仮称）健康寿命延伸のまちづくり宣言」の実施、栗山町国民健康保険「健康チャレンジ奨励金」の創設 など	保健福祉課 健康推進G

### 施策④ 健幸のまちモデルの構築

- 健康で生きがいある暮らしができるまちづくりモデルの構築

計画事業	事業概要	担当課
<b>新規</b> 健康で生きがいをもてる新しい都市モデルの調査研究を進めます。	スマート・ウェルネス・シティ（健幸都市）首長研究会への参加、庁内プロジェクト検討チームの設置・調査研究（先進事例等）	保健福祉課 健康推進G

## (2) 地域医療

### 主な課題

- ◆高齢化の進展により病床数には限度があるため、入院中心の医療から、在宅療養をはじめとする医療と介護が連携したサービス体制の構築が必要となっています。
  - \* 医療と介護の相互理解・連携の推進が必要
- ◆深刻な医師不足により日赤病院の医師確保が困難な状況にあります。また、施設の老朽化（築33年）が進んでいる状況もあり、地域の医療水準のあり方と医師確保の問題の具体的な検討が必要となっています。
  - \* 日赤病院の中核医療機関としての役割、病院施設のあり方について検討が必要

### 施策① 医療水準の維持・確保

- 町民の安心な暮らしを守る医療供給体制の確保

計画事業	事業概要	担当課
地域に必要な医療水準の維持に努めます。	赤十字病院の医師確保を助成（循環器科・泌尿器科・耳鼻科・皮膚科等）、医療関係者などによる地域医療対策委員会の開催、将来的な医療環境整備を検討する町民検討委員会の設置 など	保健福祉課 地域医療G

### 施策② 在宅医療提供体制の推進

- 医療と介護の一体的な提供などによる在宅療養生活の支援

計画事業	事業概要	担当課
充実 在宅療養生活を支える医療供給体制等を推進します。	訪問看護事業の推進、地域医療対策委員会による推進策の検討  【後期展望】 医療機関等の在宅医療参入への支援制度の検討、町民による在宅医療サービス等の利用促進制度の検討	保健福祉課 地域医療G

### 施策③ 救急医療体制の維持・確保

- 町民の安心な暮らしを守る救急医療体制の維持・確保

計画事業	事業概要	担当課
充実 初期救急医療の確保に努めるとともに、二次救急病院への支援をします。	赤十字病院による夜間・休日救急医療への助成、適切な救急医療受診に関する町民啓発、看護師等による24時間電話救急医療相談窓口（札幌市事業）の利用	保健福祉課 地域医療G

## ( 3 ) 児童福祉

### 主な課題

- ◆就労形態、急な用事など、家庭の状況に応じたきめ細かい子育て支援が求められています。
- ◆少子化、核家族化が進む中、子育ては地域社会全体で支える必要があります。
- ◆幼児期の子育て支援を充実するために、施設等の環境整備が必要となっています。

### 施策① 子育て家庭への支援

- 妊娠・出産・育児の切れ目のない子育て支援の充実
- 子育て家庭の経済的な負担軽減

計画事業	事業概要	担当課
<b>新規</b> 妊娠・出産・子育てに関する、総合的な情報提供と相談機能を充実します。	ファイナンシャルプランナーによるマネープラン相談の実施、妊娠・出産・子育て等に関する総合情報誌・ポータルサイトの作成	若者定住推進室
<b>充実</b> 子ども医療費を助成します。	高校3年生までの医療費を助成（町外医療機関での受診は入院のみ、ただし未就学児は町外通院も助成対象）	住民生活課 住民・国保G
<b>充実</b> 子育て家庭の支援や、子育てしやすい環境の充実を図ります。	「(仮称)子ども健やか育み宣言」に基づく各種支援事業の実施（子育てサロン・相談事業、子育てサポート事業など）、乳幼児育児用品の購入助成 など	保健福祉課 福祉・子育てG

### 施策② 子どもの健全育成の推進

- 子どもの健全な遊びや活動の場づくり

計画事業	事業概要	担当課
児童の健全な遊び・活動の場と、放課後の居場所づくりを進めます。	栗山町児童センターの運営、栗山・角田・継立地区の放課後児童クラブの運営	保健福祉課 福祉・子育てG

### 施策③ 保育・教育の質の向上

- 関係機関と連携した安心安全な保育・教育環境の充実

計画事業	事業概要	担当課
<b>充実</b> 民間保育園などと連携を図り、保育・教育の質を高めます。	一時・延長保育、休日預かり事業、新制度による利用者負担額を勘案した保育料軽減の検討 など	保健福祉課 福祉・子育てG

## 施策④ 要保護児童対策の推進

- 子育て・養育困難家庭への支援

計画事業	事業概要	担当課
要保護児童対策の強化を目指し、効果的な組織体制づくりを進めます。	児童虐待ネットワーク構築、おや？おや？安心サポートシステムの構築により子育て困難家庭などを支援	保健福祉課 福祉・子育てG

## 施策⑤ 子ども発達支援の充実

- 心身の障害等がある子どもの早期発見と適切な支援
- 心身の障害児・者の健康保持・育成助長と家庭生活の安定・向上

計画事業	事業概要	担当課
<b>充実</b> 心身に障がいや発達の遅れのある子どもを支援します。	特定相談支援・障がい児相談支援の実施、個別指導・小集団指導による子ども発達支援、理学療法士による運動指導の実施 など	保健福祉課 福祉・子育てG
心身障がい児の療育サービス利用に係る費用負担の軽減を図ります。	児童発達支援および道立子ども総合医療・療育センター利用に係る費用の一部を助成	保健福祉課 福祉・子育てG

## 施策⑥ 施設・環境整備の推進

- 安全で利用しやすい施設環境の整備

計画事業	事業概要	担当課
<b>新規</b> 栗山町子育て支援センターを移設整備し、機能を充実します。	栗山町子育て支援センターの移設整備	保健福祉課 福祉・子育てG
<b>充実</b> 栗山町児童センターの計画的な改修・設備更新を行います。	施設老朽箇所の改修、トイレ改修、1階手洗い場の温水化、暖房ボイラー交換 など	保健福祉課 福祉・子育てG

## (4) 高齢者福祉

### 主な課題

- ◆介護予防事業の参加者を一層拡大するため、介護予防の重要性を広く周知し、若い世代も含めた意識啓発が必要となっています。
- ◆行政、事業所及び関係機関の連携による高齢者支援のサービス展開が必要となっています。

### 施策① 介護予防の推進

- 高齢者の生活機能維持・向上と改善

計画事業	事業概要	担当課
高齢者が要介護状態にならないよう、介護予防事業を推進します。	一次予防事業（生活機能維持・向上）、二次予防事業（生活機能の改善）、介護予防・日常生活総合事業の実施	保健福祉課 高齢者・介護G

### 施策② 地域に密着した高齢者福祉事業の充実

- 医療・介護の関係機関等と連携した地域包括ケアシステムの構築

計画事業	事業概要	担当課
<b>充実</b> 生活支援を中心とした地域包括ケアの充実を図ります。	医療と介護の連携を含めた地域包括ケアシステムの構築、高齢者の地域・在宅生活支援の充実 など	保健福祉課 高齢者・介護G
<b>新規</b> 南部地域における高齢者対策拠点の整備を検討します。	介護支援事業所・地域住民などとの意見交換、検討委員会の設置  【後期展望】 高齢者対策拠点施設整備の検討	保健福祉課 高齢者・介護G
<b>新規</b> 介護福祉学校と町内介護支援事業所との連携を図ります。	介護福祉学校生の町内介護支援事業所等へのボランティア、アルバイト協力、学校休業日等での福祉人材育成講習会の実施 など	保健福祉課 高齢者・介護G

## ( 5 ) 地域福祉

### 主な課題

- ◆家族・地域・関係機関等が連携して、災害時支援も想定した地域の支え合いの体制づくりが必要となっています。
- ◆元気な高齢者の生きがいづくり・活動の場の充実が必要となっています。
- ◆老々介護と言われる時代になり、家族介護を支える介護者支援が必要となっています。

### 施策① 社会参加と地域支え合い活動の推進

- 高齢者の知識・技能等を活かした社会参加の環境づくり
- 地域社会における高齢者等の見守り・支え合いの推進

計画事業	事業概要	担当課
<b>充実</b> 高齢者の社会参加と活動の場づくりを推進します。	ケアラズカフェの全町展開など高齢者等居場所づくりの推進、熟年人材センターなど高齢者の社会参加の推進 (栗山町社会福祉協議会との連携事業)	保健福祉課 高齢者・介護G
<b>充実</b> 地域の見守り・支え合い活動の充実を図ります。	要援護者支援対策協議会による地域見守り・支え合い体制づくりの推進、ケアラー支援・命のバトン・在宅サポーターなど要援護者支援の実施 (栗山町社会福祉協議会との連携事業)	保健福祉課 高齢者・介護G

## (6) 障がい者福祉

### 主な課題

- ◆対象者のニーズを把握したサービスの展開と周知・PRの徹底が必要となっています。
- ◆障がい者の就労意向と受入可能な事業所を確保し、社会参加の拡大に向けた取り組みが必要となっています。

### 施策① 社会参加・自立支援

- 障がい者の生活エリアの拡大と経済的負担の軽減
- 社会参加の推進と自立支援団体の活動支援

計画事業	事業概要	担当課
障がい者の自立した地域生活を支援します。	ハイヤー利用助成、特定疾患通院費等助成、日中一時支援など、障がい者等の日常生活・活動をサポート	保健福祉課 福祉・子育てG
障がい者の社会参画と自立支援に取り組む団体・事業者などを支援します。	地域自立支援協議会など障がい者団体の活動を支援、知的障がい者の雇用促進に向けた職親委託事業の実施	保健福祉課 福祉・子育てG

# IV 産 業

## 賑わいと活力あるふるさとづくり

### (1) 農林業

#### 主な課題

- ◆ 地域農業の担い手育成および新規参入者の受入体制の充実が必要となっています。
- ◆ 資源循環型農業の推進、付加価値ある商品開発、グリーン・ツーリズム活動の推進などが必要となっています。
- ◆ 担い手への農地集積の促進が必要となっています。
- ◆ 生産性の高い農地整備のため、引き続き道営事業などによる農業生産基盤整備が必要となっています。
- ◆ 森林の持つ公益的機能を維持・増進するため、計画的な森林整備が必要となっています。

#### 施策① 担い手の育成

- 地域の中心的な役割を果たす農業後継者の育成
- 意欲ある新規就農者の受け入れ支援
- 農業経営改善などに係る農業者の経済的負担の軽減
- 地域営農システムの構築

計画事業	事業概要	担当課
農業後継者の育成を図ります。	栗山町農業教育振興会（農業研修）への助成、栗山町農業振興公社による後継者育成事業（青年農業賞、未来塾・女性塾等）など	産業振興課 農林業振興G
<b>充実</b> 新規就農者の受け入れを進めます。	経営開始直後の青年農業者に対する助成、栗山町農業振興公社による新規就農支援事業（相談・研修・助成事業等）、地域おこし協力隊事業 など	産業振興課 農林業振興G
営農活動の安定化支援と、集落営農組織の育成を図ります。	農業振興資金貸付け・利子助成、認定農業者の支援、栗山町農業振興公社による地域営農支援 など	産業振興課 農林業振興G

#### 施策② 生産性の高い農業・農地整備の推進

- 生産性向上や経営改善に向けた取り組みへの支援
- 農地の遊休化防止と担い手への円滑な流動化の推進
- 土地改良事業等による農業基盤の整備
- 農村地域の環境保全と多面的機能の発揮
- エゾシカ等による農産物の食害防止

計画事業	事業概要	担当課
<b>充実</b> 栗山の特性を生かした良質な農産物の生産を推進します。	安全安心・良質な農産物生産活動を支援、農村環境保全に効果の高い営農活動を支援、農業用機械・施設整備の支援 など	産業振興課 農林業振興G
農地の円滑な流動化の推進と、優良農地の確保を図ります。	栗山町農業振興公社による農地流動化の推進、農地利用集積の円滑化、規模拡大支援、農地の中間保有 など	産業振興課 農林業振興G
国営事業などによる計画的な基盤整備と、施設の維持管理を行います。	国営道央かんがい排水事業償還負担、国営造成施設（農業用施設）の適切な維持管理 など	産業振興課 農林業振興G
<b>充実</b> 道営事業による計画的な基盤整備と、施設の維持管理を行います。	道営農業農村整備事業（杵臼、南角田、継立地区など） など	産業振興課 農林業振興G
自然環境保全・景観形成など、農業・農村の持つ多面的な機能を守り育てます。	地域住民が取り組む農地の維持・保全、植栽による景観形成、水路・農道・ため池などの補修・長寿命化などの活動を支援	産業振興課 農林業振興G
中山間地域等における農業生産・多面的な機能確保を支援します。	中山間地域等直接支払事業（対象農地への交付金） など	産業振興課 農林業振興G
有害鳥獣駆除対策を推進します。	有害鳥獣（エゾシカ、アライグマ、キツネ、カラスなど）の駆除、エゾシカ侵入防護柵の維持管理、エゾシカ食肉加工の推進	産業振興課 農林業振興G

### 施策③ 農業・農村ブランドの推進

- 農産物加工や新商品開発、販路拡大に向けた取り組みへの支援
- グリーン・ツーリズムの推進
- 地力増進・景観向上に効果のある緑肥栽培への支援

計画事業	事業概要	担当課
<b>新規</b> 6次産業化の取り組みを支援します。	農業者等が行う農産物加工、直売、農村レストランなどの新たな取り組みを支援する制度の創設	産業振興課 農林業振興G
農山村の魅力を活かした都市農村交流を推進します。	農業・農村体験受入、直売事業などを行う栗山町グリーン・ツーリズム推進協議会の活動支援、景観緑肥の作付を支援 など	産業振興課 農林業振興G

## 施策④ 森林の保全・整備

---

- 森林が持つ多面的機能を発揮するための計画的な整備・管理

計画事業	事業概要	担当課
造林事業などにより適正な森林管理を推進します。	町有林の保育管理（造林・下刈・間伐など）、 民有林の整備支援、林道の整備・充実 など	産業振興課 農林業振興G

## (2) 商工業

### 主な課題

- ◆進出希望企業の情報把握や積極的な情報発信など、関係機関とも連携した誘致活動が必要となっています。
- ◆高齢化や担い手不足など、商店街の空き店舗対策が必要となっています。
- ◆町内の消費者ニーズに対応した商店街の環境づくりが必要となっています。

### 施策① 商工業の振興

- 商店街が主体的に取り組む集客向上等の取り組み支援
- 商店街空き店舗活用の推進
- 町内企業に求められる人材育成の推進

計画事業	事業概要	担当課
賑わいにあふれ魅力ある商店街づくりを推進します。	まちの駅栗夢プラザの運営支援、活性化イベント支援、空き店舗活用支援（開業支援）、くりやまギフトカードの利用促進 など	ブランド推進課 ブランド推進G
<b>新規</b> 栗山高校生を対象とした資格取得支援を行います。	語学・簿記・パソコン検定など就業機会の拡大が見込まれる資格取得経費の一部を助成	ブランド推進課 ブランド推進G

### 施策② 企業誘致・新産業創出の推進

- 工業団地等への企業誘致による雇用創出と地域経済活性化
- 町内商工業者の経営安定・改善に向けた支援

計画事業	事業概要	担当課
積極的な企業誘致活動を行います。	栗山町企業等誘致推進協議会による誘致活動の支援、新規進出企業に対する用地購入費・雇用・水道料などの優遇措置	ブランド推進課 ブランド推進G
町内商工業者の経営安定・改善などを支援します。	店舗等の新設・増設などの支援、一定基準を満たす商工業者への融資制度（中小企業振興資金）の運用、経営指導員による相談	ブランド推進課 ブランド推進G

## (3) 観光・交流産業

### 主な課題

- ◆短期イベントだけではなく、通年で観光客を受け入れる観光資源などの検討が必要となっています。  
\*老舗まつりや夏まつりは一定の集客があるが、他の観光施設では減少傾向にある。
- ◆広域連携による観光メニューの検討、増加傾向にある海外観光客の受入態勢の検討が必要となっています。

### 施策① 観光・特産品PRの推進

- 関係機関との連携による新たな観光推進体制の構築と振興計画の策定
- 「栗」を活用した地域ブランドの開発
- 東アジアを中心とした海外への特産品の海外販路開拓及び観光客受入の推進

計画事業	事業概要	担当課
<b>新規</b> 新たな推進体制を構築するなど、観光事業の充実を図ります。	商工会議所・JA等で構成する「(仮称)観光推進連携会議」による新組織設置の検討(新組織の役割:観光振興計画策定、観光事業の推進等)、各言語の観光ガイドの作成 など	ブランド推進課 ブランド推進G
<b>充実</b> 「栗の活用」を推進し、新たな特産品や観光資源の創出を図ります。	北のくりやま栗づくり協議会の活動支援(栗の産地化、6次産業化、ブランディングなど)、見本園の整備や町内のクリ植樹推進	ブランド推進課 ブランド推進G
東アジア市場への特産品の販路拡大を支援します。	PR・コンサルティング・商談会への参加、通関などの費用を助成、海外からの観光客受入に向けた交流事業の実施	ブランド推進課 ブランド推進G

### 施策② 都市農村交流の推進

- 豊かな自然・里山環境など、地域資源を活かした交流人口の拡大
- 宅地分譲地等を活かした町内への移住・定住の促進

計画事業	事業概要	担当課
自然・農村環境を活かした体験教育プログラムを開発し、都市圏からの交流人口を拡大します。	都市圏対象のツアーイベント実施、町外小中学校・大学等の教育活動の受入、PR・ブランディング等の研修事業の実施 など	教育委員会 社会教育G
栗山町への移住・定住を促進します。	短期移住体験・都市圏での情報発信など「くりやま移住促進協議会」の活動を支援、宅地分譲地のPR・販売 など	ブランド推進課 ブランド推進G

## (4) 雇用環境

### 主な課題

- ◆町内外の求職者を受け入れる就業機会の確保が必要となっています。
- ◆勤労者の労働環境の向上が必要となっています。

### 施策① 勤労者福祉の推進

- 勤労者の福祉向上と季節労働者の通年雇用化の促進

計画事業	事業概要	担当課
勤労者の福祉向上と、季節労働者の通年雇用化を推進します。	勤労者福祉センターの管理運営、南空知通年雇用促進協議会による季節労働者の通年雇用促進支援・資格取得支援 など	ブランド推進課 ブランド推進G

### 施策② 雇用環境づくりの推進

- 労働者の職場環境及び労働環境の向上

計画事業	事業概要	担当課
労働者の労働環境の向上を図ります。	町内事業所と労働者に対してアンケートを実施（雇用状態・賃金・福利厚生など）	ブランド推進課 ブランド推進G

# V 都市基盤

## 快適でやすらぐふるさとづくり

### (1) 道路・交通

#### 主な課題

- ◆道路整備は多額の費用を要するため、必要性や優先順位を精査するなど、計画的な整備が必要となっています。
- ◆老朽度が進んでいる除雪用重機の計画的な更新が必要となっています。
- ◆町営バスの効率的な運行体系の構築、高齢化社会に対応した交通システムなどの検討が必要となっています。  
\*町営バス利用者 平成14年度 39,400人（ピーク年）→平成24年度 18,789人
- ◆地域間を運行する民間バス路線の維持、都市間アクセスの向上に向けた検討が必要となっています。

#### 施策① 計画的な道路網の整備

- 幹線町道の計画的な整備
- 道路橋梁の長寿命化の推進

計画事業	事業概要	担当課
幹線町道湯地継立線の道路改良・舗装を実施します。	道路改良・舗装（平成27～28年度）	建設水道課 技術G
幹線町道杵臼本線の道路改良・舗装を実施します。	道路改良・舗装（平成27～33年度）	建設水道課 技術G
老朽化した橋梁の点検・修繕を計画的に行います。	定期点検の実施（104橋）、補修工事（17橋）	建設水道課 技術G

#### 施策② 道路環境の整備

- 道路環境の適切な維持・安全確保
- 冬期間の交通確保に係る除雪体制の整備

計画事業	事業概要	担当課
<b>充実</b> 町道の舗装や側溝改修など、道路環境の維持・向上を図ります。	町道補修工事、区画線表示工事、栗山由仁線（約900m）の植栽	建設水道課 総務管理G

計画事業	事業概要	担当課
町道の総点検を行い、修繕計画の策定・管理を行います。	路面性状調査・附属物点検など道路ストック総点検の実施、道路ストック修繕計画の策定と運用	建設水道課 技術G
除雪用重機を計画的に更新します。	除雪用重機の計画的な更新（ドーザ、ロータリーなど）	建設水道課 総務管理G

### 施策③ 公共交通システムの充実

- 都市間交通アクセスの維持・向上
- 高齢社会に対応できる地域公共交通の確保

計画事業	事業概要	担当課
<b>充実</b> 地域間（都市間）交通の確保と利便性の向上を図ります。	民間バス路線確保のため一定の収支率以下の路線に対して補助、都市間（札幌市）への交通アクセス向上に向けた調査研究 など	経営企画課 地域政策G
<b>充実</b> 町営バスの充実を図り、交通弱者の移動手段を確保します。	計画的な車両（スクールバス等）の更新・小型化、デマンド方式バス運行路線の拡大	建設水道課 総務管理G
<b>新規</b> 買い物弱者等の高齢社会の課題に対応できる交通システムを確立します。	コミュニティバスの導入（運行計画策定、車両購入・バス車庫新設・バス停留所設置・町民説明会開催など）	建設水道課 総務管理G

## (2) 住宅・住環境

### 主な課題

- ◆定住促進に向け、良質低廉な住宅地の供給、定住者への支援制度の検討が必要となっています。
- ◆耐用年数を経過している公営住宅が多く、早期の建替えが必要となっています。
- ◆生活基盤である住環境向上のため、バリアフリーや耐震化などの住宅助成制度の継続が必要となっています。

### 施策① 計画的な宅地・住宅の整備

- 公営住宅の計画的な整備・改修
- 低廉で快適な住宅地の供給

計画事業	事業概要	担当課
<b>充実</b> 公営住宅の整備・改修を行います。	老朽化した公営住宅の建替（曙団地、中央団地、継立団地、中里団地を予定）、地域材（栗山産木材など）の積極的な活用 など	建設水道課 技術 G
住宅団地の造成を行います。	朝日住宅団地第4期造成（17区画） 【後期展望】新たな住宅団地造成の検討	建設水道課 技術 G

### 施策② 住まいの環境づくり

- 子育て世代などの定住促進に向けた支援
- 老朽化した危険空き家対策の推進
- 安心して長く住み続けられる居住環境の促進

計画事業	事業概要	担当課
<b>新規</b> 若者・子育て世代が移住しやすい環境を整備します。	子育て世代の移住者に対する住宅支援（住宅取得助成、中古住宅リフォーム助成、民間賃貸住宅家賃助成、移住促進に向けた情報発信など） 【後期展望】若者・子育て世代向け町営住宅等の整備検討	若者定住推進室
生活環境の保全と防犯のため、空き家対策に取り組めます。	老朽化した危険家屋（空き家）のうち、町に寄附されたもの撤去	建設水道課 技術 G
「人にやさしい住宅助成事業」を実施し、住宅の居住性や住環境の向上を図ります。	住宅のバリアフリー改修、老朽住宅解体、耐震改修に係る費用の一部を助成 【後期展望】リフォーム助成制度の検討	建設水道課 技術 G

## ( 3 ) 上・下水道

### 主な課題

- ◆良質な水道水の安定供給のため、浄水場の機器更新と老朽水道管の更新が必要となっています。
- ◆下水道管理センターの処理機能維持のため、老朽化した機器の更新が必要となっています。
- ◆公共下水道と合併処理浄化槽の処理費用負担の公平性について、検討が必要となっています。
  - \* 合併処理浄化槽は個人が設置し、設置後の維持管理・清掃も個人が行っているが、公共下水道供用区域と比較し高負担となっている。

### 施策① 水道水供給の維持

- 老朽化している水道管及び水道施設等の計画的な更新

計画事業	事業概要	担当課
老朽化した水道管を計画的に更新します。	布設後 30 年以上が経過した老朽度の高い塩ビ管を更新	建設水道課 上下水道 G
水道施設の老朽化した設備を計画的に更新します。	桜山浄水場・各ポンプ場の機器・計装設備を計画的に更新	建設水道課 上下水道 G

### 施策② 公共下水道の維持

- 老朽化している機器の計画的な更新
- 集落排水施設の公共下水道への統合による効率的な処理体制の確立
- 汚水処理費用負担の統一化の推進

計画事業	事業概要	担当課
老朽化した下水道施設を計画的に更新します。	更新時期を迎えた機器を計画的に更新	建設水道課 上下水道 G
継立地区農業集落排水施設を公共下水道に統合します。	継立地区農業集落排水施設を公共下水道に統合	建設水道課 上下水道 G
<b>充実</b> 合併処理浄化槽の整備制度を改正します（町管理への移行）。	下水道使用料などの公平化を図るため、個人設置した浄化槽を町管理に移行（平成 29 年度より以降予定）	建設水道課 上下水道 G

## (4) 河川

### 主な課題

- ◆異常気象による局地的豪雨や融雪期の増水など、河川の負担が増大しています。
- ◆河川内の樹木・土砂の堆積状況など、計画的な整備が必要となっています。

\* 町管理河川 37 河川 176.4 km

### 施策① 治水・河川環境の整備

- 河川環境の適正な維持管理

計画事業	事業概要	担当課
河川環境の改善・水害防止に努めるとともに、自然河川づくりを推進します。	河川の土砂撤去・倒木除去、ハサンベツ地区の自然河川環境整備、円山地区排水路改修、国や道管理河川の適正な維持管理要望	建設水道課 総務管理 G

## (5) 街なみ・景観

### 主な課題

- ◆景観阻害要因の適正な改善に向けたルールづくりが必要となっています。  
\*老朽化した空き家、管理が行き届いていない空き地、通信鉄塔など
- ◆歴史的建造物などを活かした魅力ある景観形成が必要となっています。
- ◆人口減少や少子高齢化社会に対応した都市基盤の整備・充実にに向けた取り組みが必要となっています。  
\*都市計画マスタープラン等に基づく栗山、角田、南部の各地域振興策の実施

### 施策① 市街地形成の推進

- 新町及び錦地区の魅力ある街なみづくり
- 南部及び角田地域の基盤整備と活性化
- 将来を見据えた栗山市街地の計画的な基盤整備

計画事業	事業概要	担当課
<b>展望</b> 新町地区の再開発整備要望に取り組みます。	<b>【後期展望】</b> 新町通街路整備事業（道事業）の継続要望、街なみ整備（小公園整備など）、若者定住用町営住宅整備の検討 など	建設水道課 技術G
<b>展望</b> 馬追橋の早期架換え要望と、歴史的建造物を活かした錦地区の街並みづくりを検討します。	<b>【後期展望】</b> 馬追橋の早期架換え（道事業）に向けた継続要望、小林酒造レンガ倉庫周辺の遊歩道整備の検討 など	建設水道課 技術G
<b>新規</b> 南部公民館の利便性向上に向けた、敷地内の整備を行います。	敷地内の利用計画策定、新規出入口・道路整備・保育園などで活用可能な芝生整備、駐車場整備	建設水道課 技術G
<b>展望</b> 継立中学校跡地の活用を含めた南部地域振興策を検討します。	<b>【後期展望】</b> 継立中学校跡地活用の検討、宅地分譲地造成の検討、夕張市・由仁町との広域道路網の整備要望など	経営企画課 地域政策G
<b>新規</b> 農村環境改善センターの利便性向上に向けた周辺整備を行います。	駐車場 78 台分増設	建設水道課 技術G
<b>新規</b> 国道 234 号線の整備要望と、角田地域振興策を検討します。	新工業団地の造成、国道と工業団地を結ぶ町道整備 など  <b>【後期展望】</b> 国道 234 号線整備事業（拡幅・バイパス化）の継続要望（国事業）、国道整備に伴う町道新設整備の検討、宅地分譲地造成の検討 など	建設水道課 技術G

計画事業	事業概要	担当課
<b>新規</b> 栗山駅南側の機能性を高める道路・駐車場整備を行います。	栗山駅南側の周辺土地利用計画の策定・用地取得、道路整備・駐車場整備の検討	経営企画課 地域政策 G
<b>展望</b> まちの将来像を見すえた栗山市街地の整備を検討します。	<b>【後期展望】</b> 南大通り延伸（長沼町間）に向けた継続要望（北海道事業）、富士・中里地区の字名改正と5丁目構想の検討 など	経営企画課 地域政策 G

## 施策② 景観づくりの推進

- 町民と行政の協働による景観づくり

計画事業	事業概要	担当課
景観資源の保全・活用を図ります。	栗山町景観条例・景観計画に基づく景観づくりの推進、景観写真コンテストの実施 など	建設水道課 技術 G

## 施策③ 公園・緑地の整備

- 安全で安心して遊ぶことのできる魅力的な公園づくり
- 御大師山周辺の環境整備と利便性向上

計画事業	事業概要	担当課
老朽化した公園施設の安全確保のため、計画的に修繕・更新を行います。	老朽化した公園施設の修繕（80カ所）・更新（78カ所）	建設水道課 技術 G
<b>新規</b> 御大師山周辺（栗山公園等）の散策路・施設等の計画的な改修・整備を進めます。	整備計画の策定、散策路修繕・順路看板設置、既存展望台の撤去および展望デッキ整備、御大師山周辺案内看板の設置 など	建設水道課 技術 G
<b>新規</b> 御大師山周辺ガイドブックを作成し、散策路・周辺施設の利活用を促進します。	御大師山散策路などの環境調査・ルート設定などの実施、周辺ガイドブックの作成	建設水道課 技術 G

# VI 地域経営

## みんなが主役のふるさとづくり

### (1) コミュニティ活動

#### 主な課題

- ◆まちづくり協議会活動の地域住民への浸透と、さらなる活動の活性化が必要となっています。  
\*まちづくり協議会～栗山市街地8組織及び継立地区の計9組織（農村地域は未設置）
- ◆まちづくりの担い手として、NPO法人の安定的な活動継続と運営基盤の確保が求められています。
- ◆多様な地域課題の解決のため、大学の専門的知識の活用を促す取り組みが必要となっています。  
\*協定大学～北海商科大学、北星学園大学、酪農学園大学、北海道大学農学部

#### 施策① コミュニティ活動の支援

- 地域組織の活動支援など町民主体のまちづくりの推進
- 特定非営利活動法人（NPO法人）の設立及び活動支援
- 協定大学が持つ専門的情報の活用と学生交流の推進
- 町民自ら考え、地域のために実施する公益活動の支援

計画事業	事業概要	担当課
まちづくり協議会などの地域活動を支援します。	まちづくり協議会の活動に対して交付金を交付（運営費・防災事業・福祉等その他事業）、地域支援職員の配置 など	経営企画課 地域政策 G
NPO法人などの公益活動に対する支援を充実します。	NPO法人設立・活動相談、個人町民税寄附金税額控除制度の運用、研修会の開催、各種助成制度の紹介 など	経営企画課 地域政策 G
協定大学と連携し、コミュニティ活動への情報・学術等の支援を行います。	協定大学による実習・演習などの受入と学術成果の共有、大学教員などの専門的知見活用、大学講座事業（出前型）の実施 など	経営企画課 地域政策 G
<b>新規</b> 町民団体が連携・協力する地域活性化・賑わい創出活動を支援します。	個人町民税の1%相当額（約400万円）を財源に、NPO・ボランティア団体などが連携・協力する提案事業を支援する。	経営企画課 地域政策 G

## (2) 行政経営

### 主な課題

- ◆より効率的・効果的な行財政運営に向けての仕組みづくりが必要となっています。
- ◆多様化する住民ニーズに的確に対応できる職員育成や意識改革が求められています。
- ◆行財政改革を継続的に推進する必要があります。
- ◆人口減少や地域経済が低迷する中、広域連携による事業の検討が必要となっています。

### 施策① 効果的な行財政運営の推進

- 総合計画に基づく効果的な施策・事業の展開
- 中長期的に堅実で安定した財政運営の推進
- 適正・公平・公正な徴収及び滞納対策と納税者の利便性・サービス向上
- 町有施設の計画的な整備及び維持管理
- 公共施設等の管理情報の一元化及び中長期的管理計画の策定

計画事業	事業概要	担当課
総合計画に基づく施策・計画事業の評価を行い、改善・見直しを図ります。	計画事業評価（各担当自己評価・外部評価・理事者評価）の実施、施策評価（前期4年目・後期3年目）の実施	経営企画課 地域政策G
<b>充実</b> 限られた財源を有効に活用し、健全な財政運営を推進します。	中長期財政計画に基づく財政運営、効果的な予算編成手法の検討・導入、財政健全化条例の制定 など	経営企画課 行政経営G
自律したまちづくりのため、行財政改革を推進します。	行財政改革推進計画の進捗管理、町財政の中長期試算の見直し、行財政改革取組状況の公表	経営企画課 行政経営G
<b>充実</b> 各種統計データにより、町勢の現状を分析し、まちづくりに活用します。	国勢調査など各種統計調査結果の分析と活用、町民経済計算の実施、統計資料（情報）の公表 など	経営企画課 地域政策G
<b>充実</b> 町税収入等の収納率向上に努めます。	滞納管理システムによる滞納対策強化、コンビニエンスストアにおける町税等の納付推進、クレジット収納等の調査検討 など	税務課 収納G
<b>充実</b> 町有財産の適切な維持・整備を進めます。	役場庁舎照明のLED化（省エネ改修）、役場庁舎外壁改修  【後期展望】 公用車車庫、営繕作業室の建替えを検討	建設水道課 総務管理G
<b>新規</b> 公共施設等総合管理計画を策定し、計画的に老朽化対策を進めます。	公共施設等の維持管理・安全確保・修繕・更新・統廃合などに関わる中長期的な実施方針（総合管理計画）の策定と運用	経営企画課 行政経営G

## 施策② 効果的な行政体制の構築

- 町民ニーズに的確に対応できる職員育成と意識改革
- 新たな行政ニーズや社会環境の変化に対応した組織体制の構築

計画事業	事業概要	担当課
時代に対応できる行政職員を育成します。	国・道などへの職員派遣、職員提案型の自己啓発研修、各関係機関による研修プログラムへの参加、職階ごとの研修会開催 など	総務課 総務 G
効率的で満足度の高い行政サービスを提供できる組織体制を構築します。	職員数適正化計画および職員業務量調査の分析結果などに基づく組織体制構築と人員配置	総務課 総務 G

## 施策③ 行政情報化の推進

- 行政事務の効率化と町民サービスの向上

計画事業	事業概要	担当課
情報システムの活用により、行政事務の効率化および行政サービスの向上を図ります。	行政情報システムの適正な維持・管理・更新、社会保障・番号制度の導入・推進、電子自治体の推進 など	総務課 広報・防災 ・情報 G
情報通信基盤・機器の活用により、行政事務の効率化および行政サービスの向上を図ります。	情報通信基盤・機器の適正な維持・管理・更新、民間事業者に対する町内ブロードバンドサービスエリアの拡大要望 など	総務課 広報・防災 ・情報 G

## 施策④ 広域行政の推進

- 広域連携による効率的な行政運営の推進

計画事業	事業概要	担当課
地域振興策や事務共同処理の検討など、広域連携の推進を図ります。	南空知ふるさと市町村圏組合への参画（4市5町）、南空知4町広域連携検討会議への参画（南幌町、由仁町、長沼町）	経営企画課 地域政策 G

## (3) 情報共有と町民参加

### 主な課題

- ◆政策情報を町民に分かりやすく伝える情報公開・提供の仕組みの充実が必要となっています。
- ◆若年層を含めた町民参加の充実に向けて、多様な仕組み・機会づくりが必要となっています。
- ◆運用実態を踏まえた自治基本条例の見直しの必要性があります。

### 施策① 行政情報の公開・提供

- 町広報やホームページ等を通じた行政情報等の積極的な発信
- 情報公開による行政運営の透明性確保
- 政策・財政情報の発信など町民との情報共有の推進
- コミュニティ活動の活性化に向けた情報共有インフラの整備

計画事業	事業概要	担当課
<b>充実</b> 広報くりやまの発行など、行政情報を広く発信します。	広報くりやまの発行(毎月)、町勢要覧の発行、暮らしのガイドブックの発行、公式ホームページの運営 など	総務課 広報・防災 ・情報G
町が保有する公文書の適切な公開と情報提供を推進します。	栗山町情報公開条例などに基づく適切な情報公開・提供、公開請求事案に応じた情報公開・個人情報保護審査会の開催 など	総務課 総務G
<b>充実</b> 予算・決算・財政状況などの情報を分かりやすく公表します。	財政情報の町広報掲載、予算説明書および決算説明書の発行、財政モニター制度、出前型町財政学習会の実施 など	経営企画課 行政経営G
<b>充実</b> 自治基本条例に基づき、町民への情報提供に関する仕組みを充実します。	各種計画・条例策定プロセスの公表、審議会等の情報公開、出前型政策説明(懇談)制度の運用 など	経営企画課 地域政策G
栗山町史(平成史)を編集・発刊します。	平成元年から平成30年の平成史版の発行	経営企画課 地域政策G
<b>新規</b> 開拓130周年記念事業を行います。	開拓130年・町制施行70年記念式典の実施、記念誌の発行	総務課 総務G
<b>新規</b> コミュニティ放送により、町民との情報共有手段の充実を図ります。	放送局開局支援(法人参入への支援)、放送局整備工事、防災ラジオ購入(配布)、番組広告料 など	総務課 広報・防災 ・情報G

## 施策② 町政への町民参加の推進

- 町政に対する町民ニーズ・意見等の把握と参加機会の充実

計画事業	事業概要	担当課
町長のまちづくり懇談会を行います。	春・秋2回の定例懇談会、団体などとの小規模懇談の実施	総務課 広報・防災 ・情報G
日常的な町民との情報共有制度「くりやまキャッチ・ボイス」を運用します。	ハガキ・FAX・メールにより日常的な町民の疑問・意見などを受理し、原則2週間以内に回答する仕組みの構築・運用	総務課 広報・防災 ・情報G
<b>充実</b> 自治基本条例に基づき、多様な世代に対する町民参加機会を充実します。	町政の重要課題に対する町民参加機会の充実、審議会等の委員公募の推進、子どものまちづくり参加（体験）の推進 など	経営企画課 地域政策G

## 施策③ 自治基本条例の見直し

- 条例の運用実態を踏まえた見直しの検討

計画事業	事業概要	担当課
<b>新規</b> 町民参加により、栗山町自治基本条例の見直しを行います。	先進自治体研究、行政内見直し委員会の設置・検討、（仮）町民見直し委員会の設置・検討、啓発パンフレット配布 など	経営企画課 地域政策G

# VII 重点プロジェクト

(重点政策方針に基づき重点的に実施する主要施策・計画事業群)

1

## 子どもたちの笑顔が輝くまち

若者定住対策

「子育てするなら栗山で」と、若者世代から選択されるまちづくり

- 重点1 若者世代が移住・定住しやすい環境づくりの推進
- 重点2 安心して子育てができる環境づくりの推進
- 重点3 特色ある豊かな教育環境づくりの推進

2

## 生涯を自分らしく暮らすまち

健康寿命延伸

町民の健康意識を高め、元気高齢者が活躍するまちづくり

- 重点1 町民全体の健康意識の醸成
- 重点2 生活習慣改善と疾病予防の推進
- 重点3 高齢者による社会参加の環境づくりの推進

3

## 人と自然が共生するまち

自然環境  
保全・再生

豊かな自然・里山環境を守り、次世代につなぐまちづくり

- 重点1 自然教育中長期ビジョンの策定と推進体制の整備
- 重点2 町民参加による自然環境保全・再生運動の推進
- 重点3 自然体験教育の充実

4

## 地域の潜在力を活かすまち

産業活性化対策

農業基盤を活かした交流人口拡大と、雇用・産業創出のまちづくり

- 重点1 農業基盤を活かした6次産業化の推進
- 重点2 地域資源を活かした観光・交流産業づくりの推進
- 重点3 各産業の担い手育成の推進

# 1

## 若者定住プロジェクト 子どもたちの笑顔が輝くまち

### 主な課題

- 町外（近隣都市）から通勤する若者世代の定住促進  
\*将来人口の推計：20～44歳（若者世代）平成27～34年で449人減少（△16.2%）  
\*町外からの通勤者：20～44歳（若者世代）平成22年国勢調査：829人
- 子育て・教育環境の充実による、若者世代に対する生活ブランド力の向上
- 医療・都市間交通アクセスなど、若者世代が求める生活環境の充実
- 若者世代が求める雇用環境づくりの推進

## 重点施策① 若者世代が移住・定住しやすい環境づくりの推進

### 主な取り組み

#### (1) 若者世代が求める情報の総合的な発信

- 妊娠・出産・子育て支援等の関連する情報を一元的に発信するガイドブック及びポータルサイトの作成  
若者定住推進室  
（児童福祉）
- 空き地・空き家情報等の移住者向け情報の発信  
若者定住推進室  
（住宅・住環境）

#### (2) 若者世代が求める住環境・雇用環境づくり

- 住宅取得・中古住宅リフォーム・家賃助成など、若者世代の移住者に対する住宅支援制度の創設  
若者定住推進室  
（住宅・住環境）
- 栗山町農業振興公社による新規就農支援（相談事業・農業研修受入事業・新規参入者への助成事業など）  
産業振興課  
（農林業）
- 積極的な企業誘致の推進と空き店舗活用の支援  
ブランド推進課  
（商工業）

#### (3) 都市圏への交通アクセスの向上

- 通勤・通学の状況を含めた地域間（都市間）交通の利便性向上に向けた調査・研究  
経営企画課  
（道路・交通）

#### (4) 移住体験の機会づくり

- 短期移住体験の受入推進と、都市圏での移住相談会・移住者向けパンフレット作成等による移住PRの推進  
ブランド推進課  
（観光・交流産業）

## 重点施策② 安心して子育てができる環境づくりの推進

### 主な取り組み

#### (1) 子育て家庭の経済的な支援の充実

- 町内に住所を有する高校3年生までの医療費助成  
住民生活課  
(児童福祉)
- 満1歳までの乳幼児を対象とする育児用品の購入助成  
保健福祉課  
(児童福祉)

#### (2) 子育て・発達支援や保育サービスなどの充実

- 子育て支援センターの移設整備と機能充実
- 子育て家庭の支援と、子育てしやすい環境の充実  
(「(仮称)子ども健やか育み宣言」に基づく各種支援事業の実施)  
保健福祉課  
(児童福祉)
- 心身に障がいや発達の遅れがある子どもの支援体制の充実

#### (3) 各公園施設の安全確保と利便性の向上

- 老朽化した公園施設の安全確保(計画的な修繕・更新)
- 御大師山周辺(栗山公園等)の魅力・利便性の向上  
(散策路の補修、案内看板の設置、展望デッキの整備など)  
建設水道課  
(街なみ・景観)

## 重点施策③ 特色ある豊かな教育環境づくりの推進

### 主な取り組み

#### (1) 学校教育におけるICT教育・英語教育の充実

- 小中学校(各教室)における常設型ICT環境の整備  
(電子黒板・タブレット端末等の整備とデジタル教材の活用)  
教育委員会  
(学校教育)
- 指導技術を習得した小学校専属の英語指導助手の配置

#### (2) 児童生徒の学力向上に向けた指導体制等の充実

- 学校教育活動に対する指導・助言を行う専門職員の配置  
(学力向上対策や地域に開かれた学校運営などを効果的に推進)  
教育委員会  
(学校教育)
- 学習や学校生活に困難を抱える児童生徒をサポートする  
特別支援教育等の推進(支援員の継続配置)

### (3) 地域資源を活かした「ふるさと教育」の充実

- |  |                      |
|--|----------------------|
| ● 保護者・地域住民が学校運営に参画する「コミュニティスクール（学校運営協議会制度）」導入の推進 | 教育委員会<br>（学校教育）      |
| ● 自然体験や社会体験などの地域資源を活かした「ふるさと教育」の推進               | 教育委員会<br>（生涯教育）      |
| ● 学校等と連携した子どものまちづくり参加（体験）の推進                     | 経営企画課<br>（情報共有と町民参加） |

### (4) 児童・生徒によるスポーツ・文化活動の支援

- |   |                 |
|---|-----------------|
| ● 「子ども夢づくり基金」を活用したスポーツ・文化活動の支援（スポーツ大会参加支援、児童生徒の芸術鑑賞機会の充実など） | 教育委員会<br>（学校教育） |
| ● 年齢や技術の段階に応じた生涯スポーツの推進（スポーツ団体・総合型地域スポーツクラブとの連携事業の推進）       | 教育委員会<br>（スポーツ） |

### (5) 栗山高校生による各種資格取得の支援

- |   |                  |
|---|------------------|
| ● 栗山高校の生徒を対象に、語学・簿記・パソコン検定など、就業機会の拡大が見込まれる資格取得経費の一部助成 | ブランド推進課<br>（商工業） |
|---|------------------|

## 2

# 健康寿命延伸プロジェクト 生涯を自分らしく暮らすまち

### 主な課題

- 町民全体の健康管理に対する意識の向上
- 町民の健（検）診受診率の向上
  - \* 特定健診受診率 近隣町 58.3% : 栗山町 23.7%
  - \* がん検診受診率 近隣町 38.5% : 栗山町 14.2%
- 町民の生活習慣（食生活・運動習慣・禁煙・適正飲酒など）の改善

## 重点施策① 町民全体の健康意識の醸成

### 主な取り組み

### (1) 町民の健康管理に関する意識の高揚

- 「（仮称）健康寿命延伸のまちづくり宣言」の実施による全町的な健康づくり運動の展開
- 「（仮称）栗山町国民健康保険・健康チャレンジ奨励金」制度の創設（被保険者の健康づくり意識の高揚）
- 健康都市（スマート・ウェルネス・シティ）モデルの調査研究

保健福祉課  
（保健）

### (2) 地域や企業・団体による健康づくり活動の支援

- 「（仮称）健康づくり応援団」事業所・「（仮称）子どもにやさしい禁煙の店」認定制度の創設
- 企業・団体等が行う主体的な健康づくり活動に対する助成制度の創設

保健福祉課  
（保健）

## 重点施策② 生活習慣改善と疾病予防の推進

### 主な取り組み

### (1) 妊娠期・乳幼児期からの生活習慣づくり

- 妊娠前から乳幼児・学童期までの各対象に応じた適切な生活習慣づくりの推進
- 子育て家庭を対象とした食生活改善の推進
- 妊娠期・乳幼児期からの口腔ケア意識の高揚（仮称：親子でよい歯コンクールの開催など）

保健福祉課  
（保健）

## **(2)** 若年層の勧奨強化を含めた健(検)診受診率の向上

- がん検診及び特定健診受診率の向上  
(健康マイレージ事業、若年層を対象とした受診勧奨強化、  
検診体制の充実など)

保健福祉課  
(保健)

## **(3)** 町民の運動習慣づくりと生涯スポーツの推進

- 年齢や技術の段階に応じた生涯スポーツの推進  
(スポーツ団体・総合型地域スポーツクラブとの連携事業の推進)

教育委員会  
(スポーツ)

## **(4)** 介護予防(生活機能の維持・向上)の推進

- 高齢者による要介護状態の発生を防ぐ介護予防(生活機能  
の維持・向上)の推進

保健福祉課  
(高齢者福祉)

# 重点施策③ 高齢者による社会参加の環境づくりの推進

## 主な取り組み

### **(1)** 高齢者の多様な学びの機会づくり

- 町民の多様な学びの機会づくり  
(町民講座、くりやま地域大学事業の実施など)
- 高齢者の学びの機会と生きがいづくり  
(高齢者大学、定年世代向け町民講座の実施など)

教育委員会  
(生涯教育)

### **(2)** 高齢者の居場所・活動の場づくり

- ケアラズカフェの全町展開
- 熟年者の知識・技能を活かした生きがいの創出  
(熟年人材センター事業の推進など)

保健福祉課  
(地域福祉)

### **(3)** 高齢者の生活・活動のための交通手段の確保

- 高齢者の買い物・通院などの移動困難者を支えるコミュニ  
ティバスの導入(栗山市街地等の循環運行)

建設水道課  
(道路・交通)

### 3

## 自然環境保全・再生プロジェクト 人と自然が共生するまち

### 主な課題

- 自然・里山環境の保全・再生運動の担い手（リーダー）の確保・育成（町内児童・生徒等の自然体験教育の継続性の確保）
- 町民参加による自然環境保全・再生運動の再構築（オオムラサキの森づくり、ハサンベツ里山づくりなどの継続性の確保）
  - \* ハサンベツ里山の日への参加者が減少傾向
  - \* 町内児童生徒の自然体験活動が増加（延 2,200 名／年）

## 重点施策① 自然教育中長期ビジョンの策定と推進体制の整備

### 主な取り組み

### (1) 町民参加による自然教育中長期ビジョン・推進計画の策定

- 生物多様性基本法に基づく地域戦略等の策定（自然環境の保全・再生等に向けた中長期計画）  
教育委員会（自然環境教育）
- 「（仮称）人と自然が共生するまちづくり宣言」の実施による全町的な自然環境保全・再生運動の推進

### (2) 中心的な担い手（リーダー）の確保・育成

- 専任職員の配置など行政推進体制の充実と、町民運動の担い手（リーダー）確保・育成  
教育委員会（自然環境教育）
- 次代を担う子どもリーダーの育成（親子で参加できる「（仮称）里山調査隊」事業の実施）  
教育委員会（自然環境教育）

## 重点施策② 町民参加による自然環境保全・再生運動の推進

### 主な取り組み

### (1) 自然関係団体による主体的な保全・再生運動の支援

- ハサンベツ里山計画実行委員会などの活動支援（自然教育環境の充実に向けた里山運動の活性化）  
教育委員会（自然環境教育）
- 夕張川自然再生協議会などの活動支援（夕張川流域の環境調査、河川清掃、サケ放流事業等の支援など）

## (2) 町民が保全・再生運動に参加する機運・機会づくり

- 保全・再生運動に関する町民への情報発信の充実  
(情報誌マナビィの活用、各種シンポジウムの開催など)
- オオムラサキの観察飼育舎を「ふれあいプラザ」に移設統合  
(国蝶オオムラサキを身近に観察できる機会の充実) 教育委員会  
(自然環境教育)
- オオムラサキ生息地の保全、ハサンベツ里山再生運動への町民参加の充実
- 御大師山周辺の自然・里山環境や散策ルート等をまとめたガイドブックの作成(身近な自然に親しむ機運づくり) 建設水道課  
(街なみ・景観)

## 重点施策③ 自然体験教育の充実

### 主な取り組み

### (1) 児童生徒による「ふるさと自然体験教育」の充実

- 栗山町の自然環境を題材とした理科副読本の作成と学校教育等での活用 教育委員会  
(学校教育)
- 学習指導要領にも対応した自然体験プログラムの充実と、指導体制の確保(町民ボランティア体制の充実など) 教育委員会  
(自然環境教育)

### (2) 町外の小中学校等の受入など都市圏との交流事業の推進

- 「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」を拠点にした、町外の小中学校や大学などの学習・研修等の受入推進 教育委員会
- 協定大学等と連携した学生ボランティア制度の構築(子ども自然体験教育のサポート体制の充実) (観光・交流産業)

## 4

# 産業活性化プロジェクト 地域の潜在力を活かすまち

### 主な課題

- 農業基盤を活かし、商工業などが連携した6次産業の創出
- 観光・交流産業の拡大を効果的に推進する仕組み・体制の整備
- 各産業の担い手・後継者の育成

## 重点施策① 農業基盤を活かした6次産業化の推進

### 主な取り組み

### (1) 6次産業化に取り組む町内農業者等の支援

- 町内農業者等による農産物加工・販売や、農産物を活用したレストラン開設などを支援する制度の創設 産業振興課  
(農林業)

### (2) 栗の活用などの新たな特産品開発及び販路拡大の推進

- 国内最北端の栗の産地化とブランド開発の推進  
(北のくりやま栗づくり協議会の活動支援、見本園の整備など) ブランド推進課  
(観光・交流産業)
- 東アジア市場等への販路拡大を目指す町内企業の支援  
(栗山町産品等の販路拡大を支援)

### (3) 農産物を活かした企業の立地促進

- 積極的な企業誘致の推進(新規企業の進出等の支援) ブランド推進課  
(商工業)

## 重点施策② 地域資源を活かした観光・交流産業づくりの推進

### 主な取り組み

### (1) 観光推進体制の構築と観光振興計画に基づく事業の推進

- 新たな観光推進体制の構築による、観光振興計画の策定と計画に基づく観光事業の推進 ブランド推進課  
(観光・交流産業)

## (2) 自然・農村環境を活かした都市農村交流の推進

- |   |                    |
|---|--------------------|
| ● 栗山町グリーン・ツーリズム推進協議会と連携し、町外からの農業（農村）体験の受入や、農産物直売活動の推進   | 産業振興課<br>（農林業）     |
| ● 「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」を拠点にした、自然体験プログラムの充実と都市圏からの交流人口の拡大 | 教育委員会<br>（観光・交流産業） |

## 重点施策③ 各産業の担い手育成の推進

### 主な取り組み

### (1) 農業の担い手育成

- |   |                |
|---|----------------|
| ● 農業後継者の育成と営農活動の安定化支援<br>（農業教育振興会への助成、農業振興資金貸付けなど）    | 産業振興課<br>（農林業） |
| ● 栗山町農業振興公社による新規就農支援<br>（相談事業・農業研修受入事業・新規参入者への助成事業など） |                |

### (2) 商工業の担い手育成

- |   |                  |
|---|------------------|
| ● 賑わいにあふれ魅力ある商店街づくりの推進<br>（まちの駅栗夢プラザの運営支援、空き店舗活用支援など） | ブランド推進課<br>（商工業） |
| ● 町内商工業者の経営安定化・改善などの支援<br>（振興奨励金・振興資金制度の運用、経営相談事業など）  |                  |

# 栗山町第6次総合計画 進行管理計画(抜粋)

## (年度別計画内容及び財源内訳)

I. 生活環境	.....	1 P
II. 教育	.....	9 P
III. 医療・保健・福祉	.....	23 P
IV. 産業	.....	31 P
V. 都市基盤	.....	37 P
VI. 地域経営	.....	45 P
(参考)分野別事業費内訳	.....	53 P

【I. 生活環境】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画				
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業			
1	中間処理(リサイクル・堆肥化)を行い、再資源化を推進します。	計画内容	①廃棄物収集運搬業務委託 33,002千円 資源物選別及び圧縮作業委託 7,863千円 資源物収集運搬委託 4,379千円 空き缶処理委託 4,796千円 資源物処理委託 1,194千円 資源化処理管理費 3,435千円	①廃棄物収集運搬業務委託 33,002千円 資源物選別及び圧縮作業委託 7,863千円 資源物収集運搬委託 4,379千円 空き缶処理委託 4,796千円 資源物処理委託 1,194千円 資源化処理管理費 3,435千円	①廃棄物収集運搬業務委託 33,002千円 資源物選別及び圧縮作業委託 7,863千円 資源物収集運搬委託 4,379千円 空き缶処理委託 4,796千円 資源物処理委託 1,194千円 資源化処理管理費 3,435千円	①廃棄物収集運搬業務委託 33,002千円 資源物選別及び圧縮作業委託 7,863千円 資源物収集運搬委託 4,379千円 空き缶処理委託 4,796千円 資源物処理委託 1,194千円 資源化処理管理費 3,435千円	/	①廃棄物収集運搬業務委託 33,002千円 資源物選別及び圧縮作業委託 7,863千円 資源物収集運搬委託 4,379千円 空き缶処理委託 4,796千円 資源物処理委託 1,194千円 資源化処理管理費 3,435千円				
			②堆肥化施設管理運営委託 15,702千円 堆肥化処理管理費 16,131千円	②堆肥化施設管理運営委託 15,702千円 堆肥化処理管理費 16,131千円	②堆肥化施設管理運営委託 15,702千円 堆肥化処理管理費 16,131千円	②堆肥化施設管理運営委託 15,702千円 堆肥化処理管理費 16,131千円						
			③外部処理委託 8,216千円 木くず類処理委託 1,108千円(年間100t) 繊維類・廃プラスチック類処理委託 7,108千円(年間200t)	③外部処理委託 8,216千円 木くず類処理委託 1,108千円(年間100t) 繊維類・廃プラスチック類処理委託 7,108千円(年間200t)	③外部処理委託 8,216千円 木くず類処理委託 1,108千円(年間100t) 繊維類・廃プラスチック類処理委託 7,108千円(年間200t)	③外部処理委託 8,216千円 木くず類処理委託 1,108千円(年間100t) 繊維類・廃プラスチック類処理委託 7,108千円(年間200t)						
			事業費	94,718	94,718	94,718		94,718		378,872	378,872	
			財源内訳	国支出金							0	0
				道支出金							0	0
町債						0	0					
その他						0	0					
一般財源	94,718	94,718		94,718	94,718	378,872	378,872					
2	【充実】 ごみ分別の正しい知識の普及啓発と協力体制づくりを進めます。	計画内容	①説明会・施設見学会の実施 ②ごみ対策に取組むまちづくり協議会の活動支援 ③啓発用パンフレットの作成 ごみ分別PR用広告作成手数料等 42千円 ごみ分別の手引・まめ知識などの作成・配布 ④小中学生に対する教育活動 ⑤不法投棄対策 ⑥地域と連携した分別理解 違反・分別ステッカー印刷費 131千円	①説明会・施設見学会の実施 ②ごみ対策に取組むまちづくり協議会の活動支援 ③啓発用パンフレットの作成 ごみ分別PR用広告作成手数料等 42千円 ごみ分別の手引・まめ知識などの作成・配布 ④小中学生に対する教育活動 ⑤不法投棄対策 ⑥地域と連携した分別理解 違反・分別ステッカー印刷費 131千円	①説明会・施設見学会の実施 ②ごみ対策に取組むまちづくり協議会の活動支援 ③啓発用パンフレットの作成 ごみ分別PR用広告作成手数料等 42千円 ごみ分別の手引・まめ知識などの作成・配布 ④小中学生に対する教育活動 ⑤不法投棄対策 ⑥地域と連携した分別理解 違反・分別ステッカー印刷費 131千円	①説明会・施設見学会の実施 ②ごみ対策に取組むまちづくり協議会の活動支援 ③啓発用パンフレットの作成 ごみ分別PR用広告作成手数料等 42千円 ごみ分別の手引・まめ知識などの作成・配布 ④小中学生に対する教育活動 ⑤不法投棄対策 ⑥地域と連携した分別理解 違反・分別ステッカー印刷費 131千円	/	①説明会・施設見学会の実施 ②ごみ対策に取組むまちづくり協議会の活動支援 ③啓発用パンフレットの作成 ごみ分別PR用広告作成手数料等 42千円 ごみ分別の手引・まめ知識などの作成・配布 ④小中学生に対する教育活動 ⑤不法投棄対策 ⑥地域と連携した分別理解 違反・分別ステッカー印刷費 131千円				
			事業費	173	173	173		173		692	692	
			財源内訳	国支出金							0	0
				道支出金							0	0
				町債							0	0
				その他							0	0
一般財源	173	173		173	173	692	692					
3	老朽化したごみ処理施設・設備などの計画的な更新・修繕を行います。	計画内容	①資源リサイクルセンター圧縮梱包機更新修理 1,000千円 ②堆肥化施設攪拌機修理 8,780千円 ③堆肥化施設可動コンベア修理 2,000千円 ④脱臭施設修理 6,350千円 ⑤炭化炉撤去 15,000千円 ⑥最終処分場上屋移設 4,000千円 ⑦中間処理施設重機借上 5,873千円	①資源リサイクルセンター圧縮機修理 890千円 ②資源リサイクルセンター梱包機修理更新 1,620千円 ③堆肥化施設攪拌機修理 6,470千円 ④堆肥化施設上屋ビニール修繕 3,000千円 ⑤脱臭施設修理 5,540千円 ⑥中間処理施設重機借上 5,873千円	①資源リサイクルセンター管理棟改修 10,800千円 ②資源リサイクルセンター圧縮梱包機修理 1,010千円 ③資源リサイクルセンターボイラー交換 1,900千円 ④ごみ収集車更新 12,500千円 ⑤堆肥化施設攪拌機修理 2,240千円 ⑥脱臭施設修理 4,120千円 ⑦作業用重機更新(0.2BH) 5,860千円 ⑧中間処理施設重機借上 4,442千円	①資源リサイクルセンター梱包機修理 1,510千円 ②堆肥化施設攪拌機修理 1,580千円 ③脱臭施設修理 4,260千円 ④作業用重機更新(タイヤショベル) 6,600千円 ⑤作業用重機更新(0.7BH) 17,420千円	/	①資源リサイクルセンター梱包機修理 ②ごみ収集車更新 ③堆肥化施設攪拌機修理 ④堆肥化施設前処理コンベア修理2基 ⑤堆肥化施設選別コンベア修理2基 ⑥堆肥化施設上屋ビニール修繕 ⑦脱臭施設修理				
			事業費	43,003	23,393	42,872		31,370		140,638	64,160	
			財源内訳	国支出金							0	0
				道支出金							0	0
				町債				17,300		22,700	40,000	23,600
				その他							0	0
一般財源	43,003	23,393		25,572	8,670	100,638	40,560					
4	【充実】 埋立てごみの減容を推進します。	計画内容	①破砕業務委託(2名) 9,357千円 ②第2埋立処分場破砕作業 3,683千円 ・重機借り上げ(4か月分) 0.45BH 261,090×4か月=1,044千円 キャリアダンブ 512,773円×4か月 =2,051千円 ・燃料費 0.45BH 105円×3,600L=378千円 キャリアダンブ 105円×2,000L=210千円 ③最終処分処理管理費 1,792千円	①破砕業務委託(2名) 9,357千円 ②最終処分処理管理費 1,792千円 ③焼却による外部処理委託 年間処理委託料 900t/年 処理費・運搬費40,000円/t 900t×40,000円=36,000千円	①破砕業務委託(2名) 9,357千円 ②最終処分処理管理費 1,792千円 ③焼却による外部処理委託 年間処理委託料 900t/年 処理費・運搬費40,000円/t 900t×40,000円=36,000千円	①破砕業務委託(2名) 9,357千円 ②最終処分処理管理費 1,792千円 ③焼却による外部処理委託 年間処理委託料 900t/年 処理費・運搬費40,000円/t 900t×40,000円=36,000千円	/	①破砕業務委託(2名) ②最終処分処理管理費 ③焼却による外部処理委託				
			事業費	50,832	47,149	47,149		47,149		192,279	188,596	
			財源内訳	国支出金							0	0
				道支出金							0	0
				町債							0	0
				その他							0	0
一般財源	50,832	47,149		47,149	47,149	192,279	188,596					

【I. 生活環境】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画		
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業	
5	【新規】 広域組合加入による共同処理により、安定したごみ処理体制を構築します。	計画内容	①広域組合負担金 3,477千円 ②建設候補地選定委託費他 1,718千円	①広域組合負担金 3,477千円	①広域組合負担金 3,477千円 ②焼却炉建設調査設計費負担金 3,000千円 ③各種調査費負担金 1,902千円 ④建設用地買収費負担金 24千円 ⑤環境影響調査費負担金 1,285千円	①広域組合負担金 3,477千円 ②建設用地買収費負担金 29千円		①広域組合負担金 ②焼却炉建設実施設計費負担金 ③建設用地買収費負担金 ④造成費負担金 ⑤橋脚施設等建設費負担金		
		事業費	5,195	3,477	9,688	3,506	21,866	21,276		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	5,195	3,477	9,688	3,506	21,866	21,276	0			
6	町内会・自治会などによる、地域環境美化の運動を支援します	計画内容	①春・秋全町一斉清掃 収集委託費 347,000円 花火打ち上げ手数料 40,000円	①春・秋全町一斉清掃 収集委託費 347,000円 花火打ち上げ手数料 40,000円	①春・秋全町一斉清掃 収集委託費 347,000円 花火打ち上げ手数料 40,000円	①春・秋全町一斉清掃 収集委託費 347,000円 花火打ち上げ手数料 40,000円		①春・秋全町一斉清掃 収集委託費 花火打ち上げ手数料		
		事業費	387	387	387	387	1,548	1,548		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	387	387	387	387	1,548	1,548	0			
7	【充実】 温室効果ガスの排出削減などに向けた、地球温暖化対策実行計画を策定します。	計画内容			①地球温暖化対策実行計画策定 (区域施策編)  ・策定委員報酬 委員長 4,200円×1人×5回=21,000円 委員 4,000円×9人=36,000円×5回 =180,000円  ・策定委員費用弁償 5,000円×5回=25,000円 栗山4人・角田3人・継立3人	①地球温暖化対策実行計画策定 (区域施策編)  ・策定委員報酬 委員長 4,200円×1人×5回=21,000円 委員 4,000円×9人=36,000円×5回 =180,000円  ・策定委員費用弁償 5,000円×5回=25,000円 栗山4人・角田3人・継立3人				
		事業費	0	0	226	226	452	0		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	0	0	226	226	452	0	0			
8	【新規】 環境にやさしい循環型社会への貢献を目指す企業を支援します。	計画内容	①太陽光、バイオマス、雪氷等を活用した再生可能エネルギーの導入事業者に対する導入事業費補助 ②再生可能エネルギー導入により、新たな事業に取り組む事業者に対する新規事業費補助	①太陽光、バイオマス、雪氷等を活用した再生可能エネルギーの導入事業者に対する導入事業費補助 ②再生可能エネルギー導入により、新たな事業に取り組む事業者に対する新規事業費補助	①太陽光、バイオマス、雪氷等を活用した再生可能エネルギーの導入事業者に対する導入事業費補助 ②再生可能エネルギー導入により、新たな事業に取り組む事業者に対する新規事業費補助	①太陽光、バイオマス、雪氷等を活用した再生可能エネルギーの導入事業者に対する導入事業費補助 ②再生可能エネルギー導入により、新たな事業に取り組む事業者に対する新規事業費補助		①太陽光、バイオマス、雪氷等を活用した再生可能エネルギーの導入事業者に対する導入事業費補助 ②再生可能エネルギー導入により、新たな事業に取り組む事業者に対する新規事業費補助		
		事業費	5,000	5,000	5,000	5,000	20,000	20,000		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	5,000	5,000	5,000	5,000	20,000	20,000	0			

【I. 生活環境】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画		
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業	
9	【充実】 公共施設などの再生可能エネルギー導入を推進します。	計画内容	①公共施設太陽光発電設備工事 7,400千円×2施設 = 14,800千円 (役場・南部公民館) ②住宅用太陽光発電システム設置費補助 1件 210千円×10件 = 2,100千円 ③南部公民館LED照明器具設置工事費 1,000千円	①公共施設太陽光発電設備工事 7,400千円(農村環境改善センター) ②住宅用太陽光発電システム設置費補助 1件 210千円×10件 = 2,100千円	①住宅用太陽光発電システム設置費補助 1件 210千円×10件 = 2,100千円 ②改善センターLED照明器具設置工事費 1,000千円	①住宅用太陽光発電システム設置費補助 1件 210千円×10件 = 2,100千円		①住宅用太陽光発電システム設置費補助	■木質バイオマス、風力発電などの導入の調査検討	
		事業費	17,900	9,500	3,100	2,100	32,600	6,300		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債	14,800	7,400			22,200	0	
			その他					0	0	
一般財源	3,100	2,100	3,100	2,100	10,400	6,300	0			
10	【新規】 自主防災組織の設置により、地域防災活動を推進します。	計画内容	①自主防災組織設置補助金交付要綱の制定 自主防災組織設置補助金の交付 10,000円×15町内会=150,000円 ②説明会、設置・活動支援 ③防災士研修講座受講 61,000円×15人=915,000円	①自主防災組織設置補助金の交付 10,000円×15町内会=150,000円 ②説明会、設置・活動支援 ③防災士研修講座受講 61,000円×15人=915,000円	①自主防災組織設置補助金の交付 10,000円×15町内会=150,000円 ②説明会、設置・活動支援 ③防災士研修講座受講 61,000円×15人=915,000円	①自主防災組織設置補助金の交付 10,000円×15町内会=150,000円 ②説明会、設置・活動支援 ③防災士研修講座受講 61,000円×15人=915,000円		①自主防災組織設置補助金の交付 ②説明会、設置・活動支援 ③防災士研修講座受講		
		事業費	1,065	1,065	1,065	1,065	4,260	2,640		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	1,065	1,065	1,065	1,065	4,260	2,640	0			
11	【充実】 災害用物資の計画的な備蓄を進めるとともに、備品保管倉庫を整備します。	計画内容	①備蓄用食料品の購入 アルファ米(おかゆ)250円×300食×1.08=81,000円 クラッカー 180円×3,700袋×1.08=719,280円 飲料水 110円×3,036本×1.08=360,677円 粉ミルク 55円×800本×1.08=47,520円 1,208,477円 ②備蓄用資機材の購入 毛布 5,500円×250枚×1.08=1,485,000円 投影機 254,000円×2基×1.08=548,640円 マット 42,000円×5本×1.08=226,800円 2,260,440円	①備蓄用食料品の購入 アルファ米 250円×1,400食×1.08=378,000円 クラッカー 180円×2,800袋×1.08=544,320円 飲料水 110円×3,264本×1.08=387,763円 粉ミルク 55円×800本×1.08=47,520円 1,357,603円 ②備蓄用資機材の購入 毛布 5,500円×200枚×1.08=1,188,000円 マット 42,000円×5本×1.08=226,800円 ストーブ 20,000円×10台×1.08=216,000円 ポータブルトイレ 20,000円×5個×1.08=108,000円 1,738,800円	①備蓄用食料品の購入 アルファ米 250円×3,000食×1.08=810,000円 クラッカー 180円×2,800袋×1.08=544,320円 飲料水 110円×3,000本×1.08=356,400円 粉ミルク 55円×800本×1.08=47,520円 1,758,240円 ②備蓄用資機材の購入 毛布 5,500円×200枚×1.08=1,188,000円 マット 42,000円×5本×1.08=226,800円 ストーブ 20,000円×10台×1.08=216,000円 ポータブルトイレ 20,000円×5個×1.08=108,000円 1,738,800円 ③備蓄倉庫の建設 倉庫 34,700,000円(216.72㎡×160,000円) S造平屋建て ラック 7,227,388円 計41,927,388円	①備蓄用食料品の購入 アルファ米 250円×3,100食×1.08=837,000円 クラッカー 180円×3,000袋×1.08=583,200円 飲料水 110円×3,000本×1.08=356,400円 粉ミルク 55円×800本×1.08=47,520円 1,824,120円 ②備蓄用資機材の購入 毛布 5,500円×200枚×1.08=1,188,000円 マット 42,000円×5本×1.08=226,800円 ストーブ 20,000円×10台×1.08=216,000円 ポータブルトイレ 20,000円×5個×1.08=108,000円 1,738,800円		①備蓄用食料品の購入 アルファ米 クラッカー 飲料水 粉ミルク ②備蓄用資機材の購入 毛布 マット ストーブ ポータブルトイレ		
		事業費	3,469	3,097	45,425	3,563	55,554	12,237		
		財源内訳	国支出金			11,550		11,550	0	
			道支出金	1,700				1,700	0	
			町債			23,100		23,100	0	
			その他					0	0	
一般財源	1,769	3,097	10,775	3,563	19,204	12,237	0			
12	【新規】 災害時の電源・燃料確保を推進します。	計画内容	①非常用電源施設整備(1箇所) 7,000,000円 継立南部公民館 ②発電機 845,000円×3基×1.08 2,737,800円 ③燃料供給業者(組合)との災害時協定の締結	①非常用電源施設整備(2箇所) 14,000,000円 角田改善センター 7,000,000円 角小 7,000,000円	①非常用電源施設整備(1箇所) 17,200,000円 総合福祉センター	①非常用電源施設整備(1箇所) 17,200,000円 スポーツセンター		①非常用電源施設整備(5箇所) 栗山中学校、Eki、縦小、介護福祉学校、栗小		
		事業費	9,738	14,000	17,200	17,200	58,138	80,800		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金	1,300				1,300	0	
			町債	7,000	14,000	17,200	17,200	55,400	80,800	
			その他					0	0	
一般財源	1,438	0	0	0	1,438	0	0			

【I. 生活環境】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画		
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業	
13	【新規】 災害時の情報伝達手段を充実します。	計画内容	①小中学校等に対する緊急速報システムの導入委託料 8,057千円(13施設分)	①小中学校等に対する緊急速報システムの保守委託料 10千円×13施設×1.08=141千円	①小中学校等に対する緊急速報システムの保守委託料 10千円×13施設×1.08=141千円	①小中学校等に対する緊急速報システムの保守委託料 10千円×13施設×1.08=141千円		①小中学校等に対する緊急速報システムの保守委託料		
		事業費	8,057	141	141	141	8,480	564		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債	8,000				8,000	0	
			その他					0	0	
一般財源	57	141	141	141	480	564	0			
14	【新規】 防災情報システム(気象観測等)を導入します。	計画内容	①防災情報システム導入観測機器等 1,150千円×5式×1.08=6,210千円 ネットワークカメラ等 240千円×5式×1.08=1,296千円 Web公開等 1,200千円×一式×1.08=1,296千円 調査設計、試験等 446千円×一式×1.08=482千円 ②防災情報システム保守料等 ③防災情報システムWeb使用料 50千円×6ヶ月×1.08=324千円 ④防災情報システム通信料 5千円×2拠点×6ヶ月×1.08=65千円	①防災情報システム保守料 140千円×5式×1.08=756千円 ②防災情報システムWeb使用料 50千円×12ヶ月×1.08=648千円 ③防災情報システム通信料 5千円×2拠点×12ヶ月×1.08=127千円	①防災情報システム保守料 140千円×5式×1.08=756千円 ②防災情報システムWeb使用料 50千円×12ヶ月×1.08=648千円 ③防災情報システム通信料 5千円×2拠点×12ヶ月×1.08=127千円	①防災情報システム保守料 140千円×5式×1.08=756千円 ②防災情報システムWeb使用料 50千円×12ヶ月×1.08=648千円 ③防災情報システム通信料 5千円×2拠点×12ヶ月×1.08=127千円		①防災情報システム保守料 ②防災情報システムWeb使用料 ③防災情報システム通信料 ④防災情報システム機器更新観測機器等ネットワークカメラ等		
		事業費	9,673	1,531	1,531	1,531	14,266	13,630		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	9,673	1,531	1,531	1,531	14,266	13,630	0			
15	防災訓練の実施と、町民の防災知識の啓発を推進します。	計画内容	①総合防災訓練(市街地区) 消耗品等 100,000円 ②職員防災訓練(職員) ③広報掲載	①総合防災訓練(角田地区) 消耗品等 100,000円 ②職員防災訓練(職員) ③広報掲載	①総合防災訓練(市街地区) 消耗品等 100,000円 ②職員防災訓練(職員) ③広報掲載	①総合防災訓練(市街地区) 消耗品等 100,000円 ②職員防災訓練(職員) ③広報掲載		①総合防災訓練(市街、角田、継立地区) 消耗品等 ②職員防災訓練(職員) ③広報掲載		
		事業費	100	100	100	100	400	400		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	100	100	100	100	400	400	0			
16	【展望】 消防車両などを計画的に更新します。	計画内容						<ul style="list-style-type: none"> <li>■消防署化学消防ポンプ自動車Ⅱ型更新</li> <li>■消防署はしご自動車総合点検</li> <li>■消防署小型動力ポンプ付水槽車Ⅱ型更新</li> <li>■救助工作車Ⅱ型</li> <li>■消防署指令車</li> <li>■高規格救急自動車(高度救命資機材付)</li> <li>■消防署除雪機</li> </ul>		
		事業費	0	0	0	0	0	0		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	0	0	0	0	0	0	0			

【I. 生活環境】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画			
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業		
17	【新規】 消防通信指令装置を更新します。	計画内容	①消防通信指令装置 56,950千円					/			
		事業費	56,950	0	0	0	56,950		0		
		財源内訳	国支出金						0	0	
			道支出金						0	0	
			町債	56,900					56,900	0	
			その他						0	0	
一般財源	50	0	0	0	50	0	0				
18	AEDの活用など救急救命講習を実施します。	計画内容	①救急救命講習					/	①救急救命講習		
		事業費	0	0	0	0	0		0		
		財源内訳	国支出金						0	0	
			道支出金						0	0	
			町債						0	0	
			その他						0	0	
一般財源	0	0	0	0	0	0	0				
19	【充実】 老朽化した消防施設を計画的に改修・整備します。	計画内容	①消防署庁舎サイレン塔ボルト交換及び塗装 @6,458,400円 ②消防待機機舎A・B棟外壁塗装 @3,150,576円	①消防署浴室改修及び女子トイレ増設 @1,864,080円	①消防署庁舎屋上防水工事 @9,925,714円		/				
		事業費	9,609	1,865	9,926	0		21,400	0		
		財源内訳	国支出金						0	0	
			道支出金						0	0	
			町債						0	0	
			その他						0	0	
一般財源	9,609	1,865	9,926	0	21,400	0	0				
20	消防団施設の更新など、充実・強化を図ります。	計画内容	①栗山消防団第3分団除雪機 @1,885千円 ②デジタル簡易無線を使用したサイレン吹鳴システム整備 @10,587千円 ③栗山消防団第3分団第1部庁舎外壁板及び屋根張替え工事 @4,226千円	①栗山消防団第3分団第1部車の更新(小型動力ポンプ舎)@34,370千円 ②栗山消防団第2分団第2部庁舎外壁及び屋根塗装工事@297千円	①栗山消防団第3分団1部庁舎サイレン更新	①栗山消防団第2分団除雪機 @1,885千円 ②栗山消防団第2分団第2部車更新(小型動力ポンプ舎)@30,166千円	/	①消防団員防火衣一式更新(129着) ②栗山消防団第3分団第3部庁舎改修工事	■栗山消防団第1分団第2部車更新 ■栗山消防団第3分団第2部小型動力ポンプ付積載車		
		事業費	16,698	34,667	11,000	32,051		94,416	24,645		
		財源内訳	国支出金						0	0	
			道支出金						0	0	
			町債	10,500	32,600			28,600	71,700	0	
			その他						0	14,645	
一般財源	6,198	2,067	11,000	3,451	22,716	10,000	0				

【I. 生活環境】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画				
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業			
21	交通安全運動・教育を推進します。	計画内容	①栗山町交通安全協会 補助金1,700,000円 ※夜光反射材の重点配布(H26~H28) @90円×750個×1.08=72,900円≒70,000円	①栗山町交通安全協会 補助金1,700,000円 ※夜光反射材の重点配布(H26~H28) @90円×750個×1.08=72,900円≒70,000円	①栗山町交通安全協会 補助金1,630,000円	①栗山町交通安全協会 補助金1,630,000円						
		事業費	1,700	1,700	1,630	1,630				6,660	6,520	
		財源内訳	国支出金								0	0
			道支出金								0	0
			町債								0	0
			その他								0	0
一般財源	1,700	1,700	1,630	1,630	6,660	6,520	0					
22	交通安全施設の整備を進めます。	計画内容	①道路警戒標識設置工事 3,000,000円 ②公安委員会への要望	①道路警戒標識設置工事 3,000,000円 ②公安委員会への要望	①道路警戒標識設置工事 3,000,000円 ②公安委員会への要望	①道路警戒標識設置工事 3,000,000円 ②公安委員会への要望						
		事業費	3,000	3,000	3,000	3,000				12,000	12,000	
		財源内訳	国支出金								0	0
			道支出金								0	0
			町債								0	0
			その他								0	0
一般財源	3,000	3,000	3,000	3,000	12,000	12,000	0					
23	地域の防犯・安全運動を推進します。	計画内容	①栗山地区防犯協会 負担金401,000円	①栗山地区防犯協会 負担金401,000円	①栗山地区防犯協会 負担金401,000円	①栗山地区防犯協会 負担金401,000円						
		事業費	401	401	401	401				1,604	1,604	
		財源内訳	国支出金								0	0
			道支出金								0	0
			町債								0	0
			その他								0	0
一般財源	401	401	401	401	1,604	1,604	0					
24	防犯灯(街路灯)の適切な配置を推進します。	計画内容	①街路灯設置(修理)補助金 1,800千円 ②電気料補助 6,000千円	①街路灯設置(修理)補助金 1,800千円 ②電気料補助 6,000千円	①街路灯設置(修理)補助金 1,800千円 ②電気料補助 6,000千円	①街路灯設置(修理)補助金 1,800千円 ②電気料補助 6,000千円						
		事業費	7,800	7,800	7,800	7,800				31,200	31,200	
		財源内訳	国支出金								0	0
			道支出金								0	0
			町債								0	0
			その他								0	0
一般財源	7,800	7,800	7,800	7,800	31,200	31,200	0					

【 I . 生活環境】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画		
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業	
25	消費生活に関する啓発活動の支援 や相談窓口の充実を図ります。	計画内容	①消費者協会への補助金交付 198千円 情報宣伝活動～消費者だより発行 調査研究～商品テスト 教育活動～消費者まつり、暮らしの講座 物価対策～燃料価格調査 組織活動～研修視察、道消費者大会参加、管内 連絡協議会参加 など	①消費者協会への補助金交付 198千円 情報宣伝活動～消費者だより発行 調査研究～商品テスト 教育活動～消費者まつり、暮らしの講座 物価対策～燃料価格調査 組織活動～研修視察、道消費者大会参加、管内 連絡協議会参加 など	①消費者協会への補助金交付 198千円 情報宣伝活動～消費者だより発行 調査研究～商品テスト 教育活動～消費者まつり、暮らしの講座 物価対策～燃料価格調査 組織活動～研修視察、道消費者大会参加、管内 連絡協議会参加 など	①消費者協会への補助金交付 198千円 情報宣伝活動～消費者だより発行 調査研究～商品テスト 教育活動～消費者まつり、暮らしの講座 物価対策～燃料価格調査 組織活動～研修視察、道消費者大会参加、管内 連絡協議会参加 など		①消費者協会への補助金交付 198千円 情報宣伝活動～消費者だより発行 調査研究～商品テスト 教育活動～消費者まつり、暮らしの講座 物価対策～燃料価格調査 組織活動～研修視察、道消費者大会参加、管内 連絡協議会参加 など		
		事業費	1,198	1,198	1,198	1,198	4,792	4,792		
		財源 内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他	1,100	1,100	1,100	1,100	4,400	4,400	
一般財源	98	98	98	98	392	392	0			

【Ⅱ. 教育】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画				後期展望計画				
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業		
26	【充実】 学校教育におけるICTの利活用を推進します。	計画内容	①常設型ICT環境整備 普通教室ICT環境整備 2,175千円 ・電子黒板付きプロジェクタ(天吊り) ・実物投影機(書画カメラ) ・マグネットスクリーン(ロール式) 複式学級用(角田・継立小) 590千円 ・電子黒板付きプロジェクタ(ホワイトボード型) ・実物投影機(書画カメラ) 教師提示用システム(デジタルテレビ活用)296千円 普通教室協働学習用タブレット(8インチ) 750千円 情報教育兼用タブレットPC(12インチ) 1,950千円 提示用デジタル教科書(Edumal)等 1,620千円 工事費他1,728千円(以上5年リース185千円/月)  ②ICT支援委託(9月～3月) 2,000円/時間×7時間/日×2日/週×18週 =504,000円  ③ネットワーク及び機器の保守などは現在同様で対応 5,400円/時間×20時間×1校=108,000円	①機器の利活用ために 提示用デジタル教科書(Edumal)利用料 200,000円×1校=200,000円  ②ICT支援委託 2,000円/時間×7時間/日×2日/週×35週 =980,000円  ③ネットワーク及び機器の保守などは現在同様で対応 5,400円/時間×20時間×4校=432,000円	①常設型ICT環境整備 普通教室ICT環境整備 11,745千円 ・電子黒板付きプロジェクタ(天吊り) ・実物投影機(書画カメラ) ・マグネットスクリーン(ロール式) 複式学級用(角田・継立小) 590千円 ・電子黒板付きプロジェクタ(ホワイトボード型) ・実物投影機(書画カメラ) 教師提示用システム(デジタルテレビ活用)1,720千円 普通教室協働学習用タブレット(8インチ) 6,750千円 情報教育兼用タブレットPC(12インチ) 17,550千円 提示用デジタル教科書(Edumal)等 1,728千円 工事費他 8,353千円  ②ICT支援委託(9月～3月) 2,000円/時間×7時間/日×35日×4校 =1,960,000円  ③ネットワーク及び機器の保守などは現在同様で対応 5,400円/時間×20時間×4校=432,000円	①機器の利活用ために 提示用デジタル教科書(Edumal)利用料 200,000円×4校=800,000円  ②ICT支援委託(9月～3月) 2,000円/時間×7時間/日×35日×4校 =1,960,000円  ③ネットワーク及び機器の保守などは現在同様で対応 5,400円/時間×20時間×4校=432,000円	/	①機器の利活用ために 提示用デジタル教科書(Edumal)利用料  ②ICT支援委託  ③ネットワーク及び機器の保守などは現在同様で対応			
		事業費	9,721	1,612	50,828	3,192		65,353	12,768		
		財源内訳	国支出金			12,700			12,700	0	
			道支出金						0	0	
			町債			38,100			38,100	0	
その他						0	0				
一般財源	9,721	1,612	28	3,192	14,553	12,768	0				
27	【充実】 小中学校の英語教育の質的向上、 充実を図ります。	計画内容	①外国語指導助手の小中学校への配置 JETプログラム 人件費等 4,800千円 外国語指導業務委託 委託料 5,000千円  JET … 栗山中学校 1名 委託 … 栗山・角田・継立小学校 1名 ※栗山 3日、角田・継立 1日	①外国語指導助手の小中学校への配置 JETプログラム 人件費等 4,800千円 外国語指導業務委託 委託料 5,000千円  JET … 栗山中学校 1名 委託 … 栗山・角田・継立小学校 1名 ※栗山 3日、角田・継立 1日	①外国語指導助手の小中学校への配置 JETプログラム 人件費等 4,800千円 外国語指導業務委託 委託料 5,000千円  JET … 栗山中学校 1名 委託 … 栗山・角田・継立小学校 1名 ※栗山 3日、角田・継立 1日	①外国語指導助手の小中学校への配置 JETプログラム 人件費等 4,800千円 外国語指導業務委託 委託料 5,000千円  JET … 栗山中学校 1名 委託 … 栗山・角田・継立小学校 1名 ※栗山 3日、角田・継立 1日	①外国語指導助手の小中学校への配置 JETプログラム 人件費等 外国語指導業務委託 委託料  JET … 栗山中学校 1名 委託 … 栗山・角田・継立小学校 1名 ※栗山 3日、角田・継立 1日				
		事業費	9,800	9,800	9,800	9,800	39,200	39,200			
		財源内訳	国支出金					0	0		
			道支出金					0	0		
			町債					0	0		
その他						0	0				
一般財源	9,800	9,800	9,800	9,800	39,200	39,200	0				
28	【新規】 児童生徒の学力向上に向けた指導 機能の充実を図ります。	計画内容	①指導主事分掌業務 囑託給与 4,000千円 学校経営に関する業務 教育課程に関する業務 教職員の資質向上に関する業務 生徒指導方針策定に関する業務 教職員の服務規律に関する業務 教育行政執行方針に関する業務 教職員人事に関する業務 学校管理規則等に関する業務  ②教職員研修旅費 200千円	①指導主事分掌業務 囑託給与 4,000千円 学校経営に関する業務 教育課程に関する業務 教職員の資質向上に関する業務 生徒指導方針策定に関する業務 教職員の服務規律に関する業務 教育行政執行方針に関する業務 教職員人事に関する業務 学校管理規則等に関する業務  ②教職員研修旅費 200千円	①指導主事分掌業務 囑託給与 4,000千円 学校経営に関する業務 教育課程に関する業務 教職員の資質向上に関する業務 生徒指導方針策定に関する業務 教職員の服務規律に関する業務 教育行政執行方針に関する業務 教職員人事に関する業務 学校管理規則等に関する業務  ②教職員研修旅費 200千円	①指導主事分掌業務 囑託給与 4,000千円 学校経営に関する業務 教育課程に関する業務 教職員の資質向上に関する業務 生徒指導方針策定に関する業務 教職員の服務規律に関する業務 教育行政執行方針に関する業務 教職員人事に関する業務 学校管理規則等に関する業務  ②教職員研修旅費 200千円	①指導主事分掌業務 囑託給与 学校経営に関する業務 教育課程に関する業務 教職員の資質向上に関する業務 生徒指導方針策定に関する業務 教職員の服務規律に関する業務 教育行政執行方針に関する業務 教職員人事に関する業務 学校管理規則等に関する業務  ②教職員研修旅費				
		事業費	4,200	4,200	4,200	4,200	16,800	16,800			
		財源内訳	国支出金					0	0		
			道支出金					0	0		
			町債					0	0		
その他						0	0				
一般財源	4,200	4,200	4,200	4,200	16,800	16,800	0				
29	各学年において「全国標準学力検査」を実施します。	計画内容	①全国標準学力検査の実施 小学2～6年生 年1回 282千円 中学1～3年生 年1回 520千円 中学1年生 年2回 中学2年生 年3回 } 387千円 中学3年生 年6回	①全国標準学力検査の実施 小学2～6年生 年1回 282千円 中学1～3年生 年1回 520千円 中学1年生 年2回 中学2年生 年3回 } 387千円 中学3年生 年6回	①全国標準学力検査の実施 小学2～6年生 年1回 282千円 中学1～3年生 年1回 520千円 中学1年生 年2回 中学2年生 年3回 } 387千円 中学3年生 年6回	①全国標準学力検査の実施 小学2～6年生 年1回 282千円 中学1～3年生 年1回 520千円 中学1年生 年2回 中学2年生 年3回 } 387千円 中学3年生 年6回	①全国標準学力検査の実施 小学2～6年生 年1回 中学1～3年生 年1回 中学1年生 年2回 中学2年生 年3回 中学3年生 年6回				
		事業費	1,189	1,189	1,189	1,189	4,756	4,756			
		財源内訳	国支出金					0	0		
			道支出金					0	0		
			町債					0	0		
その他						0	0				
一般財源	1,189	1,189	1,189	1,189	4,756	4,756	0				

【Ⅱ. 教育】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画			
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業		
30	特別支援教育を推進します。	計画内容	①特別支援教育支援員賃金 1,403,600円×8人=11,228,800円	①特別支援教育支援員賃金 1,403,600円×8人=11,228,800円	①特別支援教育支援員賃金 1,403,600円×8人=11,228,800円	①特別支援教育支援員賃金 1,403,600円×8人=11,228,800円	/	①特別支援教育支援員賃金			
			事業費	11,229	11,229	11,229		11,229	44,916	44,916	
		財源内訳	国支出金						0	0	
			道支出金						0	0	
			町債						0	0	
			その他						0	0	
一般財源	11,229	11,229	11,229	11,229	44,916	44,916	0				
31	教職員による学校事務(校務)の負担軽減を図ります。	計画内容	①北海道公立学校校務支援システム 月額15,000円×12か月×4校 720,000円 ②学校事務補助職員の配置 栗山小学校 1名 1,159,000円 栗山中学校 1名 1,159,000円 角田・継立小学校 1名 1,159,000円 3,477,000円	①北海道公立学校校務支援システム 月額15,000円×12か月×4校 720,000円 ②学校事務補助職員の配置 栗山小学校 1名 1,159,000円 栗山中学校 1名 1,159,000円 角田・継立小学校 1名 1,159,000円 3,477,000円	①北海道公立学校校務支援システム 月額15,000円×12か月×4校 720,000円 ②学校事務補助職員の配置 栗山小学校 1名 1,159,000円 栗山中学校 1名 1,159,000円 角田・継立小学校 1名 1,159,000円 3,477,000円	①北海道公立学校校務支援システム 月額15,000円×12か月×4校 720,000円 ②学校事務補助職員の配置 栗山小学校 1名 1,159,000円 栗山中学校 1名 1,159,000円 角田・継立小学校 1名 1,159,000円 3,477,000円	/	①北海道公立学校校務支援システム ②学校事務補助職員の配置 栗山小学校 1名 栗山中学校 1名 角田・継立小学校 1名			
			事業費	4,197	4,197	4,197		4,197	16,788	16,788	
		財源内訳	国支出金						0	0	
			道支出金						0	0	
			町債						0	0	
			その他						0	0	
一般財源	4,197	4,197	4,197	4,197	16,788	16,788	0				
32	小学生のフッ化物洗口を推進します。	計画内容	①フッ化物洗口用器具購入費等 30千円	①フッ化物洗口用器具購入費等 30千円	①フッ化物洗口用器具購入費等 30千円	①フッ化物洗口用器具購入費等 30千円	/	①フッ化物洗口用器具購入費等			
			事業費	30	30	30		30	120	120	
		財源内訳	国支出金						0	0	
			道支出金						0	0	
			町債						0	0	
			その他						0	0	
一般財源	30	30	30	30	120	120	0				
33	いじめや不登校などの問題行動の未然防止と早期解決を図ります。	計画内容	①相談員賃金(生涯学習アドバイザーと兼務)嘱託職員給与 ②SC派遣事業を利用する	①相談員賃金(生涯学習アドバイザーと兼務)嘱託職員給与 ②SC派遣事業を利用する	①相談員賃金(生涯学習アドバイザーと兼務)嘱託職員給与 ②SC派遣事業を利用する	①相談員賃金(生涯学習アドバイザーと兼務)嘱託職員給与 ②SC派遣事業を利用する	/	①相談員賃金(生涯学習アドバイザーと兼務)嘱託職員給与 ②SC派遣事業を利用する			
			事業費	0	0	0		0	0	0	
		財源内訳	国支出金						0	0	
			道支出金						0	0	
			町債						0	0	
			その他						0	0	
一般財源	0	0	0	0	0	0	0				

【Ⅱ. 教育】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画			
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業		
34	【充実】 学校の読書環境(図書室)の充実を図ります。	計画内容	①学校図書の充実	①学校図書の充実	①学校図書の充実	①学校図書の充実		①学校図書の充実			
		事業費	0	0	0	0		0	0		
		財源内訳	国支出金						0	0	
			道支出金						0	0	
			町債						0	0	
			その他						0	0	
一般財源	0	0	0	0	0	0	0				
35	【充実】 「子ども夢づくり基金」を活用し、児童生徒のスポーツ・文化活動を支援します。	計画内容	①活動支援事業(スポーツ活動・文化活動) 1,000,000円	①活動支援事業(スポーツ活動・文化活動) 1,000,000円 ②芸術鑑賞事業(中学生の芸術鑑賞事業) 1,000,000円	①活動支援事業(スポーツ活動・文化活動) 1,000,000円 ②芸術鑑賞事業(中学生の芸術鑑賞事業) 1,000,000円	①活動支援事業(スポーツ活動・文化活動) 1,000,000円 ②芸術鑑賞事業(中学生の芸術鑑賞事業) 1,000,000円		①活動支援事業(スポーツ活動・文化活動) 1,000,000円 ②芸術鑑賞事業(中学生の芸術鑑賞事業) 1,000,000円			
		事業費	1,000	2,000	2,000	2,000		7,000	8,000		
		財源内訳	国支出金						0	0	
			道支出金						0	0	
			町債						0	0	
			その他	1,000	2,000	2,000		2,000	7,000	8,000	
一般財源	0	0	0	0	0	0	0				
36	「輝け! 栗っ子」児童生徒表彰を行い、子どもたちの意欲を育みます。	計画内容	①児童生徒の表彰 80名 表彰メダル@1,240円×80名×1.08 = 107,136円 ②町広報等への掲載	①児童生徒の表彰 80名 表彰メダル@1,240円×80名×1.08 = 107,136円 ②町広報等への掲載	①児童生徒の表彰 80名 表彰メダル@1,240円×80名×1.08 = 107,136円 ②町広報等への掲載	①児童生徒の表彰 80名 表彰メダル@1,240円×80名×1.08 = 107,136円 ②町広報等への掲載		①児童生徒の表彰 表彰メダル ②町広報等への掲載			
		事業費	108	108	108	108		432	432		
		財源内訳	国支出金						0	0	
			道支出金						0	0	
			町債						0	0	
			その他						0	0	
一般財源	108	108	108	108	432	432	0				
37	【充実】 コミュニティスクール(学校運営協議会制度)の導入を進めます。	計画内容	①コミュニティ・スクール交付金 (運営協議会委員報酬、研修旅費、消耗品など) 栗山小学校 200,000円 角田小学校 100,000円 継立小学校 100,000円 栗山中学校 230,000円 合同研修会 100,000円	①コミュニティ・スクール交付金 (運営協議会委員報酬、研修旅費、消耗品など) 栗山小学校 180,000円 角田小学校 75,000円 継立小学校 85,000円 栗山中学校 200,000円	①コミュニティ・スクール交付金 (運営協議会委員報酬、研修旅費、消耗品など) 栗山小学校 180,000円 角田小学校 75,000円 継立小学校 85,000円 栗山中学校 200,000円	①コミュニティ・スクール交付金 (運営協議会委員報酬、研修旅費、消耗品など) 栗山小学校 180,000円 角田小学校 75,000円 継立小学校 85,000円 栗山中学校 200,000円		①コミュニティ・スクール交付金 (運営協議会委員報酬、研修旅費、消耗品など) 栗山小学校 角田小学校 継立小学校 栗山中学校			
		事業費	730	540	540	540		2,350	2,160		
		財源内訳	国支出金	243					243	0	
			道支出金						0	0	
			町債						0	0	
			その他						0	0	
一般財源	487	540	540	540	2,107	2,160	0				

【Ⅱ. 教育】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画		
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業	
38	児童生徒の登下校時の安全・安心を確保します。	計画内容	①校区安全マップの印刷・配布 @50円*390枚*1.08=22千円 新小年生 75名*2枚=150枚 新中学生 110名*2枚=220枚 ②スクールバス・町営バスの運行 ③通学路合同安全点検 1回	①校区安全マップの印刷・配布 @50円*370枚*1.08=20千円 新小年生 88名*2枚=176枚 新中学生 91名*2枚=182枚 ②スクールバス・町営バスの運行 ③通学路合同安全点検 1回	①校区安全マップの印刷・配布 @50円*400枚*1.08=22千円 新小年生 92名*2枚=184枚 新中学生 99名*2枚=198枚 ②スクールバス・町営バスの運行 ③通学路合同安全点検 1回	①校区安全マップの印刷・配布 @50円*350枚*1.08=19千円 新小年生 80名*2枚=160枚 新中学生 84名*2枚=168枚 ②スクールバス・町営バスの運行 ③通学路合同安全点検 1回		①校区危険箇所見直し点検 校区安全マップの印刷・配布 ②スクールバス・町営バスの運行 ③通学路合同安全点検		
		事業費	22	20	22	19	83	137		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	22	20	22	19	83	137	0			
39	ふるさと教育を推進するため、栗山らしい副読本を作成します。	計画内容	①副読本(社会) 新3年生と小学校教職員に配布(2年分作成) 110冊 事務局分 20冊 @1,500円*225冊*1.08=1,134,000円	①副読本(社会) 新3年生に配布 95冊 ・学習指導要領改訂に係る見直し内容の見直し	①副読本(社会) 新3年生と小学校教職員に配布(6年分印刷) 120冊配布 事務局分20冊 @1,500円*650冊*1.1=1,072,500円	①副読本(社会) 新3年生に配布 90冊	①副読本(社会) 新3年生に配布 学習指導要領に合わせ、一部見直しと活用方法見直し			
		事業費	1,134	0	1,073	0	2,207	1,144		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	1,134	0	1,073	0	2,207	1,144	0			
40	各家庭の経済的負担(教育費)の軽減を図ります。	計画内容	①行事等交付金 (小)658千円 (中)375千円 ②特別活動交付金 (小)1,334千円 (中)1,135千円 ③対外競技派遣費交付金～中学校の課外活動 (主に部活動)に対し、補助を行う。1,500千円 ④要保護・準要保護児童生徒就学援助10,100千円 ⑤幼稚園就園奨励費補助金 11,714千円	①行事等交付金 (小)656千円 (中)360千円 ②特別活動交付金 (小)1,329千円 (中)1,061千円 ③対外競技派遣費交付金～中学校の課外活動 (主に部活動)に対し、補助を行う。1,500千円 ④要保護・準要保護児童生徒就学援助10,100千円 ⑤幼稚園就園奨励費補助金 11,714千円	①行事等交付金 (小)652千円 (中)361千円 ②特別活動交付金 (小)1,319千円 (中)1,069千円 ③対外競技派遣費交付金～中学校の課外活動 (主に部活動)に対し、補助を行う。1,500千円 ④要保護・準要保護児童生徒就学援助10,100千円 ⑤幼稚園就園奨励費補助金 11,714千円	①行事等交付金 (小)642千円 (中)346千円 ②特別活動交付金 (小)1,310千円 (中)998千円 ③対外競技派遣費交付金～中学校の課外活動 (主に部活動)に対し、補助を行う。1,500千円 ④要保護・準要保護児童生徒就学援助10,100千円 ⑤幼稚園就園奨励費補助金 11,714千円		①行事等交付金 ②特別活動交付金 ③対外競技派遣費交付金～中学校の課外活動 (主に部活動)に対し、補助を行う。 ④要保護・準要保護児童生徒就学援助 ⑤幼稚園就園奨励費補助金		
		事業費	26,816	26,720	26,715	26,610	106,861	105,904		
		財源内訳	国支出金	2,230	2,230	2,230	2,230	8,920	8,920	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	24,586	24,490	24,485	24,380	97,941	96,984	0			
41	【充実】 栗山中学校校舎の計画的な改修を行います。	計画内容			①屋上防水改修 2,039㎡ 23,000千円				■外壁改修(吹付タイル塗装)	
		事業費	0	0	23,000	0	23,000	0		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	0	0	23,000	0	23,000	0	0			

【Ⅱ. 教育】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画		
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業	
42	【新規】 栗山中学校体育館の大規模な改修を行います。	計画内容		①武道場(旧青少年会館)の改修 5,000千円	①体育館改修工事 調査・実施設計 13,000千円	①体育館改修工事 校舎 地域開放用玄関 7,371千円 体育館 非構造部の耐震化 11,642千円 体育館 照明器具LED化 11,462千円 体育館 窓の交換 48,037千円 外壁改修(外断熱) 77,619千円 屋根改修(屋根断熱) 41,840千円 計 197,971千円				■武道場の新築 ■現武道場(旧青少年会館)解体
		事業費	0	5,000	13,000	197,971	215,971	0	0	
		財源 内訳	国支出金		0		5,066	5,066	0	0
			道支出金					0	0	0
			町債		0	13,000	192,900	205,900	0	0
			その他					0	0	0
一般財源	0	5,000	0	5	5,005	0	0			
43	【展望】 栗山小学校校舎・体育館の大規模な改修について検討します。	計画内容								■栗山小学校校舎及び体育館の大規模改修
		事業費	0	0	0	0	0	0	0	
		財源 内訳	国支出金					0	0	0
			道支出金					0	0	0
			町債					0	0	0
			その他					0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	0	0			
44	【充実】 角田小学校校舎・体育館の計画的な改修を行います。	計画内容	①吊り天井の補強工事 バスケットゴールと照明器具等の落下防止と 照明の長寿命化	①校舎ボイラー点検修理・部品交換 部品交換	①体育館ボイラー修理・部品交換 部品交換 5,493千円 ②体育館の屋根塗装 屋根塗装 849㎡ 1,761千円(錆止めあり)	①校舎屋上防水改修 アスファルト防水 1,342㎡ 15,600千円				■外壁改修
		事業費	37,000	5,516	7,254	15,600	65,370	0	0	
		財源 内訳	国支出金	10,000				10,000	0	0
			道支出金					0	0	0
			町債	27,000				27,000	0	0
			その他					0	0	0
一般財源	0	5,516	7,254	15,600	28,370	0	0			
45	継立小学校校舎・体育館の計画的な改修を行います。	計画内容				①屋内体育館屋根塗装 920㎡ * 2,080円 = 1,914千円				■外壁改修(塗装含む) ■屋上防水工事
		事業費	0	0	0	1,914	1,914	0	0	
		財源 内訳	国支出金					0	0	0
			道支出金					0	0	0
			町債					0	0	0
			その他					0	0	0
一般財源	0	0	0	1,914	1,914	0	0			

【Ⅱ. 教育】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画		
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業	
46	【新規】 教職員住宅(校長・教頭)を改修します。	計画内容	①栗山小学校校長・教頭住宅新築 住宅新築 36,000千円 設計費 2,000千円 家賃補助等 775千円 既存住宅解体 2,600千円  ②栗山中学校教頭住宅 7,625千円 断熱性能の向上(壁、床、開口部(主にベランダの見直し) 給水・給湯設備に更新、現代化 浴室のユニットバス化 家族形態、生活様式に合わせた改修(和室洋室化2階部分の撤去) ※床面積×坪単価250千円 (㎡単価75,624円)	①継立小学校校長・教頭住宅改修 断熱性能の向上(壁、床、開口部(主にベランダの見直し) 給水・給湯設備に更新、現代化 浴室のユニットバス化 家族形態、生活様式に合わせた改修(和室洋室化2階部分の撤去) ※床面積×坪単価250千円	①角田小学校校長・教頭住宅改修 断熱性能の向上(壁、床、開口部(主にベランダの見直し) 給水・給湯設備に更新、現代化 浴室のユニットバス化 家族形態、生活様式に合わせた改修(和室洋室化2階部分の撤去) ※床面積×坪単価250千円					
		事業費	49,000	11,289	11,289	0	71,578	0		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債	40,600				40,600	0	
			その他					0	0	
一般財源	8,400	11,289	11,289	0	30,978	0	0			
47	栄養教諭による食育事業を実施します。	計画内容	①講演及び料理教室1回(角田小学校) 贈材料費上限15,000円	①講演及び料理教室3回(栗山小学校) 贈材料費上限 45,000円	①講演及び料理教室2回(栗山中学校) 贈材料費 上限30,000円	①講演及び料理教室(継立小学校) 贈材料費 上限15,000円		①講演及び料理教室 (角小、栗小、栗中、継小) 贈材料費		
		事業費	15	45	30	15	105	105		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	15	45	30	15	105	105	0			
48	地元産・道内産の食材活用を推進します。	計画内容	①地元産食材の活用した学校給食の提供	①地元産食材の活用した学校給食の提供	①地元産食材の活用した学校給食の提供	①地元産食材の活用した学校給食の提供		①地元産食材の活用した学校給食の提供		
		事業費	0	0	0	0	0	0		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	0	0	0	0	0	0	0			
49	安全な給食提供のため、備品・食器などの計画的な更新を行います。	計画内容	①野菜脱水機更新 (1,160千円)					①ミキサー更新 ②スチームコンベクションオープン更新 ③検査用フリーザー ④マイコンスライヤー ⑤サイノ目切機 ⑥フライヤー ⑦球根皮剥機 ⑧フードカッター ⑨りんご調理機 ⑩超高压洗浄機		
		事業費	1,160	0	0	0	1,160	40,472		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	1,160	0	0	0	1,160	40,472	0			

【Ⅱ. 教育】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画		
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業	
50	【展望】 学校給食センターの整備(建替え) について検討します。	計画内容							■給食センター建替え	
		事業費	0	0	0	0	0	0	0	
		財源 内訳	国支出金					0	0	0
			道支出金					0	0	0
			町債					0	0	0
			その他					0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	0	0			
51	優秀な介護福祉士を毎年80名輩出し、これからの高齢化社会を支える人材を創出します。	計画内容	①学生数 1年生 79人 2年生 54人 計 133人 ②運用20施設、奨学生数30名 ③国家試験対策講座開始(プレ運用)～合格率94% ④本校4名、フィンランド4名受入交流 ⑤介護体験受入小中高生20名、出前授業5回 ※一般会計繰出金 44,003千円	①学生数 1年生 85人 2年生 73人 計 158人 ②運用25施設、奨学生数35名 ③国家試験対策講座(国家試験第1回)～合格率98% ④本校4名、フィンランド4名受入交流 ⑤介護体験受入小中高生20名、出前授業5回 ※一般会計繰出金 19,834千円	①学生数 1年生 85人 2年生 83人 計 168人 ②運用30施設、奨学生数40名 ③国家試験対策講座(第2回)～合格率98% 高い合格率により他校と差別化＝ブランド化 ☆次年度学生募集要項から授業料改定 ④本校4名、フィンランド4名受入交流 ⑤介護体験受入小中高生25名、出前授業7回 ※一般会計繰出金 19,834千円	①学生数 1年生 85人 2年生 83人 計 168人 ②運用35施設、奨学生数50名 ③国家試験対策講座(第3回)～合格率100% 授業料改定後、黒字化 ④本校4名、フィンランド4名受入交流 ⑤介護体験受入小中高生25名、出前授業7回 ※一般会計繰出金 -千円		①学生数 ②運用40施設、奨学生数60名 ③国家試験対策講座(第7回)～合格率100% ④本校4名、フィンランド4名受入交流 ⑤介護体験受入小中高生30名、出前授業10回		
		事業費	141,697	133,393	133,393	133,393	541,876	533,572		
		財源 内訳	国支出金					0	0	
			道支出金	12,565	7,030	7,030	4,200	30,825	16,800	
			町債					0	0	
			その他	85,129	106,529	106,529	129,193	427,380	516,772	
一般財源	44,003	19,834	19,834	0	83,671	0	0			
52	介護福祉学校・学生寮の計画的な改修を行います。	計画内容	①実習室ボイラー更新(1,111千円) ②205教室音響設備更新(2,544千円) ③特別教室網戸(243千円) ④屋上看板(660千円) ⑤講堂音響設備更新(2,307千円)	①実習室冷暖房設備(4,000千円) ②実習室ボイラー更新(606千円) ③特別教室網戸(243千円) ④学生寮暖房調整バルブ更新(162千円) ⑤学生寮水道カラン更新(344千円)	①実習室ボイラー更新(1,112千円) ②非常放送設備更新(978千円) ③火災受信機交換(756千円) ④水道カラン交換(78千円) ⑤学生寮カラン交換344千円) ⑥校舎外壁塗装(24,000千円)	①自動ドア部品交換(336千円) ②講堂ボイラー更新(2,730千円)		■講堂外壁改修 ■学生寮外壁改修 ■屋上防水改修 ■学校ボイラー更新		
		事業費	6,865	5,355	27,268	3,066	42,554			
		財源 内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	6,865	5,355	27,268	3,066	42,554	0	0			
53	家庭教育の機能を高める啓発・支援を行います。	計画内容	①講演会・学習会・交流事業等の開催 講師謝礼 100千円 ②相談業務ボランティア等の育成 ③家庭教育サポート企業の活用	①講演会・学習会・交流事業等の開催 講師謝礼 100千円 ②相談業務ボランティア等の育成 ③家庭教育サポート企業の活用	①講演会・学習会・交流事業等の開催 講師謝礼 100千円 ②相談業務ボランティア等の育成 ③家庭教育サポート企業の活用	①講演会・学習会・交流事業等の開催 講師謝礼 100千円 ②相談業務ボランティア等の育成 ③家庭教育サポート企業の活用		①講演会・学習会・交流事業等の開催 講師謝礼 ②相談業務ボランティア等の育成 ③家庭教育サポート企業の活用		
		事業費	100	100	100	100	400	400		
		財源 内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	100	100	100	100	400	400	0			

【Ⅱ. 教育】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画				後期展望計画				
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業		
54	自然・社会体験など、青少年の体験活動の機会を提供します。	計画内容	①キッズクラブ 農業体験 食育体験 自然体験	①キッズクラブ 農業体験 食育体験 自然体験	①キッズクラブ 農業体験 食育体験 自然体験	①キッズクラブ 農業体験 食育体験 自然体験	/	①キッズクラブ 農業体験 食育体験 自然体験			
			②夏・冬のアドベンチャー 宿泊体験 夕張川体験 冬の屋外体験	②夏・冬のアドベンチャー 宿泊体験 夕張川体験 冬の屋外体験	②夏・冬のアドベンチャー 宿泊体験 夕張川体験 冬の屋外体験	②夏・冬のアドベンチャー 宿泊体験 夕張川体験 冬の屋外体験		②夏・冬のアドベンチャー 宿泊体験 夕張川体験 冬の屋外体験			
		講師謝礼5,000円×8名分 消耗品費(体験に必要)15,000円	講師謝礼5,000円×8名分 消耗品費(体験に必要)15,000円	講師謝礼5,000円×8名分 消耗品費(体験に必要)15,000円	講師謝礼5,000円×8名分 消耗品費(体験に必要)15,000円	講師謝礼5,000円×8名分 消耗品費(体験に必要)15,000円		講師謝礼 消耗品費			
		事業費	55	55	55	55		220		220	
		財源内訳	国支出金							0	0
			道支出金							0	0
町債						0	0				
その他						0	0				
一般財源	55	55	55	55	220	220	0				
55	青少年育成会活動を支援します。	計画内容	①青少年育成会への支援 864千円 青少年育成会事業 リーダー研修会、かるた大会 各地区・単位育成会への支援	①青少年育成会への支援 864千円 青少年育成会事業 リーダー研修会、かるた大会 各地区・単位育成会への支援	①青少年育成会への支援 864千円 青少年育成会事業 リーダー研修会、かるた大会 各地区・単位育成会への支援	①青少年育成会への支援 864千円 青少年育成会事業 リーダー研修会、かるた大会 各地区・単位育成会への支援	/	①青少年育成会への支援 青少年育成会事業 リーダー研修会、かるた大会 各地区・単位育成会への支援			
			②地区・単位育成会の有り方の検討	②地区・単位育成会の有り方の検討	②地区・単位育成会の有り方の検討	②地区・単位育成会の有り方の検討		②地区・単位育成会の有り方の検討			
		事業費	864	864	864	864		3,456		3,456	
		財源内訳	国支出金							0	0
			道支出金							0	0
			町債							0	0
その他						0	0				
一般財源	864	864	864	864	3,456	3,456	0				
56	町民の多様な学びの機会づくりを行います。	計画内容	①学習機会の提供 ・町民講座 講師謝礼 町内講師 5,000円×3回 町外講師 20,000円×6回 消耗品費 用紙・ファイル代等 10,000円 ・くみやま地域大学 講師謝礼 20,000円×10回 消耗品費 10,000円	①学習機会の提供 ・町民講座 講師謝礼 町内講師 5,000円×3回 町外講師 20,000円×6回 消耗品費 用紙・ファイル代等 10,000円 ・くみやま地域大学 講師謝礼 20,000円×10回 消耗品費 10,000円	①学習機会の提供 ・町民講座 講師謝礼 町内講師 5,000円×3回 町外講師 20,000円×6回 消耗品費 用紙・ファイル代等 10,000円 ・くみやま地域大学 講師謝礼 20,000円×10回 消耗品費 10,000円	①学習機会の提供 ・町民講座 講師謝礼 町内講師 5,000円×3回 町外講師 20,000円×6回 消耗品費 用紙・ファイル代等 10,000円 ・くみやま地域大学 講師謝礼 20,000円×10回 消耗品費 10,000円	/	①学習機会の提供 ・町民講座 講師謝礼 町内講師 町外講師 消耗品費 用紙・ファイル代等 ・くみやま地域大学 講師謝礼 消耗品費			
			②学習機会等の情報発信 ノートPCリース料 80,000円 編集ソフトライセンス料 51,000円	②学習機会等の情報発信 ノートPCリース料 80,000円 編集ソフトライセンス料 51,000円	②学習機会等の情報発信 ノートPCリース料 80,000円 編集ソフトライセンス料 51,000円	②学習機会等の情報発信 ノートPCリース料 80,000円 編集ソフトライセンス料 51,000円		②学習機会等の情報発信 ノートPCリース料 編集ソフトライセンス料			
		事業費	486	486	486	486		1,944		1,944	
		財源内訳	国支出金							0	0
			道支出金							0	0
			町債							0	0
その他						0	0				
一般財源	486	486	486	486	1,944	1,944	0				
57	【充実】 高齢者が喜びと生きがいを感じる学びの機会を提供します。	計画内容	①いきいきすくーる ・開講式/視聴覚教育 講師謝礼20,000円 ・日帰バス研修 町大型バス利用 昼食・参加費徴収 ・学校祭/講習会 講師謝礼20,000円 ・宿泊バス研修 町大型バス利用 参加費徴収 ・閉講式/講演会 講師謝礼20,000円 ・通年クラブ活動 講師謝礼108,000円 ・文集発行 印刷費 100,000円 ・引率運転手旅費 2名×12,000円=24,000円	①いきいきすくーる ・開講式/視聴覚教育 講師謝礼20,000円 ・日帰バス研修 町大型バス利用 昼食・参加費徴収 ・学校祭/講習会 講師謝礼20,000円 ・宿泊バス研修 町大型バス利用 参加費徴収 ・閉講式/講演会 講師謝礼20,000円 ・通年クラブ活動 講師謝礼108,000円 ・文集発行 印刷費 100,000円 ・引率運転手旅費 2名×12,000円=24,000円	①いきいきすくーる ・開講式/視聴覚教育 講師謝礼20,000円 ・日帰バス研修 町大型バス利用 昼食・参加費徴収 ・学校祭/講習会 講師謝礼20,000円 ・宿泊バス研修 町大型バス利用 参加費徴収 ・閉講式/講演会 講師謝礼20,000円 ・通年クラブ活動 講師謝礼108,000円 ・文集発行 印刷費 100,000円 ・引率運転手旅費 2名×12,000円=24,000円	①いきいきすくーる ・開講式/視聴覚教育 講師謝礼20,000円 ・日帰バス研修 町大型バス利用 昼食・参加費徴収 ・学校祭/講習会 講師謝礼20,000円 ・宿泊バス研修 町大型バス利用 参加費徴収 ・閉講式/講演会 講師謝礼20,000円 ・通年クラブ活動 講師謝礼108,000円 ・文集発行 印刷費 100,000円 ・引率運転手旅費 2名×12,000円=24,000円	/	①いきいきすくーる ・開講式/視聴覚教育 講師謝礼 ・日帰バス研修 町大型バス利用 昼食・参加費徴収 ・学校祭/講習会 講師謝礼 ・宿泊バス研修 町大型バス利用 参加費徴収 ・閉講式/講演会 講師謝礼 ・通年クラブ活動 講師謝礼 ・文集発行 印刷費 ・引率運転手旅費			
			②いきいき塾(定員30名/3回分受講料徴収) ・協定大学公開講座 バス借上料40,000円 ・地域授業参観 町大型バス利用 ・雨煙別体験プログラム料1,080円×30名=32,400円	②いきいき塾(定員30名/3回分受講料徴収) ・協定大学公開講座 バス借上料40,000円 ・地域授業参観 町大型バス利用 ・雨煙別体験プログラム料1,080円×30名=32,400円	②いきいき塾(定員30名/3回分受講料徴収) ・協定大学公開講座 バス借上料40,000円 ・地域授業参観 町大型バス利用 ・雨煙別体験プログラム料1,080円×30名=32,400円	②いきいき塾(定員30名/3回分受講料徴収) ・協定大学公開講座 バス借上料40,000円 ・地域授業参観 町大型バス利用 ・雨煙別体験プログラム料1,080円×30名=32,400円		②いきいき塾(定員30名/3回分受講料徴収) ・協定大学公開講座 バス借上料 ・地域授業参観 町大型バス利用 ・雨煙別体験プログラム料			
		③定年世代向け町民講座 ・ライフプラン講座 講師謝礼20,000円 ・地域社会に関する講座 講師謝礼20,000円	③定年世代向け町民講座 ・ライフプラン講座 講師謝礼20,000円 ・地域社会に関する講座 講師謝礼20,000円	③定年世代向け町民講座 ・ライフプラン講座 講師謝礼20,000円 ・地域社会に関する講座 講師謝礼20,000円	③定年世代向け町民講座 ・ライフプラン講座 講師謝礼20,000円 ・地域社会に関する講座 講師謝礼20,000円	③定年世代向け町民講座 ・ライフプラン講座 講師謝礼 ・地域社会に関する講座 講師謝礼					
		事業費	405	405	405	405		1,620		1,620	
		財源内訳	国支出金							0	0
			道支出金							0	0
町債						0	0				
その他						0	0				
一般財源	405	405	405	405	1,620	1,620	0				

【Ⅱ. 教育】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画				
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業			
58	市民の読書活動を支援します。	計画内容	①指定管理業務 39,348千円 ・ミニリプロジェクト学校図書室ステップUP事業 ・子育てブックスタートだっこ&ぶっく ・栗山ふるさと文庫 ・図書館備品購入	①指定管理業務 39,348千円 ・ミニリプロジェクト学校図書室ステップUP事業 ・子育てブックスタートだっこ&ぶっく ・栗山ふるさと文庫 ・図書館備品購入	①指定管理業務 39,348千円 ・ミニリプロジェクト学校図書室ステップUP事業 ・子育てブックスタートだっこ&ぶっく ・栗山ふるさと文庫 ・図書館備品購入	①指定管理業務 39,348千円 ・ミニリプロジェクト学校図書室ステップUP事業 ・子育てブックスタートだっこ&ぶっく ・栗山ふるさと文庫 ・図書館備品購入	/	①指定管理業務 ・ミニリプロジェクト学校図書室ステップUP事業 ・子育てブックスタートだっこ&ぶっく ・栗山ふるさと文庫 ・図書館備品購入				
			②図書館システム更新事業 3,370千円	②図書館システム更新事業 3,370千円	②図書館システム更新事業 3,370千円	②図書館システム更新事業 3,370千円		②図書館システム更新事業 3,370千円		②図書館システム更新事業		
		事業費	42,718	42,718	42,718	42,718		170,872		170,872		
		財源内訳	国支出金							0	0	
			道支出金							0	0	
			町債							0	0	
その他						0	0					
一般財源	42,718	42,718	42,718	42,718	170,872	170,872	0					
59	老朽化した社会教育施設の改修などを計画的に行います。	計画内容	①農村環境改善センター 会議室用テーブル更新(1,495千円) ②カルチャープラザ自動ドア修繕(630千円)	①ファールルの森観察飼育舎 外壁板貼塗装(800千円) 屋根鉄板塗装(300千円) ②ファールルの森公衆便所・東屋 外壁板貼塗装(700千円) 屋根鉄板塗装(200千円)	①南部公民館ボイラー改修(7,000千円)	①農村環境改善センター管理棟屋上防水改修 (4,700千円)	/	①ふれあいプラザ陸屋根部分改修	■図書館屋上防水改修 ■開拓記念館屋上防水改修 ■ファールルの森観察飼育舎ネット更新			
			事業費	2,125	2,000	7,000		4,700		15,825	1,100	
		財源内訳	国支出金							0	0	
			道支出金							0	0	
			町債							0	0	
			その他							0	0	
一般財源	2,125	2,000	7,000	4,700	15,825	1,100	0					
60	地域総ぐるみで「ふるさと教育」を推進します。	計画内容	①地域教育協議会の実施 ②学校支援活動の実施 ③普及啓発・広報活動の実施 委員謝礼 250,000円 委員旅費 25,000円 消耗品 75,000円 保険料 5,000円	①地域教育協議会の実施 ②学校支援活動の実施 ③普及啓発・広報活動の実施 委員謝礼 250,000円 委員旅費 25,000円 消耗品 75,000円 保険料 5,000円	①地域教育協議会の実施 ②学校支援活動の実施 ③普及啓発・広報活動の実施 委員謝礼 250,000円 委員旅費 25,000円 消耗品 75,000円 保険料 5,000円	①地域教育協議会の実施 ②学校支援活動の実施 ③普及啓発・広報活動の実施 委員謝礼 250,000円 委員旅費 25,000円 消耗品 75,000円 保険料 5,000円	/	①地域教育協議会の実施 ②学校支援活動の実施 ③普及啓発・広報活動の実施 委員謝礼、委員旅費 消耗品、保険料				
			事業費	355	355	355		355		1,420	1,420	
		財源内訳	国支出金							0	0	
			道支出金							0	0	
			町債							0	0	
			その他							0	0	
一般財源	355	355	355	355	1,420	1,420	0					
61	【充実】 国蝶オオムラサキの生息環境を保全・再生し、生態を公開します。	計画内容	①オオムラサキの育成保護 臨時作業員賃金1,243千円 飼料費等134千円 ②オオムラサキの自然繁殖 調査委託費 3,000千円 先進地視察旅費 113千円 ③ファールルの森管理料 管理委託料 1,300千円 指定管理料 4,005千円 ④ふれあいプラザ施設管理 施設管理委託費 2,518千円 光熱水費 935千円 通信費 94千円 小破修繕費 100千円 設備保守 208千円 ⑤いきものの里フォーラム支援 外壁塗装・南側窓枠修繕 4,000千円 ⑥いきものの里フォーラム支援 バス借上げ料 96千円	①オオムラサキの育成保護 臨時作業員賃金 1,243千円 ②オオムラサキの自然繁殖 印刷製本費 250千円 ③ファールルの森管理料 管理委託料 1,300千円 ④ふれあいプラザ施設管理 施設管理委託費 2,518千円 光熱水費 935千円 通信費 94千円 小破修繕費 100千円 設備保守 208千円 ⑤いきものの里フォーラム支援 バス借上げ料 63千円	①オオムラサキの育成保護 臨時作業員賃金 1,243千円 ②オオムラサキの自然繁殖 環境整備委託 300千円 ③ファールルの森管理料 管理委託料 1,300千円 ④ふれあいプラザ施設管理 施設管理委託費 2,518千円 光熱水費 935千円 通信費 94千円 小破修繕費 100千円 設備保守 208千円 ⑤いきものの里フォーラム支援 講師謝礼等 63千円 ※栗山町開催地	①オオムラサキの育成保護 臨時作業員賃金 1,243千円 ②オオムラサキの自然繁殖 環境整備委託 300千円 ③ファールルの森管理料 管理委託料 1,300千円 ④ふれあいプラザ施設管理 施設管理委託費 2,518千円 光熱水費 935千円 通信費 94千円 小破修繕費 100千円 設備保守 208千円 ⑤いきものの里フォーラム支援 バス借上げ料 96千円	/	①オオムラサキの育成保護 臨時作業員賃金 ②オオムラサキの自然繁殖 環境整備委託 ③ファールルの森管理料 管理委託料 ④ふれあいプラザ施設管理 施設管理委託費 光熱水費、通信費 小破修繕費、設備保守 ⑤いきものの里フォーラム支援 バス借上げ料				
			事業費	16,446	6,711	6,761		6,794		36,712	27,077	
		財源内訳	国支出金							0	0	
			道支出金							0	0	
			町債							0	0	
			その他							0	0	
一般財源	16,446	6,711	6,761	6,794	36,712	27,077	0					

【Ⅱ. 教育】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画				後期展望計画			
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業	
62	【充実】 ハサンベツ地区の里山環境を保全・再生します。	計画内容	①里山環境の整備 臨時職員賃金 1,063千円、光熱水費 93千円 消耗品・原材料費等 49千円 河川整備 1,000千円 ②活動団体への支援 里山計画実行委員会補助金 218千円 ③新たな担い手発掘、育成支援 親子いきもの調査隊委託費 122千円 ④「ハサンベツ里山保全・再生の会」補助金 1,200千円 作業用機械安全講習会を実施 急傾斜地の管理業務 ⑤札幌圏モニターツアーの実施・検証 里山体験教室 バス代助成等 ※年間5回 親子20組 コープさっぽろとの連携 ⑥「夕張川自然再生協議会」補助金 1,600千円 夕張川と支流の環境調査、シンポジウム開催 河川清掃、サケ放流事業、講師謝礼	①里山環境の整備 臨時職員賃金 1,063千円、光熱水費 93千円 消耗品・原材料費等 49千円 河川整備 1,000千円 ②活動団体への支援 里山計画実行委員会補助金 218千円 ③新たな担い手発掘、育成支援 親子いきもの調査隊委託費 122千円 ④「ハサンベツ里山保全・再生の会」補助金 1,200千円 作業用機械安全講習会を実施 急傾斜地の管理業務 ⑤札幌圏モニターツアーの実施・検証 里山体験教室 バス代助成等 ※年間5回 親子20組 コープさっぽろとの連携 ⑥「夕張川自然再生協議会」補助金 1,600千円 夕張川と支流の環境調査、シンポジウム開催 河川清掃、サケ放流事業、講師謝礼	①里山環境の整備 臨時職員賃金 1,063千円、光熱水費 93千円 消耗品・原材料費等 49千円 河川整備 1,000千円 ②活動団体への支援 里山計画実行委員会補助金 218千円 ③新たな担い手発掘、育成支援 親子いきもの調査隊委託費 200千円 ④「ハサンベツ里山保全・再生の会」補助金500千円 急傾斜地の管理業務 (150千円) 重機借上げ等 (200千円) ⑤里山体験教室バス代助成等 (150千円) ※年間5回 親子20組 コープさっぽろとの連携 ⑥「夕張川自然再生協議会」補助金 500千円 シンポジウム開催 (100千円) 河川清掃 (100千円)、サケ放流事業 (200千円) 講師謝礼等 (100千円)	①里山環境の整備 臨時職員賃金 1,063千円、光熱水費 93千円 消耗品・原材料費等 49千円 河川整備 1,000千円 ②活動団体への支援 里山計画実行委員会補助金 218千円 ③新たな担い手発掘、育成支援 親子いきもの調査隊委託費 200千円 ④「ハサンベツ里山保全・再生の会」補助金500千円 急傾斜地の管理業務 (150千円) 重機借上げ等 (200千円) ⑤里山体験教室バス代助成等 (150千円) ※年間5回 親子20組 コープさっぽろとの連携 ⑥「夕張川自然再生協議会」補助金 500千円 シンポジウム開催 (100千円) 河川清掃 (100千円)、サケ放流事業 (200千円) 講師謝礼等 (100千円)				
		事業費	5,345	5,345	3,623	3,623	17,936	14,492		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他	2,580	2,580			5,160	0	
一般財源	2,765	2,765	3,623	3,623	12,776	14,492	0			
63	【新規】 自然・里山環境の保全・再生に係る町の方針を宣言し、人と自然との共生を推進します。	計画内容	①「(仮称)人と自然が共生するまちづくり宣言」 1. ビジョン化に向けた関係団体との協議 ・ビジョン化に向けたアドバイザー契約 月額50千円×12ヶ月=600千円 2. 宣言内容の検討 ・先進地視察旅費 200千円 3. 「My行動プラン」の検討 4. 自然環境教育人材の確保検討 ・専任職員(人材派遣、コンサルティング業務含め)の配置検討 5,000千円 ・地域おこし協力隊導入	①「(仮称)人と自然が共生するまちづくり宣言」 1. ビジョン化に向けた関係団体との協議 ・ビジョン化に向けたアドバイザー契約 月額50千円×12ヶ月=600千円 2. 宣言内容の検討 3. 条例化の検討 4. 「My行動プラン」の検討 5. 記念講演及びシンポジウム ・講師、パネラー等謝礼 200千円 6. 自然環境教育人材の確保 ・専任職員(人材派遣、コンサルティング業務含め)の配置検討 5,000千円 ・地域おこし協力隊導入 7. 情報の発信 ・コンセプトブックデザイン料 300千円 ・コンセプトブック作成 A5カラー12P 10,000部印刷 200千円	1. 自然環境教育人材の確保検討 ・専任職員(人材派遣、コンサルティング業務含め)の配置検討 5,000千円 ・地域おこし協力隊導入	1. 自然環境教育人材の確保検討 ・専任職員(人材派遣、コンサルティング業務含め)の配置検討 5,000千円 ・地域おこし協力隊導入				
		事業費	5,800	6,300	5,000	5,000	22,100	0		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	5,800	6,300	5,000	5,000	22,100	0	0			
64	【充実】 「ふるさと自然体験教育」の推進と、拠点施設「雨煙別小学校 コカ・コラ環境ハウス」の利活用を図ります。	計画内容	①プログラム指導スタッフ人件費負担 10,000千円 ②プログラム集(学校配布用)の作成 300千円 ③ふるさとカレンダー作成 200千円 ④PR用パンフレット(プログラム、環境ハウス)作成300千円 ⑤学校等での施設宿泊費等の負担 750千円 ⑥体験プログラム料負担 1,200千円 ⑦ボランティア養成講習会等費用負担 100千円 ⑧企画・営業担当人件費一部補助 1,400千円 ⑨校庭の管理費用 250千円 ⑩校舎外壁塗装修繕 6,000千円 ※足場設置、1階部分ボランティア2階部分業者発注	①プログラム指導スタッフ人件費負担 10,000千円 ②プログラム集(学校配布用)の作成 300千円 ③ふるさとカレンダー作成 200千円 ④PR用パンフレット(プログラム、環境ハウス)作成300千円 ⑤学校等での施設宿泊費等の負担 750千円 ⑥体験プログラム料負担 1,200千円 ⑦ボランティア養成講習会等費用負担 100千円 ⑧企画・営業担当人件費一部補助 1,400千円 ⑨校庭の管理費用 250千円	①プログラム指導スタッフ人件費負担 10,000千円 ②プログラム集(学校配布用)の作成300千円 ③ふるさとカレンダー作成 200千円 ④PR用パンフレット(プログラム、環境ハウス)作成300千円 ⑤学校等での施設宿泊費等の負担 750千円 ⑥体験プログラム料負担 1,200千円 ⑦ボランティア養成講習会等費用負担 100千円 ⑧企画・営業担当人件費一部補助 1,400千円 ⑨校庭の管理費用 250千円	①プログラム指導スタッフ人件費負担 10,000千円 ②プログラム集(学校配布用)の作成300千円 ③ふるさとカレンダー作成 200千円 ④PR用パンフレット(プログラム、環境ハウス)作成300千円 ⑤学校等での施設宿泊費等の負担 750千円 ⑥体験プログラム料負担 1,200千円 ⑦ボランティア養成講習会等費用負担 100千円 ⑧企画・営業担当人件費一部補助 1,400千円 ⑨校庭の管理費用 250千円				
		事業費	20,500	14,500	14,500	14,500	64,000	66,200	■雨煙別小学校体育館の修繕方法等の検討	
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	20,500	14,500	14,500	14,500	64,000	66,200	0			
65	【新規】 教育効果向上のため、観察飼育舎とふれあいプラザの機能統合を図ります。	計画内容	①オオムラサギ観察飼育舎設置事業 1. 観察飼育舎設計委託費 1,200千円 2. 観察飼育舎建設工事費 12,000千円 ※自然環境整備交付金(45/100)活用予定 3. ふれあいプラザ裏庭整備費 1,500千円 4. 展示パネル作成 1,200千円	①ファーブルの森観察飼育舎撤去及び展示室整備 1. 飼育舎鉄骨、基礎コンクリート撤去工事 3,000千円 2. 休憩所整備 ・既存パネル撤去 200千円 ・パネル作成 300千円						
		事業費	15,900	3,500	0	0	19,400	600		
		財源内訳	国支出金	5,400				5,400	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	10,500	3,500	0	0	14,000	600	0			

【Ⅱ. 教育】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画		
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業	
66	【充実】 年齢や興味関心・技術技能の段階 に応じた生涯スポーツを推進しま す。	計画内容	①教育委員会主催体育事業の実施 ②指定管理者による委託体育事業の実施 ③スポーツ推進委員による体育事業の計画立案・ 見直し及び普及指導(971千円) ④体育協会・スポーツ少年団本部への補助金の 支出(1,524千円) ⑤その他関係団体との連携 総合型地域スポーツクラブへの事業委託 (1,000千円)	①教育委員会主催体育事業の実施 ②指定管理者による委託体育事業の実施 ③スポーツ推進委員による体育事業の計画立案・ 見直し及び普及指導(971千円) ④体育協会・スポーツ少年団本部への補助金の 支出(1,524千円) ⑤その他関係団体との連携 総合型地域スポーツクラブへの事業委託 (1,000千円)	①教育委員会主催体育事業の実施 ②指定管理者による委託体育事業の実施 ③スポーツ推進委員による体育事業の計画立案・ 見直し及び普及指導(971千円) ④体育協会・スポーツ少年団本部への補助金の 支出(1,524千円) ⑤その他関係団体との連携 総合型地域スポーツクラブへの事業委託 (1,000千円)	①教育委員会主催体育事業の実施 ②指定管理者による委託体育事業の実施 ③スポーツ推進委員による体育事業の計画立案・ 見直し及び普及指導(971千円) ④体育協会・スポーツ少年団本部への補助金の 支出(1,524千円) ⑤その他関係団体との連携 総合型地域スポーツクラブへの事業委託 (1,000千円)		①教育委員会主催体育事業の実施 ②指定管理者による委託体育事業の実施 ③スポーツ推進委員による体育事業の計画立案・ 見直し及び普及指導 ④体育協会・スポーツ少年団本部への補助金の支 出 ⑤その他関係団体との連携 総合型地域スポーツクラブへの事業委託		
		事業費	3,495	3,495	3,495	3,495	13,980	13,980		
		財源 内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	3,495		3,495	3,495	3,495	13,980	13,980	0		
67	スポーツ合宿などの受入体制を整備 します。	計画内容	①合宿実施団体へのギフトカードの進呈 60千円	①合宿実施団体へのギフトカードの進呈 60千円	①合宿実施団体へのギフトカードの進呈 60千円	①合宿実施団体へのギフトカードの進呈 60千円		①合宿実施団体へのギフトカードの進呈		
		事業費	60	60	60	60	240	240		
		財源 内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	60		60	60	60	240	240	0		
68	老朽化した社会体育施設の改修な どを計画的に行います。	計画内容	①スポーツセンター暖房配管修繕 200千円 ②スポーツセンタートイレ換気扇取替修繕 158千円 ③公園球場外野防球フェンス修繕 4,725千円 ④町民球場器具庫雨漏り修繕 4,000千円 ⑤栗夢広場立木剪定 400千円 ⑥栗山パークゴルフ場スタートマット交換修繕 273千円 ⑦ふじスポーツ広場管理棟雨漏り修繕・ 放送設備修繕・階段修繕 1,058千円 ⑧公園球場スコアボード改修修繕 2,000千円 ⑨角田・継立水泳プール水槽修繕 1,241千円 ⑩総合グラウンド公認整備修繕 4,500千円 ⑪総合グラウンドスタンド撤去及び放送設備修繕 2,200千円	①スポーツセンターレーニングルーム機器修繕 500千円 ②スポーツセンター暖房配管修繕 200千円 ③栗山パークゴルフ場スタートマット交換修繕 378千円 ④ふじ交流センター外壁修繕 1,100千円 ⑤ふじスポーツ広場得点盤撤去修繕・駐車場 補修修繕・フェンス修繕・ゴールネット修繕 2,106千円 ⑥町民球場内外野フェンス計画修繕 200千円 ⑦スポーツセンターアリーナ暗幕用電動レール 修繕 354千円 ⑧弓道場暖房修繕 188千円 ⑨角田水泳プール可動パイプ取替修繕583千円 ⑩継立水泳プール可動パイプ取替修繕583千円	①継立水泳プール上屋シート修繕 5,103千円 ②継立水泳プール鉄骨錆落とし及び塗装 2,285千円 ③スポーツセンター暖房配管修繕 200千円 ④町民球場内外野フェンス計画修繕 200千円	①栗山テニスコート小屋修繕 ②栗山公園テニスコート転圧機 ③スポーツセンター暖房配管修繕 200千円 ④町民球場内外野フェンス計画修繕 200千円 ⑤栗山水泳プール上屋シート修繕 3,248千円 ⑥町民球場スコアボード塗装修繕 6,762千円		■栗山ダムパークゴルフ場 芝生修繕、管理棟屋根修繕 ■御園パークゴルフ場 芝生修繕、管理棟屋根修繕 ■公園球場 外野芝生張替修繕、ポール撤去修繕、観覧席取替修 繕、観覧席金網修繕、バックネット改修修繕 ■町民球場 外野芝生張替修繕、外壁改修修繕、隣地防球フェンス修 繕、内外野フェンス計画修繕 ■スポーツセンター 室内照明修繕、音響設備修繕、アリーナカーテン修繕、ア リーナフロア修繕、外壁修繕、暖房配管修繕、レーニン グ機器、バスケットゴール修繕 ■栗夢広場 土補充、フェンス設置 ■ふじ交流センター屋根修繕 ■ふじスポーツ広場洋式トイレ設置 ■弓道場屋根塗装修繕 ■継立水泳プール外壁修繕、栗山水泳プール水槽修 繕、角田・継立水泳プール水槽修繕、角田水泳プール外 壁修繕		
		事業費	20,755	6,192	7,788	10,410	45,145	0		
		財源 内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	20,755		6,192	7,788	10,410	45,145	0	0		
69	【展望】 ふじスポーツ広場の大規模な改修を 検討します。	計画内容	①ふじスポーツ広場芝一部張替 2,000㎡×1面×1,300円×1.4×1.08 =3,932千円	①ふじスポーツ広場芝一部張替 2,000㎡×1面×1,300円×1.4×1.08 =3,932千円					■ふじスポーツ広場改修	
		事業費	3,932	3,932	0	0	7,864	0		
		財源 内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	3,932		3,932	0	0	7,864	0	0		

【Ⅱ. 教育】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画			
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業		
70	【展望】 栗山町スキー場の大規模な改修を検討します。	計画内容	①リフト及び圧雪車の点検・整備 2,000千円	①リフト及び圧雪車の点検・整備 2,000千円	①リフト及び圧雪車の点検・整備 2,000千円	①リフト及び圧雪車の点検・整備 2,000千円	/	①リフト及び圧雪車の点検・整備	■スキー場 リフト更新・圧雪車更新・ロッジ建替え等		
		事業費	2,000	2,000	2,000	2,000		8,000	8,000		
		財源内訳	国支出金						0	0	
			道支出金						0	0	
			町債						0	0	
			その他						0	0	
一般財源	2,000	2,000	2,000	2,000	8,000	8,000	0				
71	町民が芸術文化に親しむことのできる環境づくりを推進します。	計画内容	①演劇鑑賞事業 501千円 ②美術展等鑑賞事業 683千円 ③音楽鑑賞事業 ・札幌ひなまつりコンサート実行委員会補助金の交付 800千円 ・室内楽コンサート実行委員会補助金の交付 130千円 ④芸術文化鑑賞事業 ・カルチャープラザ運営実行委員会への支援(カルチャープラザ指定管理委託料※その他委託事業含む) 2,000千円	/	①演劇鑑賞事業 ②美術展等鑑賞事業 ③音楽鑑賞事業 ・札幌ひなまつりコンサート実行委員会補助金の交付 ・室内楽コンサート実行委員会補助金の交付 ④芸術文化鑑賞事業 ・カルチャープラザ運営実行委員会への支援(カルチャープラザ指定管理委託料※その他委託事業含む)						
		事業費	4,114	4,114	4,114	4,114		16,456	16,456		
		財源内訳	国支出金						0	0	
			道支出金						0	0	
			町債						0	0	
			その他						0	0	
一般財源	4,114	4,114	4,114	4,114	16,456	16,456	0				
72	町民や文化団体による芸術・文化活動を支援します。	計画内容	①総合文化祭 ・芸術祭実行委員会補助金の交付 160千円 ・音楽祭実行委員会補助金の交付 47千円 ②栗山町文化連盟 ・栗山町文化連盟補助金の交付 103千円	/	①総合文化祭 ・芸術祭実行委員会補助金の交付 ・音楽祭実行委員会補助金の交付 ②栗山町文化連盟 ・栗山町文化連盟補助金の交付						
		事業費	310	310	310	310		1,240	1,240		
		財源内訳	国支出金						0	0	
			道支出金						0	0	
			町債						0	0	
			その他						0	0	
一般財源	310	310	310	310	1,240	1,240	0				
73	芸術創造のまちづくりを推進します。	計画内容	①芸術文化振興奨励事業 芸術文化振興奨励金 300千円 ②工房体験教室事業 講師謝礼及び消耗品、保険料等 107千円	①芸術文化振興奨励事業 芸術文化振興奨励金 300千円 ②工房体験教室事業 講師謝礼及び消耗品、保険料等 107千円	①芸術文化振興奨励事業 芸術文化振興奨励金 300千円 ②工房体験教室事業 講師謝礼及び消耗品、保険料等 107千円	①芸術文化振興奨励事業 芸術文化振興奨励金 300千円 ②工房体験教室事業 講師謝礼及び消耗品、保険料等 107千円	/	①芸術文化振興奨励事業 芸術文化振興奨励金 ②工房体験教室事業 講師謝礼及び消耗品、保険料等			
		事業費	407	407	407	407		1,628	1,628		
		財源内訳	国支出金						0	0	
			道支出金						0	0	
			町債						0	0	
			その他						0	0	
一般財源	407	407	407	407	1,628	1,628	0				

【Ⅱ. 教育】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画		
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業	
74	ふるさと栗山の文化財保護・活用を推進します。	計画内容	①文化財保護保存事業 文化財保護委員会(報酬、旅費等) 131千円 ②開拓記念館事業 ・資料収集整理(研究員賃金、消耗品等) 1,546千円 ・指定管理委託料 4,537千円	①文化財保護保存事業 文化財保護委員会(報酬、旅費等) 131千円 ②開拓記念館事業 ・資料収集整理(研究員賃金、消耗品等) 1,546千円 ・指定管理委託料 4,537千円	①文化財保護保存事業 文化財保護委員会(報酬、旅費等) 131千円 ②開拓記念館事業 ・資料収集整理(研究員賃金、消耗品等) 1,546千円 ・指定管理委託料 4,537千円	①文化財保護保存事業 文化財保護委員会(報酬、旅費等) 131千円 ②開拓記念館事業 ・資料収集整理(研究員賃金、消耗品等) 1,546千円 ・指定管理委託料 4,537千円		①文化財保護保存事業 文化財保護委員会(報酬、旅費等) 131千円 ②開拓記念館事業 ・資料収集整理(研究員賃金、消耗品等) 1,546千円 ・指定管理委託料 4,537千円		
		事業費	6,214	6,214	6,214	6,214	24,856	24,856		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	6,214	6,214	6,214	6,214	24,856	24,856	0			
75	【新規】 歴史的建造物などの保存・継承に向けた支援制度を検討します。	計画内容	①歴史的建造物等の現状を調査 専門家による当該歴史的建造物等に係る基礎資料の整備(平面図等)と目視による状況確認(調査費:委託料等~総事業費3,000千円)	①検討会議(所有者、専門家及び町等)支援制度の検討(会議費:報酬、費用弁償等~200千円)	①検討会議(所有者、専門家及び町等)当該歴史的建造物の整備及び活用計画の策定(会議費:報酬、費用弁償等~200千円)※前年度の検討結果による					
		事業費	3,000	200	200	0	3,400	0		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	3,000	200	200	0	3,400	0	0			
76	少年ジェット派遣事業を行います。	計画内容	①ホームステイ、現地学生等との交流、体験プログラム等、事前・事後研修、報告集の作成等 講師謝礼 10千円 旅費 409千円 消耗品費 28千円 補助金 3,184千円		①ホームステイ、現地学生等との交流、体験プログラム等、事前・事後研修、報告集の作成等 講師謝礼 旅費 消耗品費 補助金					
		事業費	3,631	3,631	3,631	3,631	14,524	14,524		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	3,631	3,631	3,631	3,631	14,524	14,524	0			
77	姉妹都市(宮城県角田市)、被災地などとの青少年交流事業を行います。	計画内容	①子ども交歓のつどい(800千円) ②青年交歓のつどい(50千円) ③勤労青年国内研修(320千円) ④ふくしまキッズ(500千円)	①子ども交歓のつどい(650千円) ②青年交歓のつどい(50千円) ③勤労青年国内研修(320千円)	①子ども交歓のつどい(800千円) ②青年交歓のつどい(50千円) ③勤労青年国内研修(320千円)	①子ども交歓のつどい(650千円) ②青年交歓のつどい(50千円) ③勤労青年国内研修(320千円)		①子ども交歓のつどい ②青年交歓のつどい ③勤労青年国内研修		
		事業費	1,670	1,020	1,170	1,020	4,880	4,380		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	1,670	1,020	1,170	1,020	4,880	4,380	0			

【Ⅲ. 医療・保健・福祉】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画		
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業	
78	がんの早期発見・早期治療を進め、がん死亡率の減少を目指します。	計画内容	【がん予防対策事業】 ①啓発活動に関する費用 (60千円) ・啓発グッズの購入費:30千円 ・パンフレットの購入費:30千円 ②健康教育・講座の開催 (ー円) ・講師謝礼 ③がん検診の実施に関する費用 (9,219千円) ・臨時資金:20千円 ・郵便料(案内・結果通知):200千円 ・手数料(チラシ新聞折り込み):49千円 ・各種がん検診(29歳34歳がん検診分を含む):8,600千円 ・無料クーポン検診に関する印刷製本費:350千円 ④肝炎ウイルス検査 委託料 (30千円)	【がん予防対策事業】 ①啓発活動に関する費用 (60千円) ・啓発グッズの購入費:30千円 ・パンフレットの購入費:30千円 ②健康教育・講座の開催 (50千円) ・講師謝礼:50千円 ③がん検診の実施に関する費用 (9,439千円) ・臨時資金:20千円 ・郵便料(案内・結果通知):220千円 ・手数料(チラシ新聞折り込み):49千円 ・各種がん検診(29歳34歳がん検診分を含む):8,800千円 ・無料クーポン検診に関する印刷製本費:350千円 ④肝炎ウイルス検査 委託料 (120千円)	【がん予防対策事業】 ①啓発活動に関する費用 (60千円) ・啓発グッズの購入費:30千円 ・パンフレットの購入費:30千円 ②健康教育・講座の開催 (ー円) ・講師謝礼 ③がん検診の実施に関する費用 (9,439千円) ・臨時資金:20千円 ・郵便料(案内・結果通知):220千円 ・手数料(チラシ新聞折り込み):49千円 ・各種がん検診(29歳34歳がん検診分を含む):8,800千円 ・無料クーポン検診に関する印刷製本費:350千円 ④肝炎ウイルス検査 委託料 (120千円)	【がん予防対策事業】 ①啓発活動に関する費用 (60千円) ・啓発グッズの購入費:30千円 ・パンフレットの購入費:30千円 ②健康教育・講座の開催 (ー円) ・講師謝礼 ③がん検診の実施に関する費用 (9,439千円) ・臨時資金:20千円 ・郵便料(案内・結果通知):220千円 ・手数料(チラシ新聞折り込み):49千円 ・各種がん検診(29歳34歳がん検診分を含む):8,800千円 ・無料クーポン検診に関する印刷製本費:350千円 ④肝炎ウイルス検査 委託料 (120千円)				
		事業費	9,309	9,669	9,619	9,619	38,216	38,576		
		財源内訳	国支出金	570	570	570	570	2,280	2,280	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他	1,050	1,250	1,250	1,250	4,800	5,000	
一般財源	7,689		7,849	7,799	7,799	31,136	31,296	0		
79	【充実】 脳血管疾患、循環器疾患、糖尿病などの予防を推進します。	計画内容	【生活習慣病予防対策事業】 ①啓発活動に関する費用 (830千円) ・啓発グッズの購入費:210千円 ・パンフレットの購入費:620千円 ②特定健診・保健指導に関する費用 (10,221千円) ・臨時資金:1,000千円 ・普通放費:20千円 ・郵便料(案内・結果通知):500千円 ・専用線料/手数料:140千円 ・健診委託料:6,800千円 ・健康予防管理システム経費:1,761千円(一般会計) ③脳検診の実施に関する費用 (2,640千円) ・臨時資金:40千円 ・郵便料(案内・結果通知):400千円 ・検診委託料:2,200千円 ※定員:集団検診 200人/個別検診 80人 一(個別検診料金15千円/自己負担10千円)	【生活習慣病予防対策事業】 ①啓発活動に関する費用 (830千円) ・啓発グッズの購入費:210千円 ・パンフレットの購入費:620千円 ②特定健診・保健指導に関する費用 (10,831千円) ・臨時資金:1,000千円 ・普通放費:20千円 ・郵便料(案内・結果通知):510千円 ・専用線料/手数料:140千円 ・健診委託料:7,400千円 ・健康予防管理システム経費:1,761千円(一般会計) ③脳検診の実施に関する費用 (2,640千円) ・臨時資金:40千円 ・郵便料(案内・結果通知):400千円 ・検診委託料:2,200千円	【生活習慣病予防対策事業】 ①啓発活動に関する費用 (830千円) ・啓発グッズの購入費:210千円 ・パンフレットの購入費:620千円 ②特定健診・保健指導に関する費用 (10,831千円) ・臨時資金:1,000千円 ・普通放費:20千円 ・郵便料(案内・結果通知):510千円 ・専用線料/手数料:140千円 ・健診委託料:7,400千円 ・健康予防管理システム経費:1,761千円(一般会計) ③脳検診の実施に関する費用 (2,640千円) ・臨時資金:40千円 ・郵便料(案内・結果通知):400千円 ・検診委託料:2,200千円	【生活習慣病予防対策事業】 ①啓発活動に関する費用 (830千円) ・啓発グッズの購入費:210千円 ・パンフレットの購入費:620千円 ②特定健診・保健指導に関する費用 (10,831千円) ・臨時資金:1,000千円 ・普通放費:20千円 ・郵便料(案内・結果通知):510千円 ・専用線料/手数料:140千円 ・健診委託料:7,400千円 ・健康予防管理システム経費:1,761千円(一般会計) ③脳検診の実施に関する費用 (2,640千円) ・臨時資金:40千円 ・郵便料(案内・結果通知):400千円 ・検診委託料:2,200千円				
		事業費	13,691	14,301	14,301	14,301	56,594	57,204		
		財源内訳	国支出金	1,240	1,240	1,240	1,240	4,960	4,960	
			道支出金	1,240	1,240	1,240	1,240	4,960	4,960	
			町債					0	0	
			その他	1,800	1,800	1,800	1,800	7,200	7,200	
一般財源	9,411		10,021	10,021	10,021	39,474	40,084	0		
80	バランスのとれた食生活や運動習慣の習得など、より良い生活習慣への改善を推進します。	計画内容	【食の健康推進事業】 ①啓発活動に関する費用 (20千円) ・パンフレット等の購入費:20千円 ②健康教育・講座の開催 (110千円) ・講師謝礼:80千円 ・手数料(チラシ新聞折り込み):20千円 ・贈り物費:10千円 【生活習慣病改善推進事業】 ①啓発活動に関する費用 (10千円) ・パンフレット等の購入費:10千円 ②健康教育・講座の開催 (45千円) ・講師謝礼:45千円 ③個別指導に関する費用 (10千円) ・消耗品(健康手帳・体組成計記録用紙等):10千円	【食の健康推進事業】 ①啓発活動に関する費用 (20千円) ・パンフレット等の購入費:20千円 ②健康教育・講座の開催 (165千円) ・講師謝礼:25千円 ・手数料(健診受診手数料):120千円 ・贈り物費:20千円 【生活習慣病改善推進事業】 ①啓発活動に関する費用 (10千円) ・パンフレット等の購入費:10千円 ②健康教育・講座の開催 (45千円) ・講師謝礼:45千円 ③個別指導に関する費用 (10千円) ・消耗品(健康手帳・体組成計記録用紙等):10千円	【食の健康推進事業】 ①啓発活動に関する費用 (50千円) ・パンフレット等の購入費:20千円 ・栄養指導用消耗品等:30千円 ②健康教育・講座の開催 (40千円) ・講師謝礼:20千円 ・贈り物費:20千円 【生活習慣病改善推進事業】 ①啓発活動に関する費用 (10千円) ・パンフレット等の購入費:10千円 ②健康教育・講座の開催 (45千円) ・講師謝礼:45千円 ③個別指導に関する費用 (10千円) ・消耗品(健康手帳・体組成計記録用紙等):10千円	【食の健康推進事業】 ①啓発活動に関する費用 (20千円) ・パンフレット等の購入費:20千円 ②健康教育・講座の開催 (20千円) ・講師謝礼:ー円 ・贈り物費:20千円 【生活習慣病改善推進事業】 ①啓発活動に関する費用 (30千円) ・パンフレット等の購入費:30千円 ②健康教育・講座の開催 (110千円) ・講師謝礼:90千円 ・手数料(チラシ新聞折り込み):20千円 ③個別指導に関する費用 (10千円) ・消耗品(健康手帳・体組成計記録用紙等):10千円				
		事業費	195	250	155	190	790	755		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	195		250	155	190	790	755	0		
81	【充実】 乳幼児の「う歯」予防、成人・高齢者の歯周病予防など、口腔の健康づくりを推進します。	計画内容	【歯科保健対策事業】 ①妊婦・乳幼児対象の費用 (1,360千円) ・歯科健診:1,180千円 ・フッ化物洗口事業:30千円 ★コンクールの費用:150千円(記念品:30千円×5人) ②成人・高齢者対象の費用 (10千円) ・講師謝礼(健康教育):10千円	【歯科保健対策事業】 ①妊婦・乳幼児対象の費用 (1,360千円) ・歯科健診:1,180千円 ・フッ化物洗口事業:30千円 ★コンクールの費用:150千円(記念品:30千円×5人) ②成人・高齢者対象の費用 (470千円) ・講師謝礼(健康教育):10千円 ★歯科検診の費用:370千円 ・郵送料:70千円 (対象は40・50・60・70・80歳 約840人) ・委託料:300千円 ★コンクールの費用:90千円 (記念品:30千円×3人)	【歯科保健対策事業】 ①妊婦・乳幼児対象の費用 (1,360千円) ・歯科健診:1,180千円 ・フッ化物洗口事業:30千円 ★コンクールの費用:150千円(記念品:30千円×5人) ②成人・高齢者対象の費用 (470千円) ・講師謝礼(健康教育):10千円 ★歯科検診の費用:370千円 ・郵送料:70千円 ・委託料:300千円 ★コンクールの費用:90千円	【歯科保健対策事業】 ①妊婦・乳幼児対象の費用 (1,360千円) ・歯科健診:1,180千円 ・フッ化物洗口事業:30千円 ★コンクールの費用:150千円(記念品:30千円×5人) ②成人・高齢者対象の費用 (470千円) ・講師謝礼(健康教育):10千円 ★歯科検診の費用:370千円 ・郵送料:70千円 ・委託料:300千円 ★コンクールの費用:90千円				
		事業費	1,370	1,830	1,830	1,830	6,860	7,320		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	1,370		1,830	1,830	1,830	6,860	7,320	0		

【Ⅲ. 医療・保健・福祉】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画		
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業	
82	【充実】 妊娠前から乳幼児期の健やかな発達・発育を支援し、次世代の健康を支えます。	計画内容	【母子保健事業】 ①特定不妊治療費助成事業(450千円) ②任意予防接種費助成事業(300千円) ・流行性耳下腺炎ワクチン:300千円 ③乳幼児健診(歯科関係以外費用) (2,700千円) ④個別支援に関する費用(280千円) ・指導用パンフレット等の購入費:20千円 ・母子管理システム使用料:260千円  ※妊婦教室・家庭訪問、学童期個別支援等に関する費用は子ども・子育て支援事業にて計上する。	【母子保健事業】 ①特定不妊治療費助成事業(450千円) ②任意予防接種費助成事業(300千円) ・流行性耳下腺炎ワクチン:300千円 ③乳幼児健診(歯科関係以外費用) (2,700千円) ④個別支援に関する費用(280千円) ・指導用パンフレット等の購入費:20千円 ・母子管理システム使用料:260千円	【母子保健事業】 ①特定不妊治療費助成事業(450千円) ②任意予防接種費助成事業(300千円) ・流行性耳下腺炎ワクチン:300千円 ③乳幼児健診(歯科関係以外費用) (2,700千円) ④個別支援に関する費用(280千円) ・指導用パンフレット等の購入費:20千円 ・母子管理システム使用料:260千円	【母子保健事業】 ①特定不妊治療費助成事業(450千円) ②任意予防接種費助成事業(300千円) ・流行性耳下腺炎ワクチン:300千円 ③乳幼児健診(歯科関係以外費用) (2,700千円) ④個別支援に関する費用(280千円) ・指導用パンフレット等の購入費:20千円 ・母子管理システム使用料:260千円				
		事業費	3,730	3,730	3,730	3,730	14,920	14,920		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	3,730	3,730	3,730	3,730	14,920	14,920	0			
83	ストレス要因の軽減や早期発見・支援など、こころの健康づくりを推進します。	計画内容	【こころの健康(メンタルヘルス)推進事業】 ①啓発活動に関する費用 (145千円) ・啓発グッズ等の購入:84千円 ・委託料(システム管理):61千円  ②健康教育・講座の費用 (155千円) ・講師謝礼:155千円	【こころの健康(メンタルヘルス)推進事業】 ①啓発活動に関する費用 (145千円) ・啓発グッズ等の購入:84千円 ・委託料(システム管理):61千円  ②健康教育・講座の費用 (155千円) ・講師謝礼:155千円	【こころの健康(メンタルヘルス)推進事業】 ①啓発活動に関する費用 (345千円) ・啓発グッズ等の購入:148千円 ・委託料(システム管理):197千円  ②健康教育・講座の費用 (155千円) ・講師謝礼:155千円	【こころの健康(メンタルヘルス)推進事業】 ①啓発活動に関する費用 (145千円) ・啓発グッズ等の購入:84千円 ・委託料(システム管理):61千円  ②健康教育・講座の費用 (155千円) ・講師謝礼:155千円				
		事業費	300	300	500	300	1,400	1,400		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	300	300	500	300	1,400	1,400	0			
84	【充実】 地域や団体の健康づくり活動を支援し、健康を支え守る環境を整備します。	計画内容	①健康づくり活動を行う組織への支援(610千円) ・健康づくり推進協議会補助金交付:610千円  ②地域ぐるみ健康運動に関する費用 ・応援団等の認定証作成	①健康づくり活動を行う組織への支援(610千円) ・健康づくり推進協議会補助金交付:610千円  ②地域ぐるみ健康運動に関する費用 ・応援団等の認定証作成	①健康づくり活動を行う組織への支援(660千円) ・健康づくり推進協議会補助金交付:610千円 ・町内企業や団体への助成金:50千円 対象事業費10万円を上限とし、その1/2を助成 助成額5万円×企業数1か所  ②地域ぐるみ健康運動に関する費用 ・応援団等の認定証作成	①健康づくり活動を行う組織への支援(660千円) ・健康づくり推進協議会補助金交付:610千円 ・町内企業や団体への助成金:50千円 対象事業費10万円を上限とし、その1/2を助成 助成額5万円×企業数1か所  ②地域ぐるみ健康運動に関する費用 ・応援団等の認定証作成				
		事業費	610	610	660	660	2,540	2,740		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	610	610	660	660	2,540	2,740	0			
85	【新規】 健康づくりに係る町の方針を宣言し、町民・関係団体と協働した健康寿命延伸を目指します。	計画内容	①「健康寿命延伸のまちづくり」宣言 ・記念講演及びシンポジウム(136千円) 講師謝礼(医師:伊藤一輔先生を想定)70千円 シンポジスト謝礼(3人×4千円=12千円) 資料等(54千円)  ②(仮称)健康づくり推進協議会拡大会議の設置 (2回/年)  ③(仮称)栗山町国民健康保険「健康チャレンジ 奨励金」(国保会計:保健事業) 段階別支給額 @30,000円×121人=3,630千円 @20,000円×34人=680千円 @12,000円×52人=624千円 @8,000円×139人=1,112千円	①「健康寿命延伸のまちづくり」宣言  ②(仮称)健康づくり推進協議会拡大会議の設置 (2回/年)  ③(仮称)栗山町国民健康保険「健康チャレンジ 奨励金」(国保会計:保健事業) 段階別支給額 @30,000円×142人=4,260千円 @20,000円×40人=800千円 @12,000円×60人=720千円 @8,000円×162人=1,296千円	①「健康寿命延伸のまちづくり」宣言  ②(仮称)健康づくり推進協議会拡大会議の設置 (2回/年)  ③(仮称)栗山町国民健康保険「健康チャレンジ 奨励金」(国保会計:保健事業) 段階別支給額 @30,000円×162人=4,860千円 @20,000円×46人=920千円 @12,000円×69人=828千円 @8,000円×185人=1,480千円	①「健康寿命延伸のまちづくり」宣言  ②(仮称)健康づくり推進協議会拡大会議の設置 (2回/年)  ③(仮称)栗山町国民健康保険「健康チャレンジ 奨励金」(国保会計:保健事業) 段階別支給額 @30,000円×162人=4,860千円 @20,000円×46人=920千円 @12,000円×69人=828千円 @8,000円×185人=1,480千円				
		事業費	136	6,046	7,076	8,088	21,346	42,522		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	136	6,046	7,076	8,088	21,346	42,522	0			

【Ⅲ. 医療・保健・福祉】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画			
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業		
86	【新規】 健康で生きがいをもてる新しい都市モデルの調査研究を進めます。	計画内容	※「健康寿命延伸のまちづくり」宣言 ①Smart Wellness City首長研究会の加入 ・旅費174千円。(入会金、年会費は不要)  ②(仮称)Smart Wellness City市内プロジェクトチームの設置 ・視察1:株式会社つくばウエルネスリサーチ(210千円) ・視察2:新潟県見附市(228千円)	①Smart Wellness City首長研究会 ・旅費174千円  ②(仮称)Smart Wellness City市内プロジェクトチーム Smart Wellness City調査研究結果報告書を(仮称)健康づくり推進協議会拡大会議に提示し関係者の意見を集約。	①Smart Wellness City首長研究会 ・旅費174千円  ②(仮称)Smart Wellness City市内プロジェクトチーム 関連各課と具体的政策づくりを行い、後期計画に新規提案する。	①Smart Wellness City首長研究会 ・旅費174千円	/	①Smart Wellness City首長研究会 ・旅費			
		事業費	612	174	174	174		1,134	696		
		財源内訳	国支出金						0	0	
			道支出金						0	0	
			町債						0	0	
その他						0	0				
一般財源	612	174	174	174	1,134	696	0				
87	地域に必要な医療水準の維持に努めます。	計画内容	①地域医療機能確保補助金 30,000千円 ②地域医療対策委員会 委員報酬 241千円 食糧費 15千円 ③医療水準の維持に必要な医療機関等への支援 ※栗山赤十字病院耐震化診断の予定  ④医療環境整備の検討	①地域医療機能確保補助金 30,000千円 ②地域医療対策委員会 委員報酬 241千円 食糧費 15千円 ③医療水準の維持に必要な医療機関等への支援 ※栗山赤十字病院耐震化診断の結果を受け、対応を協議 ④医療環境整備の検討 仮称)栗山町の医療環境整備を検討する町民委員会の設置 ○構成メンバー 地域医療協議会会長、栗山赤十字病院長、栗山赤十字病院事務部長、国民健康保険運営協議会から被保険者代表、各町内会の連合会長(4人)老人クラブ連合会会長、栗山町子ども子育て会議会長、栗山商工会議所からの代表、JCからの代表、以上12人+一般公募2人で総勢14人、アドバイザー1名(伊藤一輔先生を想定) ○会議開催年3回 487千円	①地域医療機能確保補助金 30,000千円 ②地域医療対策委員会 委員報酬 241千円 食糧費 15千円 ③医療水準の維持に必要な医療機関等への支援 ④医療環境整備の検討 仮称)栗山町の医療環境整備を検討する町民委員会 ※道の地域医療ビジョンを鑑みつつ、町に提言書を提出。 ○会議開催年3回 487千円	①地域医療機能確保補助金 30,000千円 ②地域医療対策委員会 委員報酬 241千円 食糧費 15千円 ③医療水準の維持に必要な医療機関等への支援 ④医療環境整備の検討 仮称)栗山町地域医療環境整備基本構想策定委員会を設置し基本構想を策定する。 当該委員会は町民委員会メンバーをベースに組織化。 委員数14人、アドバイザー1人 ○会議開催年4回 650千円	/	①地域医療機能確保補助金 ②地域医療対策委員会 委員報酬、食糧費 ③医療水準の維持に必要な医療機関等への支援 ④医療環境整備の検討			
		事業費	30,256	30,743	30,743	30,906		122,648	121,024		
		財源内訳	国支出金						0	0	
			道支出金						0	0	
			町債						0	0	
その他						0	0				
一般財源	30,256	30,743	30,743	30,906	122,648	121,024	0				
88	【充実】 在宅療養生活を支える医療供給体制等を推進します。	計画内容	①訪問看護推進事業 700千円 ②地域医療協議会との連携 0千円 ③地域医療対策委員会での推進策検討	①訪問看護推進事業 700千円 ②地域医療協議会との連携 0千円 ③地域医療対策委員会での推進策検討	①訪問看護推進事業 700千円 ②地域医療協議会との連携 0千円 ③地域医療対策委員会での推進策検討	①訪問看護推進事業 700千円 ②地域医療協議会との連携 0千円 ③地域医療対策委員会での推進策検討	/	①訪問看護推進事業 ②地域医療協議会との連携 ③地域医療対策委員会での推進策検討 ④(仮称)在宅医療推進補助金 ⑤(仮称)在宅ケア利用促進事業			
		事業費	700	700	700	700		2,800	2,800		
		財源内訳	国支出金						0	0	
			道支出金						0	0	
			町債						0	0	
その他						0	0				
一般財源	700	700	700	700	2,800	2,800	0				
89	【充実】 初期救急医療の確保に努めるとともに、二次救急病院への支援をします。	計画内容	①救急医療事業 66,000千円 ②救急安心センター負担金985千円(人口×@77円)	①救急医療事業 66,000千円 ②救急安心センター負担金985千円	①救急医療事業 66,000千円 ②救急安心センター負担金985千円	①救急医療事業 66,000千円 ②救急安心センター負担金985千円	/	①救急医療事業 ②救急安心センター負担金			
		事業費	66,985	66,985	66,985	66,985		267,940	267,940		
		財源内訳	国支出金						0	0	
			道支出金						0	0	
			町債						0	0	
その他						0	0				
一般財源	66,985	66,985	66,985	66,985	267,940	267,940	0				

【Ⅲ. 医療・保健・福祉】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画		
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業	
90	【新規】 妊娠・出産・子育てに関する、総合的な情報提供と相談機能を充実します。	計画内容	①くりやまライフサポーター事業 家計簿セミナー(100千円) FPプランニング委託料(200千円) ②ガイドブック ガイドブック印刷(100千円) ③ポータルサイト(1,100千円)	①くりやまライフサポーター事業 家計簿セミナー(100千円) FPプランニング委託料(200千円) ②ガイドブック ガイドブック印刷(100千円) ③ポータルサイト管理費(20千円)	①くりやまライフサポーター事業 家計簿セミナー(100千円) FPプランニング委託料(200千円) ②ガイドブック ガイドブック印刷(100千円) ③ポータルサイト管理費(20千円)	①くりやまライフサポーター事業 家計簿セミナー(100千円) FPプランニング委託料(200千円) ②ガイドブック ガイドブック印刷(100千円) ③ポータルサイト管理費(20千円)			①くりやまライフサポーター事業 家計簿セミナー FPプランニング委託料 ②ガイドブック ガイドブック印刷 ③ポータルサイト管理費	
		事業費	1,540	420	420	420	2,800	1,680		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	1,540	420	420	420	2,800	1,680	0			
91	【充実】 子ども医療費を助成します。	計画内容	①道補助関連分 12,265千円 ②町単独分 20,356千円 ③町単独分(年齢拡大) 2,100千円	①道補助関連分 12,265千円 ②町単独分 20,356千円 ③町単独分(年齢拡大) 2,100千円	①道補助関連分 12,265千円 ②町単独分 20,356千円 ③町単独分(年齢拡大) 2,100千円	①道補助関連分 12,265千円 ②町単独分 20,356千円 ③町単独分(年齢拡大) 2,100千円			①道補助関連分 ②町単独分 ③町単独分(年齢拡大)	
		事業費	34,721	34,721	34,721	34,721	138,884	138,884		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金	5,752	5,752	5,752	5,752	23,008	23,008	
			町債					0	0	
			その他	100	100	100	100	400	400	
一般財源	28,869	28,869	28,869	28,869	115,476	115,476	0			
92	【充実】 子育て家庭の支援や、子育てしやすい環境の充実を図ります。	計画内容	①(仮称)子ども健やか育み宣言「栗山町子ども・子育て支援事業計画」に基づく各種支援事業を実施(次年度以降同様) ①子育てサポート事業(事業費3,040千円) ※出生数70名中30名利用見込 無料面接 @2千円*30名=60千円 無料券利用者 @2千円*30名=240千円 ヘルパー派遣町負担金 @1.6千円*15H*12月=288千円 妊婦無料券 @2千円*2H*5名=20千円 妊婦利用者 @1.6千円*20H=32千円 ファミリーサポート設置準備事業委託 2,400千円 ②子ども・子育て会議(事業費255千円) 委員長報酬 @4.2千円*1人*3回=13千円 委員報酬 @4千円*19人*3回=228千円 費用弁償 @14千円 ③赤ちゃん誕生記念事業(750千円) @10千円*75人=750千円 ④乳幼児育児用品購入助成制度事業(事業費4,500千円) 助成費 月@5千円*12ヶ月*75人=4,500千円 ⑤子育て支援事業(事業費3,005千円) 臨時保育士賃金(2名分)2,500千円 講師謝礼80千円、指導文具87千円 食糧費54千円、その他284千円 ⑥移動子育てサロン(栗山市街地区の子育て支援)(7月~1名追加) 講師謝礼80千円、指導文具87千円 食糧費54千円、その他284千円 ⑦移動子育てサロン(南部・中部地域の子育て支援)遊具購入等地域子育て支援材料費300千円*2か所=600千円	①子育てサポート事業(事業費3,040千円) ※出生数70名中30名利用見込 無料面接 @2千円*30名=60千円 無料券利用者 @2千円*30名=240千円 ヘルパー派遣町負担金 @1.6千円*15H*12月=288千円 妊婦無料券 @2千円*2H*5名=20千円 妊婦利用者 @1.6千円*20H=32千円 ファミリーサポート設置準備事業委託 2,400千円 ②子ども・子育て会議(事業費255千円) 委員長報酬 @4.2千円*1人*3回=13千円 委員報酬 @4千円*19人*3回=228千円 費用弁償 @14千円 ③赤ちゃん誕生記念事業(750千円) @10千円*75人=750千円 ④乳幼児育児用品購入助成制度事業(事業費4,500千円) 助成費 月@5千円*12ヶ月*75人=4,500千円 ⑤子育て支援事業(事業費3,005千円) 臨時保育士賃金(2名分)2,500千円 講師謝礼80千円、指導文具87千円 食糧費54千円、その他284千円 ⑥移動子育てサロン(栗山市街地区の子育て支援)遊具購入等地域子育て支援材料費300千円	①子育てサポート事業(事業費3,040千円) ※出生数70名中30名利用見込 無料面接 @2千円*30名=60千円 無料券利用者 @2千円*30名=240千円 ヘルパー派遣町負担金 @1.6千円*15H*12月=288千円 妊婦無料券 @2千円*2H*5名=20千円 妊婦利用者 @1.6千円*20H=32千円 ファミリーサポート設置準備事業委託 2,400千円 ②子ども・子育て会議(事業費255千円) 委員長報酬 @4.2千円*1人*3回=13千円 委員報酬 @4千円*19人*3回=228千円 費用弁償 @14千円 ③赤ちゃん誕生記念事業(750千円) @10千円*75人=750千円 ④乳幼児育児用品購入助成制度事業(事業費4,500千円) 助成費 月@5千円*12ヶ月*75人=4,500千円 ⑤子育て支援事業(事業費3,005千円) 臨時保育士賃金(2名分)2,500千円 講師謝礼80千円、指導文具87千円 食糧費54千円、その他284千円 ⑥移動子育てサロン(栗山市街地区の子育て支援)遊具購入等地域子育て支援材料費300千円	①子育てサポート事業(事業費3,040千円) ※出生数70名中30名利用見込 無料面接 @2千円*30名=60千円 無料券利用者 @2千円*30名=240千円 ヘルパー派遣町負担金 @1.6千円*15H*12月=288千円 妊婦無料券 @2千円*2H*5名=20千円 妊婦利用者 @1.6千円*20H=32千円 ファミリーサポート設置準備事業委託 2,400千円 ②子ども・子育て会議(事業費255千円) 委員長報酬 @4.2千円*1人*3回=13千円 委員報酬 @4千円*19人*3回=228千円 費用弁償 @14千円 ③赤ちゃん誕生記念事業(750千円) @10千円*75人=750千円 ④乳幼児育児用品購入助成制度事業(事業費4,500千円) 助成費 月@5千円*12ヶ月*75人=4,500千円 ⑤子育て支援事業(事業費3,005千円) 臨時保育士賃金(2名分)2,500千円 講師謝礼80千円、指導文具87千円 食糧費54千円、その他284千円 ⑥移動子育てサロン(栗山市街地区の子育て支援)遊具購入等地域子育て支援材料費300千円			①子育てサポート事業 ②子ども・子育て会議 *子ども・子育て支援事業計画策定業務委託 ③赤ちゃん誕生記念事業 ④乳幼児育児用品購入助成制度事業 ⑤子育て支援事業 臨時保育士賃金 指導文具 食糧費 その他 ⑥南部・中部地域の子育て支援 地域子育て支援材料費	
		事業費	11,850	11,850	11,580	13,215	48,495	48,483		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	11,850	11,850	11,580	13,215	48,495	48,483	0			
93	児童の健全な遊び・活動の場と、放課後の居場所づくりを進めます。	計画内容	①児童センター運営(児童福祉施設費270千円、施設管理費3,576千円) ②放課後児童クラブ運営(16,247千円) (経立放課後児童クラブはH26年度より民間委託)	①児童センター運営(児童福祉施設費270千円、施設管理費3,576千円) ②放課後児童クラブ運営(16,247千円) (経立放課後児童クラブはH26年度より民間委託)	①児童センター運営(児童福祉施設費270千円、施設管理費3,576千円) ②放課後児童クラブ運営(16,247千円) (経立放課後児童クラブはH26年度より民間委託)	①児童センター運営(児童福祉施設費270千円、施設管理費3,576千円) ②放課後児童クラブ運営(16,247千円) (経立放課後児童クラブはH26年度より民間委託)			①児童センター運営 (児童福祉施設費、施設管理費) ②放課後児童クラブ運営 (経立放課後児童クラブはH26年度より民間委託)	
		事業費	20,093	20,093	20,093	20,093	80,372	80,372		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	20,093	20,093	20,093	20,093	80,372	80,372	0			



【Ⅲ. 医療・保健・福祉】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画			
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業		
98	【新規】 栗山町子育て支援センターを移設整備し、機能を充実します。	計画内容	①子育て支援センター施設(旧法務局)他 33,000千円 ②子育て支援センター運営費(7月～) 3,000千円	①子育て支援センター運営管理費 4,000千円	①子育て支援センター運営管理費 4,000千円	①子育て支援センター運営管理費 4,000千円	/	①子育て支援センター運営管理費			
		事業費	36,000	4,000	4,000	4,000		48,000	16,000		
		財源内訳	国支出金	2,256					2,256	0	
			道支出金						0	0	
			町債						0	0	
			その他						0	0	
一般財源	33,744	4,000	4,000	4,000	45,744	16,000	0				
99	【充実】 栗山町児童センターの計画的な改修・設備更新を行います。	計画内容	①中庭固定遊具リース料 1,015千円 (2年目/5年終了) ②排煙窓の修理(3,784千円) *窓枠をアルミ枠に入替え一見積り中 ③外壁改修(8,435千円) ④女子トイレの壁の改修(481千円) ⑤トイレの改修 (ウォシュレット付便座取り換え774千円) (電気工事費185千円) ⑥1階手洗い場の灯油給湯器設置(450千円) ⑦中庭水飲み場の撤去(227千円) ⑧散水栓増設工事(185千円) ⑨暖房ボイラー交換(1,892千円)	①中庭固定遊具リース料 1,015千円 (3年目/5年終了)	①中庭固定遊具リース料 1,015千円 (4年目/5年終了)	①中庭固定遊具リース料 1,015千円 (5年目/5年終了)	/				
		事業費	17,428	1,015	1,015	1,015		20,473	0		
		財源内訳	国支出金						0	0	
			道支出金						0	0	
			町債						0	0	
			その他						0	0	
一般財源	17,428	1,015	1,015	1,015	20,473	0	0				
100	高齢者が要介護状態にならないよう、介護予防事業を推進します。	計画内容	介護保険特別会計(地域支援事業費) ①一次予防事業 7,630千円 ②二次予防事業 4,623千円 ※H27～H29は第6期介護保険事業計画に基づくため変更あり。	介護保険特別会計(地域支援事業費) ①一次予防事業 7,630千円 ②二次予防事業 4,623千円 ※H27～H29は第6期介護保険事業計画に基づくため変更あり。	介護保険特別会計(地域支援事業費) ①一次予防事業 7,630千円 ②二次予防事業 4,623千円 ※H27～H29は第6期介護保険事業計画に基づくため変更あり。	介護保険特別会計(地域支援事業費) ①一次予防事業 7,630千円 ②二次予防事業 4,623千円 ※H30～H32は第7期介護保険事業計画に基づくため変更あり。	/	介護保険特別会計(地域支援事業費) ①一次予防事業 ②二次予防事業			
		事業費	12,253	12,253	12,253	12,253		49,012	49,012		
		財源内訳	国支出金	2,753	2,753	2,753		2,753	11,012	11,012	
			道支出金	1,377	1,377	1,377		1,377	5,508	5,508	
			町債						0	0	
			その他	6,747	6,747	6,747		6,747	26,988	26,988	
一般財源	1,376	1,376	1,376	1,376	5,504	5,504	0				
101	【充実】 生活支援を中心とした地域包括ケアの充実を図ります。	計画内容	①高齢者介護福祉金 1,650千円 ②老人地域生活支援事業(介護保険適用) 8,260千円 ③在宅福祉生活事業(介護保険適用外) 6,834千円 ④緊急通報システム設置事業 1,998千円 ⑤無年金者生活支援給付金支給事業 720千円 ⑥地域包括ケアシステムの構築	①高齢者介護福祉金 1,650千円 ②老人地域生活支援事業(介護保険適用) 8,260千円 ③在宅福祉生活事業(介護保険適用外) 6,834千円 ④緊急通報システム設置事業 1,998千円 ⑤無年金者生活支援給付金支給事業 720千円 ⑥地域包括ケアシステムの構築	①高齢者介護福祉金 1,650千円 ②老人地域生活支援事業(介護保険適用) 8,260千円 ③在宅福祉生活事業(介護保険適用外) 6,834千円 ④緊急通報システム設置事業 1,998千円 ⑤無年金者生活支援給付金支給事業 720千円 ⑥地域包括ケアシステムの構築	①高齢者介護福祉金 1,650千円 ②老人地域生活支援事業(介護保険適用) 8,260千円 ③在宅福祉生活事業(介護保険適用外) 6,834千円 ④緊急通報システム設置事業 1,998千円 ⑤無年金者生活支援給付金支給事業 720千円 ⑥地域包括ケアシステムの構築	/	①高齢者介護福祉金 ②老人地域生活支援事業(介護保険適用) ③在宅福祉生活事業(介護保険適用外) ④緊急通報システム設置事業 ⑤無年金者生活支援給付金支給事業 ⑥地域包括ケアシステムの構築			
		事業費	19,521	19,521	19,521	19,521		78,084	78,084		
		財源内訳	国支出金	3,235	3,235	3,235		3,235	12,940	12,940	
			道支出金	1,617	1,617	1,617		1,617	6,468	6,468	
			町債						0	0	
			その他	1,720	1,720	1,720		1,720	6,880	6,880	
一般財源	12,949	12,949	12,949	12,949	51,796	51,796	0				

【Ⅲ. 医療・保健・福祉】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画			
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業		
102	【新規】 南部地域における高齢者対策拠点の整備を検討します。	計画内容	①町内介護支援事業所等と南部地区における拠点整備について意見交換 ②ニーズ把握のための南部地区住民との意見交換会	①町内介護支援事業所等との南部地区における拠点整備についての具体策の検討(町内介護支援事業所の建設整備意向等の確認) ②南部地区住民との意見交換会(継続) ③地域住民及び町内介護支援事業所等の意見等を踏まえ、今後の方針について検討(検討委員会等の設置)	①第7期栗山町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(平成30年～平成33年)へ具体的政策の反映についての協議(策定委員会での具体的協議) *必要があれば用地購入の検討必要あり						■高齢者対策拠点施設整備検討
			事業費	0	0	240	0	240	0	0	
		財源内訳	国支出金					0	0	0	
			道支出金					0	0	0	
			町債					0	0	0	
			その他					0	0	0	
一般財源	0	0	240	0	240	0	0				
103	【新規】 介護福祉学校と町内介護支援事業所との連携を図ります。	計画内容	①町内介護事業所等と介護福祉学校関係者との意見交換会～連携に向けた具体的協議 ②介護福祉学校学生の町内介護事業所等へのボランティア・アルバイトの協力	①町内介護事業所等と介護福祉学校関係者との意見交換会 ②介護福祉学校学生の町内介護事業所等へのボランティア・アルバイトの協力 ③学校休業日等での学校開放(福祉人材育成等の講習会等の実施)に向けた協議・実施	①町内介護事業所等と介護福祉学校関係者との意見交換会 ②介護福祉学校学生の町内介護事業所等へのボランティア・アルバイトの協力 ③学校休業日等に学校開放を行い、福祉人材育成等の講習会等の実施						
			事業費	0	0	0	0	0	0	0	
		財源内訳	国支出金					0	0	0	
			道支出金					0	0	0	
			町債					0	0	0	
			その他					0	0	0	
一般財源	0	0	0	0	0	0	0				
104	【充実】 高齢者の社会参加と活動の場づくりを推進します。	計画内容	①地域を担う人づくり(熟年人材センター運営支援) 熟年人材登録者25名 運営補助金 55千円 ②高齢者等居場所づくり(ケアラズカフェ等) 2箇所 4,000千円 (いきいき交流プラザ・南部地区)	①地域を担う人づくり(熟年人材センター運営支援) 熟年人材登録者25名 運営補助金 55千円 ②高齢者等居場所づくり(ケアラズカフェ等) 4箇所 8,500千円 (いきいき交流プラザ・栗山地区・南部地区・中部地区)	①地域を担う人づくり(熟年人材センター運営支援) 熟年人材登録者25名 運営補助金 55千円 ②高齢者等居場所づくり(ケアラズカフェ等) 4箇所 8,000千円 (いきいき交流プラザ・栗山地区・南部地区・中部地区)						
			事業費	4,055	8,555	8,055	8,055	28,720	32,220		
		財源内訳	国支出金					0	0	0	
			道支出金					0	0	0	
			町債					0	0	0	
			その他					0	0	0	
一般財源	4,055	8,555	8,055	8,055	28,720	32,220	0				
105	【充実】 地域の見守り・支え合い活動の充実を図ります。	計画内容	①在宅サポーター2名 ケアラズサポーター2名 命のバトン配付数 800本 ②社会福祉協議会補助金17,320千円	①在宅サポーター2名 ケアラズサポーター2名 命のバトン配付数 850本 ②社会福祉協議会補助金17,320千円	①在宅サポーター2名 ケアラズサポーター2名 命のバトン配付数 850本 ②社会福祉協議会補助金17,320千円						
			事業費	17,320	17,320	17,320	17,320	69,280	69,280		
		財源内訳	国支出金					0	0	0	
			道支出金					0	0	0	
			町債					0	0	0	
			その他					0	0	0	
一般財源	17,320	17,320	17,320	17,320	69,280	69,280	0				

【Ⅲ. 医療・保健・福祉】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画		
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業	
106	障がい者の自立した地域生活を支援します。	計画内容	①福祉ハイヤー利用料金助成 @530円×50枚×12ヶ月=319千円 ②特定疾患患者等通院費等助成 人工透析 @240,000円×2期=480千円 特定疾患 @180,000円×2期=360千円 ③日中一時支援(地域生活支援事業任意) @75,000円×12ヶ月=900千円 ④心身障害者扶養共済掛金 1名分 @5,800円×12ヶ月=70千円 ⑤生活サポート事業(地域生活支援事業任意) @1,350円×6ヶ月= 9千円 ⑥点字・声の広報等発行事業(地域生活支援事業任意) 16千円 ⑦障がい者更生援護事業 ①28,000円×3名= 84千円 ② 9,000円×1名= 9千円	①福祉ハイヤー利用料金助成 @530円×50枚×12ヶ月=319千円 ②特定疾患患者等通院費等助成 人工透析 @240,000円×2期=480千円 特定疾患 @180,000円×2期=360千円 ③日中一時支援(地域生活支援事業任意) @75,000円×12ヶ月=900千円 ④心身障害者扶養共済掛金 1名分 @5,800円×12ヶ月=70千円 ⑤生活サポート事業(地域生活支援事業任意) @1,350円×6ヶ月= 9千円 ⑥点字・声の広報等発行事業(地域生活支援事業任意) 16千円 ⑦障がい者更生援護事業 ①28,000円×3名= 84千円 ② 9,000円×1名= 9千円	①福祉ハイヤー利用料金助成 @530円×50枚×12ヶ月=319千円 ②特定疾患患者等通院費等助成 人工透析 @240,000円×2期=480千円 特定疾患 @180,000円×2期=360千円 ③日中一時支援(地域生活支援事業任意) @75,000円×12ヶ月=900千円 ④心身障害者扶養共済掛金 1名分 @5,800円×12ヶ月=70千円 ⑤生活サポート事業(地域生活支援事業任意) @1,350円×6ヶ月= 9千円 ⑥点字・声の広報等発行事業(地域生活支援事業任意) 16千円 ⑦障がい者更生援護事業 ①28,000円×3名= 84千円 ② 9,000円×1名= 9千円	①福祉ハイヤー利用料金助成 @530円×50枚×12ヶ月=319千円 ②特定疾患患者等通院費等助成 人工透析 @240,000円×2期=480千円 特定疾患 @180,000円×2期=360千円 ③日中一時支援(地域生活支援事業任意) @75,000円×12ヶ月=900千円 ④心身障害者扶養共済掛金 1名分 @5,800円×12ヶ月=70千円 ⑤生活サポート事業(地域生活支援事業任意) @1,350円×6ヶ月= 9千円 ⑥点字・声の広報等発行事業(地域生活支援事業任意) 16千円 ⑦障がい者更生援護事業 ①28,000円×3名= 84千円 ② 9,000円×1名= 9千円	①福祉ハイヤー利用料金助成 @530円×50枚×12ヶ月=319千円 ②特定疾患患者等通院費等助成 人工透析 @240,000円×2期=480千円 特定疾患 @180,000円×2期=360千円 ③日中一時支援(地域生活支援事業任意) @75,000円×12ヶ月=900千円 ④心身障害者扶養共済掛金 1名分 @5,800円×12ヶ月=70千円 ⑤生活サポート事業(地域生活支援事業任意) @1,350円×6ヶ月= 9千円 ⑥点字・声の広報等発行事業(地域生活支援事業任意) 16千円 ⑦障がい者更生援護事業 ①28,000円×3名= 84千円 ② 9,000円×1名= 9千円		①福祉ハイヤー利用料金助成 ②特定疾患患者等通院費等助成 人工透析 特定疾患 ③日中一時支援(地域生活支援事業任意) ④心身障害者扶養共済掛金 ⑤生活サポート事業(地域生活支援事業任意) ⑥点字・声の広報等発行事業(地域生活支援事業任意) ⑦障がい者更生援護事業	
		事業費	2,247	2,247	2,247	2,247	8,988	8,988		
		財源内訳	国支出金	326	326	326	326	1,304	1,304	
			道支出金	163	163	163	163	652	652	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	1,758	1,758	1,758	1,758	7,032	7,032	0			
107	障がい者の社会参画と自立支援に取り組む団体・事業者などを支援します。	計画内容	①身体障害者福祉協会補助金 49千円 レクリエーション事業委託 120千円 ②職親への委託料 @30,000円×1名×6ヶ月=180千円	①身体障害者福祉協会補助金 49千円 レクリエーション事業委託 120千円 ②職親への委託料 @30,000円×1名×6ヶ月=180千円	①身体障害者福祉協会補助金 49千円 レクリエーション事業委託 120千円 ②職親への委託料 @30,000円×1名×6ヶ月=180千円	①身体障害者福祉協会補助金 49千円 レクリエーション事業委託 120千円 ②職親への委託料 @30,000円×1名×6ヶ月=180千円		①身体障害者福祉協会補助金 レクリエーション事業委託 ②職親への委託料		
		事業費	349	349	349	349	1,396	1,396		
		財源内訳	国支出金	122	122	122	122	488	488	
			道支出金	61	61	61	61	244	244	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	166	166	166	166	664	664	0			

【Ⅳ. 産業】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画				後期展望計画			
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業	
108	農業後継者の育成を図ります。	計画内容	①栗山町農業教育振興会への補助 道内研修 30千円×2名=60千円 道外研修 100千円×2名=200千円 海外研修 350千円×2名=700千円	/	①栗山町農業教育振興会への補助 道内研修 30千円×2名=60千円 道外研修 100千円×2名=200千円 海外研修 350千円×2名=700千円	②栗山町農業振興公社に負担金を交付 青年農業賞 350千円 くりやま農業未来塾 600千円 くりやま農業女性塾 400千円 若手農業後継者等プロジェクト 250千円 4Hクラブ 59千円				
			②栗山町農業振興公社に負担金を交付 青年農業賞 350千円 くりやま農業未来塾 600千円 くりやま農業女性塾 400千円 若手農業後継者等プロジェクト 250千円 4Hクラブ 59千円		②栗山町農業振興公社に負担金を交付 青年農業賞 350千円 くりやま農業未来塾 600千円 くりやま農業女性塾 400千円 若手農業後継者等プロジェクト 250千円 4Hクラブ 59千円					
		事業費	2,619	2,619	2,619	2,619		10,476	10,476	
		財源内訳	国支出金						0	0
			道支出金						0	0
			町債						0	0
その他	1,310		1,310	1,310	1,310	5,240	5,240			
一般財源	1,309	1,309	1,309	1,309	5,236	5,236	0			
109	【充実】 新規就農者の受け入れを進めます。	計画内容	①経営開始直後の青年就農者に対する助成 青年就農給付金(経営開始型 独立就農) 1,500千円×3名=4,500千円 青年就農給付金(経営開始型 夫婦就農) 2,250千円×5名=11,250千円	①経営開始直後の青年就農者に対する助成 青年就農給付金(経営開始型 独立就農) 1,500千円×4名=6,000千円 青年就農給付金(経営開始型 夫婦就農) 2,250千円×8名=18,000千円	①経営開始直後の青年就農者に対する助成 青年就農給付金(経営開始型 独立就農) 1,500千円×1名=1,500千円 青年就農給付金(経営開始型 夫婦就農) 2,250千円×6名=13,500千円	①経営開始直後の青年就農者に対する助成 青年就農給付金(経営開始型 独立就農) 1,500千円×1名=1,500千円 青年就農給付金(経営開始型 夫婦就農) 2,250千円×3名=6,750千円	/	①経営開始直後の青年就農者に対する助成 青年就農給付金(経営開始型 独立就農) 1,500千円×1名=1,500千円 青年就農給付金(経営開始型 夫婦就農) 2,250千円×5名=11,250千円	②栗山町農業振興公社に負担金を交付 新規就農希望者等相談 600千円 新規就農研修者研修 2,700千円 新規就農者経営安定化支援事業 650千円 地域おこし協力隊事業(4名) 17,489千円 ※特別交付税措置	
			②栗山町農業振興公社に負担金を交付 新規就農希望者等相談 600千円 新規就農研修者研修 2,700千円 新規就農者経営安定化支援事業 650千円 地域おこし協力隊事業(2名) 7,977千円 ※特別交付税措置		②栗山町農業振興公社に負担金を交付 新規就農希望者等相談 600千円 新規就農研修者研修 2,700千円 新規就農者経営安定化支援事業 650千円 地域おこし協力隊事業(2名) 7,977千円 ※特別交付税措置					
		事業費	37,189	35,927	26,927	12,200		112,243	36,800	
		財源内訳	国支出金						0	0
			道支出金	15,750	24,000	15,000		8,250	63,000	21,000
			町債						0	0
その他						0	0			
一般財源	21,439	11,927	11,927	3,950	49,243	15,800	0			
110	営農活動の安定化支援と、集落営農組織の育成を図ります。	計画内容	①認定農業者制度の取り組み 375名	①認定農業者制度の取り組み 370名	①認定農業者制度の取り組み 365名	①認定農業者制度の取り組み 360名	/	①認定農業者制度の取り組み 375名	②農業振興資金の貸付け 貸付金原資預託 5,000千円 ③農業振興資金利子助成の実施 利子助成 142千円	
			②農業振興資金の貸付け 貸付金原資預託 5,000千円 ③農業振興資金利子助成の実施 利子助成 142千円	②農業振興資金の貸付け 貸付金原資預託 5,000千円 ③農業振興資金利子助成の実施 利子助成 142千円	②農業振興資金の貸付け 貸付金原資預託 5,000千円 ③農業振興資金利子助成の実施 利子助成 142千円	②農業振興資金の貸付け 貸付金原資預託 5,000千円 ③農業振興資金利子助成の実施 利子助成 142千円		②農業振興資金の貸付け 貸付金原資預託 5,000千円 ③農業振興資金利子助成の実施 利子助成 142千円		
		事業費	7,737	7,255	6,934	6,814		28,740	26,212	
		財源内訳	国支出金						0	0
			道支出金	847	606	445		385	2,283	1,019
			町債						0	0
その他	5,000		5,000	5,000	5,000	20,000	20,000			
一般財源	1,890	1,649	1,489	1,429	6,457	5,193	0			
111	【充実】 栗山の特性を生かした良質な農産物の生産を推進します。	計画内容	①地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動に取り組む農業者に対し、8,000円/10aを交付(国から4,000円/10a、町から4,000円/10aをそれぞれ交付) 取組面積 5,000a×8,000円/10a=4,000,000円 国費:2,000,000円(直払) 道費:1,000,000円 町費:1,000,000円	①地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動に取り組む農業者に対し、8,000円/10aを交付(国から4,000円/10a、町から4,000円/10aをそれぞれ交付) 取組面積 5,000a×8,000円/10a=4,000,000円 国費:2,000,000円(直払) 道費:1,000,000円 町費:1,000,000円	①地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動に取り組む農業者に対し、8,000円/10aを交付(国から4,000円/10a、町から4,000円/10aをそれぞれ交付) 取組面積 5,000a×8,000円/10a=4,000,000円 国費:2,000,000円(直払) 道費:1,000,000円 町費:1,000,000円	①地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動に取り組む農業者に対し、8,000円/10aを交付(国から4,000円/10a、町から4,000円/10aをそれぞれ交付) 取組面積 5,000a×8,000円/10a=4,000,000円 国費:2,000,000円(直払) 道費:1,000,000円 町費:1,000,000円	/	①地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動に取り組む農業者に対し、8,000円/10aを交付(国から4,000円/10a、町から4,000円/10aをそれぞれ交付) 取組面積 5,000a×8,000円/10a=4,000,000円 国費:2,000,000円(直払) 道費:1,000,000円 町費:1,000,000円	②農業用機械・施設整備事業の支援事業については、ニーズに合った柔軟な対応とするため、都度、事業化、予算化するものとする Ave:26経営体×2,000千円/経営体=52,000千円	
			②農業用機械・施設整備事業の支援事業については、ニーズに合った柔軟な対応とするため、都度、事業化、予算化するものとする Ave:26経営体×2,000千円/経営体=52,000千円	②農業用機械・施設整備事業の支援事業については、ニーズに合った柔軟な対応とするため、都度、事業化、予算化するものとする Ave:26経営体×2,000千円/経営体=52,000千円	②農業用機械・施設整備事業の支援事業については、ニーズに合った柔軟な対応とするため、都度、事業化、予算化するものとする Ave:26経営体×2,000千円/経営体=52,000千円	②農業用機械・施設整備事業の支援事業については、ニーズに合った柔軟な対応とするため、都度、事業化、予算化するものとする Ave:26経営体×2,000千円/経営体=52,000千円		②農業用機械・施設整備事業の支援事業については、ニーズに合った柔軟な対応とするため、都度、事業化、予算化するものとする Ave:26経営体×2,000千円/経営体=52,000千円		
		事業費	56,000	56,000	56,000	56,000		224,000	224,000	
		財源内訳	国支出金	54,000	54,000	54,000		54,000	216,000	216,000
			道支出金	1,000	1,000	1,000		1,000	4,000	4,000
			町債						0	0
その他						0	0			
一般財源	1,000	1,000	1,000	1,000	4,000	4,000	0			

【IV. 産業】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画			
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業		
112	農地の円滑な流動化の推進と、優良農地の確保を図ります。	計画内容	①栗山町農業振興公社に負担金を交付 農地流動化対策事業 3,800千円 農地利用集積円滑化事業 100千円	①栗山町農業振興公社に負担金を交付 農地流動化対策事業 3,800千円 農地利用集積円滑化事業 100千円	①栗山町農業振興公社に負担金を交付 農地流動化対策事業 3,800千円 農地利用集積円滑化事業 100千円	①栗山町農業振興公社に負担金を交付 農地流動化対策事業 3,800千円 農地利用集積円滑化事業 100千円	/	①栗山町農業振興公社に負担金を交付 農地流動化対策事業 農地利用集積円滑化事業			
		事業費	3,900	3,900	3,900	3,900		15,600	15,600		
		財源内訳	国支出金						0	0	
			道支出金						0	0	
			町債						0	0	
その他						0	0				
一般財源	3,900	3,900	3,900	3,900	15,600	15,600	0				
113	国営事業などによる計画的な基盤整備と、施設の維持管理を行います。	計画内容	①国営事業の償還(国営道央かんがい排水事業:平成33年まで) 2,180,482円/年 ②農地・農業用施設災害復旧事業 災害発生時に関係機関と調整を行い、都度、事業化、予算化する ③農業農村整備事業等 地域や関係機関と調整を行い、都度、事業化、予算化する ④国営造成施設管理体制整備促進事業 事業第3期(平成22年度～平成26年度)の拡充(平成29年度まで) 24,326,000円/年 ⑤農業用施設維持管理事業 農業用施設を定期的に点検し、都度、事業化、予算化するものとする	①国営事業の償還(国営道央かんがい排水事業:平成33年まで) 2,180,482円/年 ②農地・農業用施設災害復旧事業 災害発生時に関係機関と調整を行い、都度、事業化、予算化する ③農業農村整備事業等 地域や関係機関と調整を行い、都度、事業化、予算化する ④国営造成施設管理体制整備促進事業 事業第3期(平成22年度～平成26年度)の拡充(平成29年度まで) 24,326,000円/年 ⑤農業用施設維持管理事業 農業用施設を定期的に点検し、都度、事業化、予算化するものとする	①国営事業の償還(国営道央かんがい排水事業:平成33年まで) 2,180,482円/年 ②農地・農業用施設災害復旧事業 災害発生時に関係機関と調整を行い、都度、事業化、予算化する ③農業農村整備事業等 地域や関係機関と調整を行い、都度、事業化、予算化する ④国営造成施設管理体制整備促進事業 事業第3期(平成22年度～平成26年度)の拡充(平成29年度まで) 24,326,000円/年 ⑤農業用施設維持管理事業 農業用施設を定期的に点検し、都度、事業化、予算化するものとする	①国営事業の償還(国営道央かんがい排水事業:平成33年まで) 2,180,482円/年 ②農地・農業用施設災害復旧事業 災害発生時に関係機関と調整を行い、都度、事業化、予算化する ③農業農村整備事業等 地域や関係機関と調整を行い、都度、事業化、予算化する ④農業用施設維持管理事業 農業用施設を定期的に点検し、都度、事業化、予算化するものとする	/	①国営事業の償還(国営道央かんがい排水事業:平成33年まで) ②農地・農業用施設災害復旧事業 災害発生時に関係機関と調整を行い、都度、事業化、予算化する ③農業農村整備事業等 地域や関係機関と調整を行い、都度、事業化、予算化する ④農業用施設維持管理事業 農業用施設を定期的に点検し、都度、事業化、予算化するものとする			
		事業費	26,507	26,507	26,507	2,181		81,702	6,543		
		財源内訳	国支出金						0	0	
			道支出金	18,244	18,244	18,244			54,732	0	
			町債						0	0	
その他						0	0				
一般財源	8,263	8,263	8,263	2,181	26,970	6,543	0				
114	【充実】 道営事業による計画的な基盤整備と、施設の維持管理を行います。	計画内容	【事業費負担金】 ①杵臼南部 事業費86,000千円～町8,600千円 ②杵臼北部 事業費90,000千円～町9,000千円 ③杵臼西部 事業費96,000千円～町9,600千円 ④南角田南部 事業費100,000千円～町10,000千円 ⑤南角田北部 事業費190,000千円～町19,000千円 ⑥継立南部 事業費100,000千円～町10,000千円 ⑦継立北部 事業費120,000千円～町12,000千円 ⑧大夕張 事業費45,000千円～町4,500千円 ⑨継立ため池 事業費30,000千円～町3,000千円	【事業費負担金】 ①杵臼南部 事業費67,000千円～町6,700千円 ②杵臼北部 事業費148,000千円～町14,800千円 ③南角田南部 事業費100,000千円～町10,000千円 ④南角田北部 事業費220,000千円～町22,000千円 ⑤継立南部 事業費80,000千円～町8,000千円 ⑥継立北部 事業費190,000千円～町19,000千円 ⑦継立ため池 事業費200,000千円～町20,000千円	【事業費負担金】 ①南角田南部 事業費70,000千円～町7,000千円 ②南角田北部 事業費220,000千円～町22,000千円 ③継立南部 事業費80,000千円～町8,000千円 ④継立北部 事業費220,000千円～町22,000千円 ⑤継立ため池 事業費159,000千円～町15,900千円	【事業費負担金】 ①南角田南部 事業費50,000千円～町5,000千円 ②南角田北部 事業費210,000千円～町21,000千円 ③継立南部 事業費60,000千円～町6,000千円 ④継立北部 事業費210,000千円～町21,000千円	/	【事業費負担金】 ①南角田南部 ②南角田北部 ③継立南部 ④継立北部			
		事業費	83,900	88,500	65,360	53,000		290,760	153,500		
		財源内訳	国支出金						0	0	
			道支出金	41,350	40,250	29,500		26,500	137,600	76,750	
			町債	42,500	48,200	35,800		26,500	153,000	76,700	
その他						0	0				
一般財源	50	50	60	0	160	50	0				
115	自然環境保全・景観形成など、農業・農村の持つ多面的な機能を守り育てます。	計画内容	①多面的機能支払事業 交付金額 農地維持 田:377,311a 畑:189,340a 交付金:105,715,530円 資源向上 田:360,564a (共同) 畑:174,274a 交付金:61,980,408円 資源向上 田:89,679a (長寿命化) 畑:51,098a 交付金:33,556,740円 交付金合計:201,252,678円 (うち町負担25%)	①多面的機能支払事業 交付金額 農地維持 田:377,311a 畑:189,340a 交付金:105,715,530円 資源向上 田:360,564a (共同) 畑:174,274a 交付金:61,980,408円 資源向上 田:89,679a (長寿命化) 畑:51,098a 交付金:33,556,740円 交付金合計:201,252,678円 (うち町負担25%)	①多面的機能支払事業 交付金額 農地維持 田:377,311a 畑:189,340a 交付金:105,715,530円 資源向上 田:360,564a (共同) 畑:174,274a 交付金:61,980,408円 資源向上 田:89,679a (長寿命化) 畑:51,098a 交付金:33,556,740円 交付金合計:201,252,678円 (うち町負担25%)	①多面的機能支払事業 交付金額 農地維持 田:377,311a 畑:189,340a 交付金:105,715,530円 資源向上 田:360,564a (共同) 畑:174,274a 交付金:61,980,408円 資源向上 田:89,679a (長寿命化) 畑:51,098a 交付金:33,556,740円 交付金合計:201,252,678円 (うち町負担25%)	/	①多面的機能支払事業			
		事業費	50,314	50,314	50,314	50,314		201,256	201,256		
		財源内訳	国支出金						0	0	
			道支出金						0	0	
			町債						0	0	
その他						0	0				
一般財源	50,314	50,314	50,314	50,314	201,256	201,256	0				

【IV. 産業】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画			
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業		
116	中山間地域等における農業生産・多面的な機能確保を支援します。	計画内容	①中山間地域等直接支払事業 交付金額 田(急傾斜) 19,688.47a×21,000円/10a =41,345,787円 田(緩傾斜) 146,387.75a×8,000円/10a =1,171,110,200円 畑(緩傾斜) 8,962.35a×3,500円/10a =3,136,822円 合計 161,592,809円	①中山間地域等直接支払事業 交付金額 田(急傾斜) 19,688.47a×21,000円/10a =41,345,787円 田(緩傾斜) 146,387.75a×8,000円/10a =1,171,110,200円 畑(緩傾斜) 8,962.35a×3,500円/10a =3,136,822円 合計 161,592,809円	①中山間地域等直接支払事業 交付金額 田(急傾斜) 19,688.47a×21,000円/10a =41,345,787円 田(緩傾斜) 146,387.75a×8,000円/10a =1,171,110,200円 畑(緩傾斜) 8,962.35a×3,500円/10a =3,136,822円 合計 161,592,809円	①中山間地域等直接支払事業 交付金額 田(急傾斜) 19,688.47a×21,000円/10a =41,345,787円 田(緩傾斜) 146,387.75a×8,000円/10a =1,171,110,200円 畑(緩傾斜) 8,962.35a×3,500円/10a =3,136,822円 合計 161,592,809円			①中山間地域等直接支払事業		
			事業費	161,593	161,593	161,593	161,593	646,372	646,372		
			財源内訳	国支出金	80,796	80,796	80,796	80,796	323,184	323,184	
				道支出金	40,398	40,398	40,398	40,398	161,592	161,592	
				町債					0	0	
				その他					0	0	
一般財源	40,399	40,399	40,399	40,399	161,596	161,596	0				
117	有害鳥獣駆除対策を推進します。	計画内容	①有害鳥獣駆除業務 エゾシカ(5,000円×300頭) アライグマ(6,000円×400頭) キツネ(7,000円×100頭) カラス(1,500円×250羽) ハト(1,200円×200羽) ②鳥獣被害実施隊の配置 2人×月2回活動×12カ月 ③熊駆除奨励 熊(20,000円×2頭) ④エゾシカ食肉加工施設に係る経費 光熱水費等 1,092,000円 浄化槽清掃等委託料 280,000円 施設管理業務委託料 1,084,800円 エゾシカ処理業務委託料 150,000円	①有害鳥獣駆除業務 エゾシカ(5,000円×300頭) アライグマ(6,000円×400頭) キツネ(7,000円×100頭) カラス(1,500円×250羽) ハト(1,200円×200羽) ②鳥獣被害実施隊の配置 2人×月2回活動×12カ月 ③熊駆除奨励 熊(20,000円×2頭) ④エゾシカ食肉加工施設に係る経費 光熱水費等 1,092,000円 浄化槽清掃等委託料 280,000円 施設管理業務委託料 723,200円 エゾシカ処理業務委託料 150,000円	①有害鳥獣駆除業務 エゾシカ(5,000円×300頭) アライグマ(6,000円×400頭) キツネ(7,000円×100頭) カラス(1,500円×250羽) ハト(1,200円×200羽) ②鳥獣被害実施隊の配置 2人×月2回活動×12カ月 ③熊駆除奨励 熊(20,000円×2頭) ④エゾシカ食肉加工施設に係る経費 光熱水費等 1,092,000円 浄化槽清掃等委託料 280,000円 施設管理業務委託料 361,600円 エゾシカ処理業務委託料 150,000円	①有害鳥獣駆除業務 エゾシカ(5,000円×300頭) アライグマ(6,000円×400頭) キツネ(7,000円×100頭) カラス(1,500円×250羽) ハト(1,200円×200羽) ②鳥獣被害実施隊の配置 2人×月2回活動×12カ月 ③熊駆除奨励 熊(20,000円×2頭) ④エゾシカ食肉加工施設に係る経費 光熱水費等 1,092,000円 浄化槽清掃等委託料 280,000円 エゾシカ処理業務委託料 150,000円		①有害鳥獣駆除業務 エゾシカ アライグマ キツネ カラス ハト ②鳥獣被害実施隊の配置 ③熊駆除奨励 ④エゾシカ食肉加工施設に係る経費 光熱水費等 浄化槽清掃等委託料 エゾシカ処理業務委託料			
			事業費	8,865	8,504	8,142	7,780	33,291	31,120		
			財源内訳	国支出金					0	0	
				道支出金	208	208	208	208	832	832	
				町債					0	0	
				その他	1,500	1,500	1,500	1,500	6,000	6,000	
一般財源	7,157	6,796	6,434	6,072	26,459	24,288	0				
118	【新規】 6次産業化の取り組みを支援します	計画内容	①(仮称)栗山町6次産業化施設等整備 支援事業補助金 2,000千円×2件=4,000千円	①(仮称)栗山町6次産業化施設等整備 支援事業補助金 2,000千円×2件=4,000千円	①(仮称)栗山町6次産業化施設等整備 支援事業補助金 2,000千円×2件=4,000千円	①(仮称)栗山町6次産業化施設等整備 支援事業補助金 2,000千円×2件=4,000千円		①(仮称)栗山町6次産業化施設等整備 支援事業補助金			
			事業費	4,000	4,000	4,000	4,000	16,000	16,000		
			財源内訳	国支出金					0	0	
				道支出金					0	0	
				町債					0	0	
				その他					0	0	
一般財源	4,000	4,000	4,000	4,000	16,000	16,000	0				
119	農山村の魅力を活かした都市農村 交流を推進します。	計画内容	①栗山町グリーン・ツーリズム推進協議会 への交付金 交付金:198,000円 ②農村景観緑肥推進事業の取組みを行った 場合に、15,000円/10aを助成 取組面積 5,000a×15,000円/10a =7,500,000円	①栗山町グリーン・ツーリズム推進協議会 への交付金 交付金:198,000円 ②農村景観緑肥推進事業の取組みを行った 場合に、15,000円/10aを助成 取組面積 5,000a×15,000円/10a =7,500,000円	①栗山町グリーン・ツーリズム推進協議会 への交付金 交付金:198,000円 ②農村景観緑肥推進事業の取組みを行った 場合に、15,000円/10aを助成 取組面積 5,000a×15,000円/10a =7,500,000円	①栗山町グリーン・ツーリズム推進協議会 への交付金 交付金:198,000円 ②農村景観緑肥推進事業の取組みを行った 場合に、15,000円/10aを助成 取組面積 5,000a×15,000円/10a =7,500,000円		①栗山町グリーン・ツーリズム推進協議会 への交付金 ②農村景観緑肥推進事業の取組みを行った 場合に、15,000円/10aを助成			
			事業費	7,698	7,698	7,698	7,698	30,792	30,792		
			財源内訳	国支出金					0	0	
				道支出金					0	0	
				町債					0	0	
				その他					0	0	
一般財源	7,698	7,698	7,698	7,698	30,792	30,792	0				

【Ⅳ. 産業】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画		
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業	
120	造林事業などにより適正な森林管理を推進します。	計画内容 ①町有林保育管理 16,769千円 【森林環境保全整備事業】 人工造林 7ha 下刈 30ha 間伐 10ha 【一般管理事業】 林道草刈等 森林国営保険 70ha ②民有林の整備支援 8,220千円 【未来につなぐ森づくり推進事業】 人工造林 30ha 【栗山町造林事業】 下刈 148ha 除間伐 15ha ③林道(林業専用道を含む)の整備 25,000千円 【森林整備加速化・林業再生事業】 林道整備(調査設計及び工事) 1,000m	①町有林保育管理 16,827千円 【森林環境保全整備事業】 人工造林 7ha 下刈 30ha 間伐 10ha 【一般管理事業】 林道草刈等 森林国営保険 75ha ②民有林の整備支援 8,438千円 【未来につなぐ森づくり推進事業】 人工造林 30ha 【栗山町造林事業】 下刈 178ha 除間伐 15ha ③林道(林業専用道を含む)の整備 25,000千円 【森林整備加速化・林業再生事業】 林道整備(調査設計及び工事) 1,000m	①町有林保育管理 16,838千円 【森林環境保全整備事業】 人工造林 7ha 下刈 30ha 間伐 10ha 【一般管理事業】 林道草刈等 森林国営保険 63ha ②民有林の整備支援 8,605千円 【未来につなぐ森づくり推進事業】 人工造林 30ha 【栗山町造林事業】 下刈 202ha 間伐 15ha ③林道(林業専用道を含む)の整備 25,000千円 【森林整備加速化・林業再生事業】 林道整備(調査設計及び工事) 1,000m	①町有林保育管理 17,045千円 【森林環境保全整備事業】 人工造林 7ha 下刈 30ha 間伐 10ha 【一般管理事業】 林道草刈等 森林国営保険 80ha ②民有林の整備支援 8,828千円 【未来につなぐ森づくり推進事業】 人工造林 30ha 【栗山町造林事業】 下刈 242ha 間伐 15ha ③林道(林業専用道を含む)の整備 25,000千円 【森林整備加速化・林業再生事業】 林道整備(調査設計及び工事) 1,000m					
			事業費	49,989	50,265	50,443	50,873	201,570	204,533	
			財源内訳	国支出金					0	0
				道支出金	38,126	38,126	38,126	38,126	152,504	152,504
				町債					0	0
				その他					0	0
一般財源	11,863	12,139	12,317	12,747	49,066	52,029	0			
121	賑わいにあふれ魅力ある商店街づくりを推進します。	計画内容 ①子育て応援事業に対する補助 500千円 ・対象者プレゼント・特典 ・パンフレット・PRポスター作成・配布等 ②商店街振興対策事業 5,707千円 ・栗夢プラザ運営費補助金 ・歩行者天国3地区統一行事 ・盆踊り事業 ・継立地区ふれあいの集い事業 ・イルミネーション整備事業 ・商店街冬期環境整備事業 ③空き店舗活用支援事業 (実績により補正対応) ・事業周知活動 認定事業者への補助 ④商店街活性化対策の検討・実施	①子育て応援事業に対する補助 500千円 ・対象者プレゼント・特典 ・パンフレット・PRポスター作成・配布等 ②商店街振興対策事業 3,707千円 ・栗夢プラザ運営費補助金 ・歩行者天国3地区統一行事 ・盆踊り事業 ・継立地区ふれあいの集い事業 ・イルミネーション整備事業 ・商店街冬期環境整備事業 ③空き店舗活用支援事業 (実績により補正対応) ・事業周知活動 認定事業者への補助 ④商店街活性化対策の検討・実施	①子育て応援事業に対する補助 500千円 ・対象者プレゼント・特典 ・パンフレット・PRポスター作成・配布等 ②商店街振興対策事業 3,707千円 ・栗夢プラザ運営費補助金 ・歩行者天国3地区統一行事 ・盆踊り事業 ・継立地区ふれあいの集い事業 ・イルミネーション整備事業 ・商店街冬期環境整備事業 ③空き店舗活用支援事業 (実績により補正対応) ・事業周知活動 認定事業者への補助 ④商店街活性化対策の検討・実施	①子育て応援事業に対する補助 500千円 ・対象者プレゼント・特典 ・パンフレット・PRポスター作成・配布等 ②商店街振興対策事業 3,707千円 ・栗夢プラザ運営費補助金 ・歩行者天国3地区統一行事 ・盆踊り事業 ・継立地区ふれあいの集い事業 ・イルミネーション整備事業 ・商店街冬期環境整備事業 ③空き店舗活用支援事業 (実績により補正対応) ・事業周知活動 認定事業者への補助 ④商店街活性化対策の検討・実施					
			事業費	6,207	6,207	4,207	4,207	20,828	16,828	
			財源内訳	国支出金					0	0
				道支出金					0	0
				町債					0	0
				その他					0	0
一般財源	6,207	6,207	4,207	4,207	20,828	16,828	0			
122	【新規】 栗山高校生を対象とした資格取得支援を行います。	計画内容 ①資格試験及び検定の受験に係る受験料の補助 50件*5000円*1/2	①資格試験及び検定の受験に係る受験料の補助 50件*5000円*1/2	①資格試験及び検定の受験に係る受験料の補助 50件*5000円*1/2	①資格試験及び検定の受験に係る受験料の補助 50件*5000円*1/2	①資格試験及び検定の受験に係る受験料の補助 50件*5000円*1/2				
			事業費	125	125	125	125	500	500	
			財源内訳	国支出金					0	0
				道支出金					0	0
				町債					0	0
				その他					0	0
一般財源	125	125	125	125	500	500	0			
123	積極的な企業誘致活動を行います。	計画内容 ①栗山町企業等誘致推進協議会交付金 1,500千円 立地条件の良さや優遇措置などを企業訪問等を通じて積極的にPRし、企業誘致を促進する。 ②新規企業の進出等に係る助成措置 (実績により補正対応) 土地取得に対する助成 雇用に対する助成 水道料金に対する助成	①栗山町企業等誘致推進協議会交付金 1,500千円 立地条件の良さや優遇措置などを企業訪問等を通じて積極的にPRし、企業誘致を促進する。 ②新規企業の進出等に係る助成措置 (実績により補正対応) 土地取得に対する助成 雇用に対する助成 水道料金に対する助成	①栗山町企業等誘致推進協議会交付金 1,500千円 立地条件の良さや優遇措置などを企業訪問等を通じて積極的にPRし、企業誘致を促進する。 ②新規企業の進出等に係る助成措置 (実績により補正対応) 土地取得に対する助成 雇用に対する助成 水道料金に対する助成	①栗山町企業等誘致推進協議会交付金 1,500千円 立地条件の良さや優遇措置などを企業訪問等を通じて積極的にPRし、企業誘致を促進する。 ②新規企業の進出等に係る助成措置 (実績により補正対応) 土地取得に対する助成 雇用に対する助成 水道料金に対する助成	①栗山町企業等誘致推進協議会交付金 1,500千円 立地条件の良さや優遇措置などを企業訪問等を通じて積極的にPRし、企業誘致を促進する。 ②新規企業の進出等に係る助成措置 (実績により補正対応) 土地取得に対する助成 雇用に対する助成 水道料金に対する助成				
			事業費	1,500	1,500	1,500	1,500	6,000	6,000	
			財源内訳	国支出金					0	0
				道支出金					0	0
				町債					0	0
				その他					0	0
一般財源	1,500	1,500	1,500	1,500	6,000	6,000	0			



【IV. 産業】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画				後期展望計画				
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業		
128	自然・農村環境を活かした体験教育プログラム等を開発し、都市圏からの交流人口を拡大します。	計画内容	①集客拡大イベント(ツアー)の企画・実施 ・広告料(役員費) @150,000円×3回(季)=450,000円 ・自然・農村体験プログラム謝礼(報償費) @2,000円×40人×3回=240,000円 ・バス借上料(札幌⇄栗山積算) @44,000円×2日×3回=264,000円 @44,000円×1日×1回=44,000円 ②子ども農山漁村交流事業 ・自然・農村体験プログラム謝礼(報償費) @2,000円×40人×5校=400,000円 ・バス借上料(札幌⇄栗山積算) @44,000円×2日×5校=440,000円×1/2 ③大学機関(研修・実習・研究等)の受入 ・自然・農村体験プログラム謝礼(報償費) @2,000円×20人×3校=120,000円 ・バス借上料(札幌⇄栗山積算) @44,000円×3日×3校=396,000円×1/2 ④能力・技術開発(研修)事業 ・アドバイザー・講師謝礼(報償費) @50,000円×4回(人)=200,000円	①集客拡大イベント(ツアー)の企画・実施 ・広告料(役員費) @150,000円×3回(季)=450,000円 ・自然・農村体験プログラム謝礼(報償費) @2,000円×40人×3回=240,000円 ・バス借上料(札幌⇄栗山積算) @44,000円×2日×3回=264,000円 @44,000円×1日×1回=44,000円 ②子ども農山漁村交流事業 ・自然・農村体験プログラム謝礼(報償費) @2,000円×40人×5校=400,000円 ・バス借上料(札幌⇄栗山積算) @44,000円×2日×5校=440,000円×1/2 ③大学機関(研修・実習・研究等)の受入 ・自然・農村体験プログラム謝礼(報償費) @2,000円×20人×3校=120,000円 ・バス借上料(札幌⇄栗山積算) @44,000円×3日×3校=396,000円×1/2 ④能力・技術開発(研修)事業 ・アドバイザー・講師謝礼(報償費) @50,000円×4回(人)=200,000円	①集客拡大イベント(ツアー)の企画・実施 ・広告料(役員費) @150,000円×3回(季)=450,000円 ・自然・農村体験プログラム謝礼(報償費) @2,000円×40人×3回=240,000円 ・バス借上料(札幌⇄栗山積算) @44,000円×2日×3回=264,000円 @44,000円×1日×1回=44,000円 ②子ども農山漁村交流事業 ・自然・農村体験プログラム謝礼(報償費) @2,000円×40人×5校=400,000円 ・バス借上料(札幌⇄栗山積算) @44,000円×2日×5校=440,000円×1/2 ③大学機関(研修・実習・研究等)の受入 ・自然・農村体験プログラム謝礼(報償費) @2,000円×20人×3校=120,000円 ・バス借上料(札幌⇄栗山積算) @44,000円×3日×3校=396,000円×1/2 ④能力・技術開発(研修)事業 ・アドバイザー・講師謝礼(報償費) @50,000円×4回(人)=200,000円	①集客拡大イベント(ツアー)の企画・実施 ・広告料(役員費) @150,000円×3回(季)=450,000円 ・自然・農村体験プログラム謝礼(報償費) @2,000円×40人×3回=240,000円 ・バス借上料(札幌⇄栗山積算) @44,000円×2日×3回=264,000円 @44,000円×1日×1回=44,000円 ②子ども農山漁村交流事業 ・自然・農村体験プログラム謝礼(報償費) @2,000円×40人×5校=400,000円 ・バス借上料(札幌⇄栗山積算) @44,000円×2日×5校=440,000円×1/2 ③大学機関(研修・実習・研究等)の受入 ・自然・農村体験プログラム謝礼(報償費) @2,000円×20人×3校=120,000円 ・バス借上料(札幌⇄栗山積算) @44,000円×3日×3校=396,000円×1/2 ④能力・技術開発(研修)事業 ・アドバイザー・講師謝礼(報償費) @50,000円×4回(人)=200,000円					
			事業費	2,136	2,136	2,136	2,136	8,544	7,744		
			財源内訳	国支出金					0	0	
				道支出金					0	0	
				町債					0	0	
				その他					0	0	
一般財源	2,136	2,136		2,136	2,136	8,544	7,744	0			
129	栗山町への移住・定住を促進します。	計画内容	①くりやま移住促進協議会交付金 1,800千円 ②宅地分譲地の造成・販売 ※ 事業費は建設水道課と協議	①くりやま移住促進協議会交付金 1,800千円 ②宅地分譲地の造成・販売 ※ 事業費は建設水道課と協議	①くりやま移住促進協議会交付金 1,800千円 ②宅地分譲地の造成・販売 ※ 事業費は建設水道課と協議	①くりやま移住促進協議会交付金 1,800千円 ②宅地分譲地の造成・販売 ※ 事業費は建設水道課と協議					
			事業費	1,800	1,800	1,800	1,800	7,200	7,200		
			財源内訳	国支出金					0	0	
				道支出金					0	0	
				町債					0	0	
				その他					0	0	
一般財源	1,800	1,800		1,800	1,800	7,200	7,200	0			
130	勤労者の福祉向上と、季節労働者の通年雇用化を推進します。	計画内容	①勤労者福祉センターの管理・運営 4,622千円 ②南空知通年雇用促進協議会負担金 100千円	①勤労者福祉センターの管理・運営 4,700千円 ②南空知通年雇用促進協議会負担金 100千円	①勤労者福祉センターの管理・運営 4,700千円 ②南空知通年雇用促進協議会負担金 100千円	①勤労者福祉センターの管理・運営 4,700千円 ②南空知通年雇用促進協議会負担金 100千円					
			事業費	4,722	4,800	4,800	4,800	19,122	19,200		
			財源内訳	国支出金					0	0	
				道支出金					0	0	
				町債					0	0	
				その他					0	0	
一般財源	4,722	4,800		4,800	4,800	19,122	19,200	0			
131	労働者の労働環境の向上を図ります。	計画内容	①労働環境に係る関係団体との情報交換(関係団体) 栗山商工会議所 栗山工業団地企業協議会 栗山地区連合会 南空知通年雇用促進協議会 等	①労働環境に係る関係団体との情報交換(関係団体) 栗山商工会議所 栗山工業団地企業協議会 栗山地区連合会 南空知通年雇用促進協議会 等 ②町内事業所及び労働者に対し、雇用状態、賃金、福利厚生等のアンケート調査を実施	①労働環境に係る関係団体との情報交換(関係団体) 栗山商工会議所 栗山工業団地企業協議会 栗山地区連合会 南空知通年雇用促進協議会 等	①労働環境に係る関係団体との情報交換(関係団体) 栗山商工会議所 栗山工業団地企業協議会 栗山地区連合会 南空知通年雇用促進協議会 等 ②町内事業所及び労働者に対し、雇用状態、賃金、福利厚生等のアンケート調査を実施					
			事業費	0	1,800	0	1,800	3,600	3,600		
			財源内訳	国支出金					0	0	
				道支出金					0	0	
				町債					0	0	
				その他					0	0	
一般財源	0	1,800		0	1,800	3,600	3,600	0			

【V. 都市基盤】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画		
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業	
132	幹線町道湯地継立線の道路改良・舗装を実施します。	計画内容	①道路改良・舗装 L=350m	①道路改良・舗装 L=340m						
		事業費	60,000	58,300	0	0	118,300	0		
		財源内訳	国支出金	39,000	37,895			76,895	0	
			道支出金					0	0	
			町債	21,000	20,400			41,400	0	
			その他					0	0	
一般財源	0	5	0	0	5	0	0			
133	幹線町道杵臼本線の道路改良・舗装を実施します。	計画内容	①道路改良・舗装 L=200m	①道路改良・舗装 L=215m	①道路改良・舗装 L=120m ②調査設計・用地確定測量 L=1,400m ③用地買収 A=2,800m <sup>2</sup>	①道路改良・舗装 L=300m			①道路改良・舗装 L=980m	
		事業費	35,000	38,000	50,000	65,000	188,000	212,000		
		財源内訳	国支出金	22,750	24,700	32,500	42,250	122,200	137,800	
			道支出金					0	0	
			町債	12,200	13,300	17,500	22,700	65,700	74,100	
			その他					0	0	
一般財源	50	0	0	50	100	100	0			
134	老朽化した橋梁の点検・修繕を計画的に行います。	計画内容	①橋梁補修 1橋 ②点検 60橋	①橋梁補修 3橋	①橋梁補修 1橋	①橋梁補修 1橋 ②点検 7橋			①橋梁補修 12橋 ②点検 97橋 ③修繕計画 104橋	
		事業費	21,700	20,800	25,700	18,900	87,100	71,800		
		財源内訳	国支出金	14,105	13,520	16,705	12,285	56,615	46,670	
			道支出金					0	0	
			町債	7,500	7,200	8,900	6,600	30,200	25,000	
			その他					0	0	
一般財源	95	80	95	15	285	130	0			
135	【充実】 町道の舗装や側溝改修など、道路環境の維持・向上を図ります。	計画内容	①町道補修工事 4,000千円 ②町道改良工事 20,000千円 ③栗山由仁線植栽工事 5,000千円	①町道補修工事 4,000千円 ②町道改良工事 20,000千円 ③区画線標示工事 4,000千円 ④栗山由仁線植栽工事 5,000千円	①町道補修工事 4,000千円 ②町道改良工事 20,000千円 ③栗山由仁線植栽工事 5,000千円	①町道補修工事 4,000千円 ②町道改良工事 20,000千円 ③区画線工事 4,000千円			①町道補修工事 ②区画線工事	
		事業費	29,000	33,000	29,000	28,000	119,000	24,000		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	29,000	33,000	29,000	28,000	119,000	24,000	0			

【V. 都市基盤】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画			
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業		
136	町道の総点検を行い、修繕計画の策定・管理を行います。	計画内容	①修繕計画に基づく道路ストックの修繕	①修繕計画に基づく道路ストックの修繕	①修繕計画に基づく道路ストックの修繕	①修繕計画に基づく道路ストックの修繕		①修繕計画に基づく道路ストックの修繕			
		事業費	0	0	0	0		0	0	0	
		財源内訳	国支出金						0	0	0
			道支出金						0	0	0
			町債						0	0	0
			その他						0	0	0
一般財源	0		0	0	0	0	0	0			
137	除雪用重機を計画的に更新します。	計画内容	①除雪ドーザ 1台		②歩道除雪ロータリー 1台				■歩道除雪ロータリー 2台 ■小型歩道除雪ロータリー 1台 ■除雪グレーダー 1台 ■除雪ドーザ 1台		
		事業費	26,700	0	18,000	0		44,700	0	0	
		財源内訳	国支出金	17,800		12,000			29,800	0	0
			道支出金			0			0	0	0
			町債	8,400		5,700			14,100	0	0
			その他						0	0	0
一般財源	500		0	300	0	800	0	0			
138	【充実】 地域間(都市間)交通の確保と利便性の向上を図ります。	計画内容	①民間バス路線維持事業 1,936千円 三川線 951千円 長岩線①513千円 長岩線②472千円	①民間バス路線維持事業 1,936千円 三川線 951千円 長岩線①513千円 長岩線②472千円	①民間バス路線維持事業 1,936千円 三川線 951千円 長岩線①513千円 長岩線②472千円	①民間バス路線維持事業 1,936千円 三川線 951千円 長岩線①513千円 長岩線②472千円		①民間バス路線維持事業 三川線 長岩線			
		事業費	1,936	1,936	1,936	1,936		7,744	7,744	0	
		財源内訳	国支出金						0	0	0
			道支出金						0	0	0
			町債						0	0	0
			その他						0	0	0
一般財源	1,936		1,936	1,936	1,936	7,744	7,744	0			
139	【充実】 町営バスの充実を図り、交通弱者の移動手段を確保します。	計画内容	①スクールバス(29人乗り) 1台		①スクールバス(中型45人乗り) 1台				■町営バス(29人乗り) 1台 ■スクールバス(中型45人乗り) 1台 ■スクールバス(29人乗り) 1台		
		事業費	7,500	0	19,000	0		26,500	0	0	
		財源内訳	国支出金						0	0	0
			道支出金	2,500		2,500			5,000	0	0
			町債	4,700		15,600			20,300	0	0
			その他						0	0	0
一般財源	300		0	900	0	1,200	0	0			

【V. 都市基盤】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画		
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業	
140	【新規】 買い物弱者等の高齢社会の課題に対応できる交通システムを確立します。	計画内容	①運行計画の策定 ②内部検討委員会の開催 ③関係団体等による研究会の開催 謝礼@3,000×10人×5回 ④バス停留所設置 @100千円×10基 ⑤町民説明会 ⑥車両リース 200千円×12ヶ月×1.08 =2,592千円 ⑦運転者 288日×12,000円=3,456千円	①バス購入(29人乗り)1台 17,000千円 ②車庫新築 @5,000千円 ③町民説明会 ④車両リース 200千円×12ヶ月×1.08 =2,592千円 ⑤運転者 288日×12,000円=3,456千円	①年間運行経費 5,000千円 路線延長 L=8.0km 平日~10便×236日 土曜~ 6便×52日	①年間運行経費 5,000千円 路線延長 L=8.0km 平日~10便×236日 土曜~ 6便×52日		①年間運行経費 路線延長 L=8.0km 平日~10便×236日 土曜~ 6便×52日		
		事業費	7,198	28,048	5,000	5,000	45,246	20,000		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債		17,000			17,000	0	
			その他					0	0	
一般財源	7,198	11,048	5,000	5,000	28,246	20,000	0			
141	【充実】 公営住宅の整備・改修を行います。	計画内容	①曙団地建設 2棟16戸 ②既存住宅解体 ③外構整備 ④設計・監理 ⑤移転補償 ⑥中里団地浴室防水改修	①曙団地建設 2棟16戸 ②既存住宅解体 ③外構整備 ④設計・監理 ⑤移転補償 ⑥中里団地浴室防水改修 ⑦継立団地屋根塗装	①曙団地建設 2棟16戸 ②既存住宅解体 ③外構整備 ④設計・監理 ⑤移転補償 ⑥継立団地浴室防水改修	①曙団地建設 2棟16戸 ②既存住宅解体 ③外構整備 ④設計・監理 ⑤移転補償 ⑥松風団地浴室防水改修 ⑦角田団地屋根塗装		①曙団地建設 1棟8戸 ②中央団地建設 4棟32戸 ③継立団地建設 2棟16戸 ④中里団地建設 2棟16戸 ⑤既存住宅解体 ⑥外構整備 ⑦設計・監理 ⑧移転補償 ⑨松風団地浴室防水改修 ⑩集会所建設		
		事業費	375,000	354,000	356,000	350,000	1,435,000	1,631,000		
		財源内訳	国支出金	168,750	159,300	160,200	157,500	645,750	733,950	
			道支出金					0	0	
			町債	185,600	175,200	176,200	173,200	710,200	807,200	
			その他					0	0	
一般財源	20,650	19,500	19,600	19,300	79,050	89,850	0			
142	住宅団地の造成を行います。	計画内容	①朝日住宅団地第4期造成 宅地造成工事 A=7,500㎡ 17区画 36,000千円 (※下水道工事含む。) 水道工事 3,400千円 下水道負担金 3,200千円 販売促進費 1,000千円						■次期住宅団地造成	
		事業費	43,600	0	0	0	43,600	0		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債	42,600				42,600	0	
			その他					0	0	
一般財源	1,000	0	0	0	1,000	0	0			
143	【新規】 若者・子育て世代が移住しやすい環境を整備します。	計画内容	①新築住宅取得費用助成 7,000千円 ②中古住宅取得費用助成 600千円 ③中古住宅物件リフォーム助成 600千円 ④移住促進家賃助成 ⑤移住促進に向けた情報発信 756千円	①新築住宅取得費用助成 7,000千円 ②中古住宅取得費用助成 600千円 ③中古住宅物件リフォーム助成 600千円 ④移住促進家賃助成 8,070千円 ⑤移住促進に向けた情報発信	①新築住宅取得費用助成 7,000千円 ②中古住宅取得費用助成 600千円 ③中古住宅物件リフォーム助成 600千円 ④移住促進家賃助成 14,690千円 ⑤移住促進に向けた情報発信	①新築住宅取得費用助成 7,000千円 ②中古住宅取得費用助成 600千円 ③中古住宅物件リフォーム助成 600千円 ④移住促進家賃助成 18,370千円 ⑤移住促進に向けた情報発信		①移住促進家賃助成 ②移住促進に向けた情報発信	■若者・子育て世代向け町営住宅整備検討	
		事業費	8,956	16,270	22,890	26,570	74,686	29,420		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	8,956	16,270	22,890	26,570	74,686	29,420	0			

【V. 都市基盤】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画		
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業	
144	生活環境の保全と防犯のため、空き家対策に取り組みます。	計画内容	①空き家住宅等安全対策事業 1件	①空き家住宅等安全対策事業 1件	①空き家住宅等安全対策事業 1件	①空き家住宅等安全対策事業 1件		①空き家住宅等安全対策事業		
		事業費	3,500	3,500	3,500	3,500	14,000	14,000		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	3,500	3,500	3,500	3,500	14,000	14,000	0			
145	「人にやさしい住宅助成事業」を実施し、住宅の居住性や住環境の向上を図ります。	計画内容	①バリアフリー改修工事助成金の交付 300千円*4件+200千円*2件+100千円*4件=2,000千円 ②解体工事助成金の交付 200千円*10件+100千円*15件=3,500千円 ③耐震改修工事助成金の交付 500千円*1件=500千円	①バリアフリー改修工事助成金の交付 300千円*4件+200千円*2件+100千円*4件=2,000千円 ②解体工事助成金の交付 200千円*10件+100千円*15件=3,500千円 ③耐震改修工事助成金の交付 500千円*1件=500千円	①バリアフリー改修工事助成金の交付 300千円*4件+200千円*2件+100千円*4件=2,000千円 ②解体工事助成金の交付 200千円*10件+100千円*15件=3,500千円 ③耐震改修工事助成金の交付 500千円*1件=500千円	①バリアフリー改修工事助成金の交付 300千円*4件+200千円*2件+100千円*4件=2,000千円 ②解体工事助成金の交付 200千円*10件+100千円*15件=3,500千円 ③耐震改修工事助成金の交付 500千円*1件=500千円		①バリアフリー改修工事助成金の交付 ②解体工事助成金の交付 ③耐震改修工事助成金の交付		
		事業費	6,000	6,000	6,000	6,000	24,000	24,000		
		財源内訳	国支出金	3,000	3,000	3,000	3,000	12,000	12,000	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	3,000	3,000	3,000	3,000	12,000	12,000	0			
146	老朽化した水道管を計画的に更新します。	計画内容	①老朽管更新事業:3,240m	①老朽管更新事業:2,830m	①老朽管更新事業:3,090m	①老朽管更新事業:3,000m		①老朽管更新事業:12,000m		
		事業費	100,230	92,640	101,970	100,000	394,840	400,000		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債	95,200	88,000	96,800	95,000	375,000	380,000	
			その他					0	0	
一般財源	5,030	4,640	5,170	5,000	19,840	20,000	0			
147	水道施設の老朽化した設備を計画的に更新します。	計画内容	①桜山浄水場のフロキュレーター及びポンプ等の更新	①ろ過池装置及び円山送水ポンプ場の機器の更新	①桜山浄水場の検水ポンプ類の更新及び滝下送水ポンプ場のポンプ等の更新	①桜山浄水場の汚泥掻き機及び桜山導水ポンプ場の流量計等の更新		①桜山浄水場の汚泥掻き機の更新 ②機器更新		
		事業費	56,519	52,171	42,952	48,400	200,042	136,533		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	56,519	52,171	42,952	48,400	200,042	136,533	0			

【V. 都市基盤】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画		
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業	
148	老朽化した下水道施設を計画的に更新します。	計画内容	①機器更新 ②水処理設備・付帯設備・電気計装設備	①機器更新 ②汚泥処理設備・電気計装設備	①機器更新 ②水処理設備・付帯設備・電気計装設備	①機器更新 ②沈砂池設備・水処理設備・付帯設備・電気計装設備		①機器更新 ②ポンプ設備・汚水処理設備・付帯設備・電気計装設備 ③水処理設備・沈砂池設備		
		事業費	37,000	118,500	106,500	118,500	380,500	431,000		
		財源内訳	国支出金	20,350	65,175	58,575	62,475	206,575	229,675	
			道支出金					0	0	
			町債	16,600	53,300	47,900	56,000	173,800	201,200	
			その他					0	0	
一般財源	50	25	25	25	125	125	0			
149	継立地区農業集落排水施設を公共下水道に統合します。	計画内容	①汚水管幹線整備 L=2,600m							
		事業費	256,000	0	0	0	256,000	0		
		財源内訳	国支出金	128,000				128,000	0	
			道支出金					0	0	
			町債	115,200				115,200	0	
			その他					0	0	
一般財源	12,800	0	0	0	12,800	0	0			
150	【充実】 合併処理浄化槽の整備制度を改正します(町管理への移行)。	計画内容	①合併処理浄化槽設置費補助金 8,250千円 ②合併処理浄化槽維持管理費補助金 800千円 ③市町村設置型合併浄化槽制度検討 1)制度概要検討(先進地視察等) 2)個人設置者・維持管理業者の意向アンケート調査 3)浄化槽の譲渡前状態調査	①合併処理浄化槽設置費補助金 8,250千円 ②合併処理浄化槽維持管理費補助金 800千円 ③市町村設置型合併浄化槽制度移行 1)制度概要検討・決定 2)設置者に説明会開催及び譲渡契約 3)条例制定作業 4)企業会計準備	①市町村設置型合併浄化槽制度開始 1)維持管理業者との維持管理委託契約 (394基×65,000円)=25,610千円 2)指定検査機関との検査委託契約(11条検査) (394基×8,000円)=3,152千円 3)指定検査機関との検査委託契約(7条検査) (10基×13,000円)=130千円 4)浄化槽設置費 (5人槽1,000千円×5基) (7人槽1,300千円×5基)=11,500千円 5)浄化槽修繕費 1,500千円 6)汚水処理費の賦課徴収(歳入) 7)自己負担金徴収(歳入)	①市町村設置型合併浄化槽 1)維持管理業者との維持管理委託契約 (404基×65,000円)=26,260千円 2)指定検査機関との検査委託契約(11条検査) (404基×8,000円)=3,232千円 3)指定検査機関との検査委託契約(7条検査) (10基×13,000円)=130千円 4)浄化槽設置費 (5人槽1,000千円×5基) (7人槽1,300千円×5基)=11,500千円 5)浄化槽修繕費 1,500千円 6)汚水処理費の賦課徴収(歳入) 7)自己負担金徴収(歳入)		①市町村設置型合併浄化槽 1)維持管理業者との維持管理委託契約 (11条検査) 2)指定検査機関との検査委託契約(7条検査) 3)指定検査機関との検査委託契約(7条検査) 4)浄化槽設置費 5)浄化槽修繕費 6)汚水処理費の賦課徴収(歳入) 7)自己負担金徴収(歳入)		
		事業費	9,050	9,050	41,892	42,622	102,614	177,788		
		財源内訳	国支出金	1,321	1,321	3,310	3,310	9,262	13,240	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他			26,991	27,577	54,568	116,168	
一般財源	7,729	7,729	11,591	11,735	38,784	48,380	0			
151	河川環境の改善・水害防止に努めるとともに、自然河川づくりを推進します。	計画内容	①河川浚渫・立木伐採等 1,500千円 ②ハサンベツ川支流整備 8,000千円 ③円山地区排水路改修 L=100m 10,000千円 ④国や道管理河川の適正な維持管理要望	①河川浚渫・立木伐採等 1,500千円 ②円山地区排水路改修 L=100m 10,000千円 ③国や道管理河川の適正な維持管理要望	①河川浚渫・立木伐採等 1,500千円 ②円山地区排水路改修 L=50m 5,000千円 ③国や道管理河川の適正な維持管理要望	①河川浚渫・立木伐採等 1,500千円 ②国や道管理河川の適正な維持管理要望		①河川浚渫・立木伐採等 ②国や道管理河川の適正な維持管理要望		
		事業費	19,500	11,500	6,500	1,500	39,000	6,000		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	19,500	11,500	6,500	1,500	39,000	6,000	0			

【V. 都市基盤】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画		
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業	
152	【展望】 新町地区の再開発整備要望に取り組みます。	計画内容				①都市再生整備計画策定			<ul style="list-style-type: none"> <li>■町営住宅建設(※地域優良賃貸住宅制度活用)</li> <li>■街路整備事業に合わせた街なみ整備(※都市再生整備事業)</li> <li>■区画道路の拡幅整備</li> </ul>	
		事業費	0	0	0	2,500	2,500	0		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	0	0	0	2,500	2,500	0	0			
153	【展望】 馬追橋の早期架換え要望と、歴史的建造物を活かした錦地区の街並みづくりを検討します。	計画内容							<ul style="list-style-type: none"> <li>■錦地区の幹線道路(駅裏西口～夕張川河畔広場)</li> <li>■馬追橋架換えにあわせて小林酒造レンガ倉庫群周辺の遊歩道の整備</li> </ul>	
		事業費	0	0	0	0	0	0		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	0	0	0	0	0	0	0			
154	【新規】 南部公民館の利便向上に向けた、敷地内の整備を行います。	計画内容	①南部公民館敷地内の利用計画を作成・道路及び出入口 調査設計費 1,100千円	①南部公民館敷地内の整備・道路及び出入口 工事費 20,000千円	①南部公民館敷地内の整備・芝生整備(学童保育・保育所運動会使用) 面積1,800㎡×@3,000円=5,400千円	①南部公民館敷地内の整備・駐車場拡大 30台 面積800㎡×@11,000円=8,800千円				
		事業費	1,100	20,000	5,400	8,800	35,300	0		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債		15,000	4,000	6,600	25,600	0	
			その他					0	0	
一般財源	1,100	5,000	1,400	2,200	9,700	0	0			
155	【展望】 継立中学校跡地の活用を含めた南部地域振興策を検討します。	計画内容	①継立中学校の跡地活用策の検討 ②道道夕張長沼線の未開通区間の早期開通に向けた北海道要望 ③町道南学田線を延伸し、由仁町との広域道路網の整備に向けた北海道要望	①道道夕張長沼線の未開通区間の早期開通に向けた北海道要望 ②町道南学田線を延伸し、由仁町との広域道路網の整備に向けた北海道要望	①道道夕張長沼線の未開通区間の早期開通に向けた北海道要望 ②町道南学田線を延伸し、由仁町との広域道路網の整備に向けた北海道要望	①道道夕張長沼線の未開通区間の早期開通に向けた北海道要望 ②町道南学田線を延伸し、由仁町との広域道路網の整備に向けた北海道要望			<ul style="list-style-type: none"> <li>■継立市街地と継立中学校跡地を結ぶ幹線道路整備</li> <li>■分譲住宅地造成</li> </ul>	
		事業費	0	0	0	0	0	0		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	0	0	0	0	0	0	0			

【V. 都市基盤】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画		
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業	
156	【新規】 農村環境改善センターの利便性向上に向けた周辺整備を行います。	計画内容	①環境改善センター駐車場増設 用地購入費 A=300㎡ 1,900千円 駐車場整備 25,000千円							
		事業費	26,900	0	0	0	26,900	0	0	
		財源内訳	国支出金	0				0	0	0
			道支出金					0	0	0
			町債	20,100				20,100	0	0
			その他					0	0	0
一般財源	6,800	0	0	0	6,800	0	0			
157	【新規】 国道234号線の整備要望と、角田地域振興策を検討します。	計画内容	①環状地建替え(※公営住宅整備に掲載) ②国道234号線の国への整備要望 ③新工業団地造成 調査設計費・用地費 71,600千円 ④跨線橋切下げ後の工業団地と国道を結ぶ幹線道路整備 調査設計費・用地費 20,400千円	①環状地建替え(※公営住宅整備に掲載) ②国道234号線の国への整備要望 ③新工業団地造成 造成費 164,300千円	①環状地建替え(※公営住宅整備に掲載) ②国道234号線の国への整備要望 ③跨線橋切下げ後の工業団地と国道を結ぶ幹線道路整備(幹線) 111,600千円	①環状地建替え(※公営住宅整備に掲載) ②国道234号線の国への整備要望 ③跨線橋切下げ後の工業団地と国道を結ぶ幹線道路整備(枝線) 86,400千円		①環状地建替え(※公営住宅整備に掲載) ②国道234号線幅・バイパスにあわせた町道整備 ③住宅団地造成の検討	■国道234号幅・バイパスにあわせた町道整備 ■住宅団地造成	
		事業費	92,000	164,300	111,600	86,400	454,300	0	0	
		財源内訳	国支出金			72,500	56,100	128,600	0	0
			道支出金					0	0	0
			町債	92,000	164,300	39,100	30,300	325,700	0	0
			その他					0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	0	0			
158	【新規】 栗山駅南側の機能性を高める道路・駐車場整備を行います。	計画内容	①栗山駅南側の周辺土地活用計画の作成 ・用地購入費 面積 6,348㎡ ・建物解体費 計 35,000千円 ※財源: 土地開発基金	①栗山駅南側の周辺土地整備 ・道路整備 (延長100m 幅5.5m+両歩道3.0m) 調査設計11千円/㎡×100m=1,100千円	①栗山駅南側の周辺土地整備 ・道路整備 (延長100m 幅5.5m+両歩道3.0m) 工事費 250千円/㎡×100m=25,000千円 ・駐車場整備 @11千円/㎡×1,200㎡=13,200千円	①栗山駅南側の周辺土地活用				
		事業費	35,000	1,100	38,200	0	74,300	0	0	
		財源内訳	国支出金					0	0	0
			道支出金					0	0	0
			町債		900	35,700		36,600	0	0
			その他	35,000				35,000	0	0
一般財源	0	200	2,500	0	2,700	0	0			
159	【展望】 まちの将来像を見すえた栗山市街地の整備を検討します。	計画内容	①字名改正と5丁目構想の検討	①字名改正と5丁目構想の検討	①字名改正と5丁目構想の検討	①南大通りを延伸し、長沼町への広域道路網整備に向けた北海道要望 ②大通り街路整備に係る調査(延長 850m) ・調査費 4,500千円 ③字名改正と5丁目構想の検討		①南大通りを延伸し、長沼町への広域道路網整備に向けた北海道要望 ②大通り街路整備の検討 ③字名改正と5丁目構想の検討		
		事業費	0	0	0	4,500	4,500	0	0	
		財源内訳	国支出金					0	0	0
			道支出金					0	0	0
			町債					0	0	0
			その他					0	0	0
一般財源	0	0	0	4,500	4,500	0	0			

【V. 都市基盤】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画			
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業		
160	景観資源の保全・活用を図ります。	計画内容	①栗山町景観計画に基づく届出の受理、審査 ②景観審議会の開催2回 ③広報・ホームページ・町内会回覧等による周知 ・写真コンテスト事業	①栗山町景観計画に基づく届出の受理、審査 ②景観審議会の開催2回 ③広報・ホームページ・町内会回覧等による周知	①栗山町景観計画に基づく届出の受理、審査 ②景観審議会の開催2回 ③広報・ホームページ・町内会回覧等による周知	①栗山町景観計画に基づく届出の受理、審査 ②景観審議会の開催2回 ③広報・ホームページ・町内会回覧等による周知	/	①栗山町景観計画に基づく届出の受理、審査 ②景観審議会の開催2回 ③広報・ホームページ・町内会回覧等による周知			
		事業費	286	86	86	86		544	344		
		財源内訳	国支出金						0	0	
			道支出金						0	0	
			町債						0	0	
			その他						0	0	
一般財源	286		86	86	86	544	344	0			
161	老朽化した公園施設の安全確保のため、計画的に修繕・更新を行います。	計画内容	①公園施設長寿命化計画に基づく、公園施設の修繕及び改築・更新 改築・更新 21箇所 修繕 7箇所	①公園施設長寿命化計画に基づく、公園施設の修繕及び改築・更新 改築・更新 16箇所 修繕 7箇所	①公園施設長寿命化計画に基づく、公園施設の修繕及び改築・更新 改築・更新 11箇所 修繕 7箇所	①公園施設長寿命化計画に基づく、公園施設の修繕及び改築・更新 改築・更新 1箇所	/	①公園施設長寿命化計画に基づく、公園施設の修繕及び改築・更新 改築・更新 23箇所 修繕 59箇所			
		事業費	12,840	9,890	9,330	12,390		44,450	34,920		
		財源内訳	国支出金	6,315	4,840	4,500		6,195	21,850	16,515	
			道支出金						0	0	
			町債	6,300	4,800	4,500		6,100	21,700	16,300	
			その他						0	0	
一般財源	225		250	330	95	900	2,105	0			
162	【新規】 御大師山周辺(栗山公園等)の散策路・施設等の計画的な改修・整備を進めます。	計画内容	①御大師山周辺環境整備事業計画の検討 ・公園周辺図面作成 ・内部検討会議の開催(各課連携) ・指定管理者等との協議 ・事業計画の決定	①散策路修繕・順路看板設置 ・散策路修繕 @1,000千円 ・順路看板設置 @100千円×10カ所=1,000千円 ②展望デッキ等整備 ・既存展望台撤去 @15,000千円 *一般単独事業債活用(充当率75%、交付税措置なし)	①散策路修繕・順路看板設置 ・散策路修繕 @1,000千円 ②展望デッキ等整備 ・新規展望デッキ(1基) 本体・組立費 @9,700千円×1基 基礎工事 @2,000千円 足場等 @300千円 ・園路付設 @3,000千円 ・パーゴラ設置 @5,500千円×1基	①散策路修繕・順路看板設置 ・散策路修繕 @1,000千円 ②御大師山周辺総合案内看板設置 @1,000千円×1基	/	①散策路修繕・順路看板設置 ・散策路修繕 ②展望デッキ等整備 ・小規模木製デッキ設置(1基)			
		事業費	0	17,000	21,500	2,000		40,500	7,000		
		財源内訳	国支出金			10,250			10,250	1,500	
			道支出金						0	0	
			町債		11,200	10,200			21,400	1,500	
			その他						0	0	
一般財源	0		5,800	1,050	2,000	8,850	4,000	0			
163	【新規】 御大師山周辺ガイドブックを作成し、散策路・周辺施設の利活用を促進します。	計画内容	①御大師山環境調査事業 ・内部検討会議の開催 ・民間団体との検討会議の開催 ・民間団体への調査依頼(謝礼) @5,000円×2人×10日=100,000円 ・指定管理者等との協議 ・散策ルートの設定	①御大師山環境調査事業 ・内部検討会議の開催 ・民間団体との検討会議の開催 ・指定管理者等との協議 ・散策ルートの設定 ②御大師山周辺ガイドブック作成 周辺マップデザイン委託(A3版1枚) @150,000円	①御大師山周辺ガイドブック作成(A4・8ページ・カラー) ・デザイン委託料 @260,000円 ・印刷製本費(1万部)@360,000円		/	①御大師山周辺ガイドブック改訂			
		事業費	100	150	610	0		860	610		
		財源内訳	国支出金						0	0	
			道支出金						0	0	
			町債						0	0	
			その他						0	0	
一般財源	100		150	610	0	860	610	0			

【VI. 地域経営】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画			
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業		
164	まちづくり協議会などの地域活動を支援します。	計画内容	①まちづくり地域交付金の交付(13協議会) 260,000円×13協議会=3,380,000円 福祉等その他事業交付金 13協議会=940,000円	①まちづくり地域交付金の交付(13協議会) 260,000円×13協議会=3,380,000円 福祉等その他事業交付金 13協議会=940,000円	①まちづくり地域交付金の交付(13協議会) 260,000円×13協議会=3,380,000円 福祉等その他事業交付金 13協議会=940,000円	①まちづくり地域交付金の交付(13協議会) 260,000円×13協議会=3,380,000円 福祉等その他事業交付金 13協議会=940,000円	/	①まちづくり地域交付金の交付(13協議会) 福祉等その他事業交付金 ②地域支援職員の配置 13協議会 98人 ③栗山町まちづくり連絡協議会(仮称)の運営 ④地域集会所施設建設補助			
			事業費	4,320	4,320	4,320		4,320		17,280	17,280
		財源内訳	国支出金							0	0
			道支出金							0	0
			町債							0	0
			その他							0	0
一般財源	4,320	4,320	4,320	4,320	17,280	17,280	0				
165	NPO法人などの公益活動に対する支援を充実します。	計画内容	①設立相談 ・認証手続、登記必要書類等に関する相談窓口の設置 ・認証手続窓口の設置 ②報告受理事務 ・年度末の事業報告や定款変更などの事務対応 ③活動支援 ・国や道、各公益法人等の所管する助成制度の紹介 ・融資制度の紹介(北海道NPOバンクなど) ・他団体との連携事業にともなう仲介 ・町条例指定制度活用に向けたPRの推進 ・研修事業の開催 ・NPOのネットワーク化に向けた検討 ④財政的支援 ・補助制度→絆まちづくり1%提案システム(案)の創設及び周知	①設立相談 ・認証手続、登記必要書類等に関する相談窓口の設置 ・認証手続窓口の設置 ②報告受理事務 ・年度末の事業報告や定款変更などの事務対応 ③活動支援 ・国や道、各公益法人等の所管する助成制度の紹介 ・融資制度の紹介(北海道NPOバンクなど) ・他団体との連携事業にともなう仲介 ・町条例指定制度活用に向けたPRの推進 ・研修事業の開催 ・NPOのネットワーク化に向けた検討 ④財政的支援 ・補助制度→絆まちづくり1%提案システム(案)の活用促進	①設立相談 ・認証手続、登記必要書類等に関する相談窓口の設置 ・認証手続窓口の設置 ②報告受理事務 ・年度末の事業報告や定款変更などの事務対応 ③活動支援 ・国や道、各公益法人等の所管する助成制度の紹介 ・融資制度の紹介(北海道NPOバンクなど) ・他団体との連携事業にともなう仲介 ・町条例指定制度活用に向けたPRの推進 ・研修事業の開催 ・NPOのネットワーク化に向けた検討 ④財政的支援 ・補助制度→絆まちづくり1%提案システム(案)の活用促進	①設立相談 ・認証手続、登記必要書類等に関する相談窓口の設置 ・認証手続窓口の設置 ②報告受理事務 ・年度末の事業報告や定款変更などの事務対応 ③活動支援 ・国や道、各公益法人等の所管する助成制度の紹介 ・融資制度の紹介(北海道NPOバンクなど) ・他団体との連携事業にともなう仲介 ・町条例指定制度活用に向けたPRの推進 ・研修事業の開催 ・NPOのネットワーク化に向けた検討 ④財政的支援 ・補助制度→絆まちづくり1%提案システム(案)の活用促進	/	①設立相談 ・認証手続、登記必要書類等に関する相談窓口の設置 ・認証手続窓口の設置 ②報告受理事務 ・年度末の事業報告や定款変更などの事務対応 ③活動支援 ・国や道、各公益法人等の所管する助成制度の紹介 ・融資制度の紹介(北海道NPOバンクなど) ・他団体との連携事業にともなう仲介 ・町条例指定制度活用に向けたPRの推進 ・研修事業の開催 ・NPOのネットワーク化に向けた検討 ④財政的支援 ・補助制度→絆まちづくり1%提案システム(案)の活用促進			
			事業費	0	0	0		0		0	0
		財源内訳	国支出金							0	0
			道支出金							0	0
			町債							0	0
			その他							0	0
一般財源	0	0	0	0	0	0	0				
166	協定大学と連携し、コミュニティ活動への情報・学術等の支援を行います。	計画内容	【計画的な事業の推進】 連携事業運用の手引きに基づく事業の実施 ・大学窓口、担当課との連携強化 ・計画書の作成と配付 ・講座事業リストの作成、事業の周知 【事業内容】 ①学生交流事業の推進 ・社会実習、ゼミ研修等の受入 ・ボランティア制度導入の検討 ②大学講座事業の推進 ・出前講座事業の実施 →協定大学の協力により、講座リストを作成し、まちづくり協議会やNPOなど地域での活用を促す ●講座事業@25,000円×8回	【計画的な事業の推進】 連携事業運用の手引きに基づく事業の実施 ・大学窓口、担当課との連携強化 ・計画書の作成と配付 ・講座事業リストの作成、事業の周知 【事業内容】 ①学生交流事業の推進 ・社会実習、ゼミ研修等の受入 ・ボランティア制度導入の検討 ②大学講座事業の推進 ・出前講座事業の実施 →協定大学の協力により、講座リストを作成し、まちづくり協議会やNPOなど地域での活用を促す ●講座事業@25,000円×8回	【計画的な事業の推進】 連携事業運用の手引きに基づく事業の実施 ・大学窓口、担当課との連携強化 ・計画書の作成と配付 ・講座事業リストの作成、事業の周知 【事業内容】 ①学生交流事業の推進 ・社会実習、ゼミ研修等の受入 ・ボランティア制度導入の検討 ②大学講座事業の推進 ・出前講座事業の実施 →協定大学の協力により、講座リストを作成し、まちづくり協議会やNPOなど地域での活用を促す ●講座事業@25,000円×8回	【計画的な事業の推進】 連携事業運用の手引きに基づく事業の実施 ・大学窓口、担当課との連携強化 ・計画書の作成と配付 ・講座事業リストの作成、事業の周知 【事業内容】 ①学生交流事業の推進 ・社会実習、ゼミ研修等の受入 ・ボランティア制度導入の検討 ②大学講座事業の推進 ・出前講座事業の実施 →協定大学の協力により、講座リストを作成し、まちづくり協議会やNPOなど地域での活用を促す ●講座事業@25,000円×8回	/	【計画的な事業の推進】 連携事業運用の手引きに基づく事業の実施 ・大学窓口、担当課との連携強化 ・計画書の作成と配付 ・講座事業リストの作成、事業の周知 【事業内容】 ①学生交流事業の推進 ・社会実習、ゼミ研修等の受入 ・ボランティア制度導入の検討 ②大学講座事業の推進 ・出前講座事業の実施 →協定大学の協力により、講座リストを作成し、まちづくり協議会やNPOなど地域での活用を促す。 ●講座事業			
			事業費	200	200	200		200		800	800
		財源内訳	国支出金							0	0
			道支出金							0	0
			町債							0	0
			その他							0	0
一般財源	200	200	200	200	800	800	0				
167	【新規】 町民団体が連携・協力する地域活性化・賑わい創出活動を支援します。	計画内容	①「絆まちづくり1%提案システム」要綱制定 制度の検討(パブリックコメント) ・制度施行(9月) ・*補助金は28年度から適用 ・事業周知(10月~11月) ・説明会の開催・町広報・ホームページ ・新年度募集 ・事業提案募集(1月) ・審査会実施(2月) ・対象事業決定	①「絆まちづくり1%提案システム」 ・補助金交付(4月) ・追加募集(予備) ・事業提案募集(5月) ・審査会実施(6月) ・対象事業決定・補助金交付(7月) ・進捗状況の公表(ホームページ等) ・実績報告書受理 ・実績報告書受理 ・事業成果発表会(全事業終了後) ・結果公表(ホームページ等) ・新年度募集 ・事業提案募集(1月) ・審査会実施(2月) ・対象事業決定 ●補助金 @500,000円×8件	①「絆まちづくり1%提案システム」 ・補助金交付(4月) ・追加募集(予備) ・事業提案募集(5月) ・審査会実施(6月) ・対象事業決定・補助金交付(7月) ・進捗状況の公表(ホームページ等) ・実績報告書受理 ・実績報告書受理 ・事業成果発表会(全事業終了後) ・結果公表(ホームページ等) ・新年度募集 ・事業提案募集(1月) ・審査会実施(2月) ・対象事業決定 ●補助金 @500,000円×8件	①「絆まちづくり1%提案システム」 ・補助金交付(4月) ・追加募集(予備) ・事業提案募集(5月) ・審査会実施(6月) ・対象事業決定・補助金交付(7月) ・進捗状況の公表(ホームページ等) ・実績報告書受理 ・実績報告書受理 ・事業成果発表会(全事業終了後) ・結果公表(ホームページ等) ・新年度募集 ・事業提案募集(1月) ・審査会実施(2月) ・対象事業決定 ●補助金 @500,000円×8件	/	①「絆まちづくり1%提案システム」 ・補助金交付(4月) ・追加募集(予備) ・事業提案募集(5月) ・ヒアリング実施(6月) ・対象事業決定・補助金交付(7月) ・進捗状況の公表(ホームページ等) ・実績報告書受理 ・実績報告書受理 ・事業成果発表会(全事業終了後) ・結果公表(ホームページ等) ・新年度募集 ・事業提案募集(1月) ・審査会実施(2月) ・対象事業決定 ●補助金			
			事業費	0	4,000	4,000		4,000		12,000	16,000
		財源内訳	国支出金							0	0
			道支出金							0	0
			町債							0	0
			その他							0	0
一般財源	0	4,000	4,000	4,000	12,000	16,000	0				

【VI. 地域経営】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画			
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業		
168	総合計画に基づく施策・計画事業の評価を行い、改善・見直しを図ります。	計画内容	【事業評価】 ①内部評価(担当課室評価及び理事者評価) ②外部評価(政策評価委員会) ・外部有識者委員謝礼(委員長含む) @20,000円×2名×10回=400,000円 ・町民委員謝礼 @4,000円×4名×10回=160,000円 ・委員会お茶代 @150円×6人×10回 =9,000円	【事業評価】 ①内部評価(担当課室評価及び理事者評価) ②外部評価(政策評価委員会) ・外部有識者委員謝礼(委員長含む) @20,000円×2名×10回=400,000円 ・町民委員謝礼 @4,000円×4名×10回=160,000円 ・委員会お茶代 @150円×6人×10回 =9,000円	【事業評価】 ①内部評価(担当課室評価及び理事者評価) ②外部評価(政策評価委員会) ・外部有識者委員謝礼(委員長含む) @20,000円×2名×10回=400,000円 ・町民委員謝礼 @4,000円×4名×10回=160,000円 ・委員会お茶代 @150円×6人×10回 =9,000円	【事業評価】 ①内部評価(担当課室評価及び理事者評価) ②外部評価(政策評価委員会) ・外部有識者委員謝礼(委員長含む) @20,000円×2名×10回=400,000円 ・町民委員謝礼 @4,000円×4名×10回=160,000円 ・委員会お茶代 @150円×6人×10回 =9,000円	/	【事業評価】 ①内部評価(担当課室評価及び理事者評価) ②外部評価(政策評価委員会) ・外部有識者委員謝礼(委員長含む) ・町民委員謝礼 ・委員会お茶代 【施策評価】 ・施策・計画事業ヒアリングの実施 (政策推進会議による評価・査定)	/		
		事業費	569	569	569	569		2,276		2,276	
		財源内訳	国支出金							0	0
			道支出金							0	0
			町債							0	0
			その他							0	0
一般財源	569		569	569	569	2,276	2,276	0			
169	【充実】 限られた財源を有効に活用し、健全な財政運営を推進します。	計画内容	①政策評価、行財政改革推進計画などと整合性のとれた予算編成 ②中長期財政計画に基づいた財政運営 ③財政運営方針策定に向けた検討 ④予算の執行管理 ⑤効果的な予算編成手法の検討・導入	①政策評価、行財政改革推進計画などと整合性のとれた予算編成 ②中長期財政計画に基づいた財政運営 ③財政運営方針策定に向けた検討 ④予算の執行管理 ⑤効果的な予算編成手法の検討・導入	①政策評価、行財政改革推進計画などと整合性のとれた予算編成 ②中長期財政計画に基づいた財政運営 ③財政運営方針策定に向けた検討 ④予算の執行管理 ⑤効果的な予算編成手法の検討・導入	①政策評価、行財政改革推進計画などと整合性のとれた予算編成 ②中長期財政計画に基づいた財政運営 ③財政運営方針策定に向けた検討 ④予算の執行管理 ⑤効果的な予算編成手法の検討・導入	/	①政策評価、行財政改革推進計画などと整合性のとれた予算編成 ②中長期財政計画に基づいた財政運営 ③財政運営方針策定に向けた検討 ④予算の執行管理 ⑤効果的な予算編成手法の検討・導入	/		
		事業費	0	0	0	0		0		0	
		財源内訳	国支出金							0	0
			道支出金							0	0
			町債							0	0
			その他							0	0
一般財源	0		0	0	0	0	0	0			
170	自律したまちづくりのため、行財政改革を推進します。	計画内容	①行財政改革の推進と推進計画の進捗管理 ②町財政の中長期試算の見直し ③行財政改革の取組状況の公表	①行財政改革の推進と推進計画の進捗管理 ②町財政の中長期試算の見直し ③行財政改革の取組状況の公表	①行財政改革の推進と推進計画の進捗管理 ②町財政の中長期試算の見直し ③行財政改革の取組状況の公表	①行財政改革の推進と推進計画の進捗管理 ②町財政の中長期試算の見直し ③行財政改革の取組状況の公表	/	①行財政改革の推進と推進計画の進捗管理 ②町財政の中長期試算の見直し ③行財政改革の取組状況の公表	/		
		事業費	0	0	0	0		0		0	
		財源内訳	国支出金							0	0
			道支出金							0	0
			町債							0	0
			その他							0	0
一般財源	0		0	0	0	0	0	0			
171	【充実】 各種統計データにより、町勢の現状を分析し、まちづくりに活用します。	計画内容	①基幹統計調査 国勢調査実施(10月1日) ②一般統計調査 栗山の統計・ポケット統計発行(42千円) 町民経済計算実施 各種データの活用 ポケット統計作成費 42,000円(2,500部)	①基幹統計調査 国勢調査結果データの活用 ②一般統計調査 栗山の統計・ポケット統計発行 町民経済計算実施 各種データの活用 町勢の分析 分析資料の公表…業務用資料、ホームページ・町広報等 ポケット統計作成費 42,000円(2,500部)	①基幹統計調査 国勢調査結果データの活用 その他基幹統計調査データの活用(工業統計調査等) ②一般統計調査 栗山の統計・ポケット統計発行 町民経済計算実施 各種データの活用 町勢の分析 分析資料の公表…業務用資料、ホームページ・町広報等 ポケット統計作成費 42,000円(2,500部)	①基幹統計調査 国勢調査結果データの活用 その他基幹統計調査データの活用 ②一般統計調査 栗山の統計・ポケット統計発行 町民経済計算実施 各種データの活用 町勢の分析 分析資料の公表…業務用資料、ホームページ・町広報等 ポケット統計作成費 42,000円(2,500部)	/	①基幹統計調査 国勢調査結果データの活用 その他基幹統計調査データの活用 ②一般統計調査 栗山の統計・ポケット統計発行 町民経済計算実施 各種データの活用 町勢の分析 分析資料の公表…業務用資料、ホームページ・町広報等 ポケット統計作成費	/		
		事業費	42	42	42	42		168		168	
		財源内訳	国支出金							0	0
			道支出金							0	0
			町債							0	0
			その他							0	0
一般財源	42		42	42	42	168	168	0			

【VI. 地域経営】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画		
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業	
172	【充実】 町税収入等の収納率向上に努めます。	計画内容	①システム使用料 33千円×12か月×8% =427,680円 ②コンビニ収納事務手数料 (11,000件×58円×8%)+10千円 =699,040円 ③納税環境の整備(クレジット収納等の調査検討)	①システム使用料 33千円×12か月×8% =427,680円 ②コンビニ収納事務手数料 (11,000件×58円×8%)+10千円 =699,040円 ③納税環境の整備(クレジット収納等の調査検討)	①システム使用料 33千円×12か月×8% =427,680円 ②コンビニ収納事務手数料 (11,000件×58円×8%)+10千円 =699,040円 ③納税環境の整備(クレジット収納等の調査検討)	①システム使用料 33千円×12か月×8% =427,680円 ②コンビニ収納事務手数料 (11,000件×58円×8%)+10千円 =699,040円 ③納税環境の整備(クレジット収納等の調査検討)		①システム使用料 ②コンビニ収納事務手数料 ③納税環境の整備(クレジット収納等の調査検討)		
		事業費	1,128	1,128	1,128	1,128	4,512	4,512		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	1,128	1,128	1,128	1,128	4,512	4,512	0			
173	【充実】 町有財産の適切な維持・整備を進めます。	計画内容	①役場庁舎LED照明器具 2,600千円	①役場庁舎LED照明器具 3,100千円	①役場庁舎LED照明器具 3,100千円 ②役場旧庁舎外壁改修工事 25,000千円	①役場庁舎LED照明器具 4,200千円			■公用車庫庫建替え ■運転休憩室・営繕作業室建替え	
		事業費	2,600	3,100	28,100	4,200	38,000	0		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	2,600	3,100	28,100	4,200	38,000	0	0			
174	【新規】 公共施設等総合管理計画を策定し、計画的に老朽化対策を進めます。	計画内容	①公共施設等総合管理計画の策定	①公共施設等総合管理計画に基づく管理等 ②進捗状況の評価、公表	①公共施設等総合管理計画に基づく管理等 ②進捗状況の評価、公表	①公共施設等総合管理計画に基づく管理等 ②進捗状況の評価、公表		①公共施設等総合管理計画に基づく管理等 ②進捗状況の評価、公表		
		事業費	0	0	0	0	0	0		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	0	0	0	0	0	0	0			
175	時代に対応できる行政職員を育成します。	計画内容	①内閣府・道 2人 3,253千円 ②自己啓発研修 12人 2,300千円 ③自治大学校 3人 2,048千円 ④町村会主催研修 該当者 19千円 ⑤市町村職員研修センター 30人 53千円 ⑥職員研修会 職員全員対象 250千円 ⑦協定大学への職員研究派遣	①内閣府・道 2人 3,253千円 ②自己啓発研修 12人 2,300千円 ③自治大学校 3人 2,048千円 ④町村会主催研修 該当者 19千円 ⑤市町村職員研修センター 30人 53千円 ⑥職員研修会 職員全員対象 250千円 ⑦協定大学への職員研究派遣	①内閣府・道 2人 3,253千円 ②自己啓発研修 12人 2,300千円 ③自治大学校 3人 2,048千円 ④町村会主催研修 該当者 19千円 ⑤市町村職員研修センター 30人 53千円 ⑥職員研修会 職員全員対象 250千円 ⑦協定大学への職員研究派遣	①内閣府・道 2人 3,253千円 ②自己啓発研修 12人 2,300千円 ③自治大学校 3人 2,048千円 ④町村会主催研修 該当者 19千円 ⑤市町村職員研修センター 30人 53千円 ⑥職員研修会 職員全員対象 250千円 ⑦協定大学への職員研究派遣		①内閣府・道 ②自己啓発研修 ③自治大学校 ④町村会主催研修 ⑤市町村職員研修センター ⑥職員研修会 ⑦協定大学への職員研究派遣		
		事業費	7,923	7,923	7,923	7,923	31,692	31,692		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	7,923	7,923	7,923	7,923	31,692	31,692	0			

【VI. 地域経営】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画					
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業				
176	効率的で満足度の高い行政サービスを提供できる組織体制を構築します。	計画内容	①職員数適正化計画の推進 計画に基づく人員配置 必要に応じた計画(組織機能、職員数)の見直し	①職員数適正化計画の推進 計画に基づく人員配置 必要に応じた計画(組織機能、職員数)の見直し	①職員数適正化計画の推進 計画に基づく人員配置 必要に応じた計画(組織機能、職員数)の見直し	①職員数適正化計画の推進 計画に基づく人員配置 必要に応じた計画(組織機能、職員数)の見直し							
			②業務量調査の実施 調査結果分析、職員数適正化計画への反映など 業務量調査システム使用料 93千円	②業務量調査の実施 調査結果分析、職員数適正化計画への反映など 業務量調査システム使用料 93千円	②業務量調査の実施 調査結果分析、職員数適正化計画への反映など 業務量調査システム使用料 93千円	②業務量調査の実施 調査結果分析、職員数適正化計画への反映など 業務量調査システム使用料 93千円				②業務量調査の実施 調査結果分析、職員数適正化計画への反映など 業務量調査システム使用料			
		事業費	93	93	93	93				372	372		
		財源内訳	国支出金								0	0	
			道支出金								0	0	
			町債								0	0	
その他						0	0						
一般財源	93	93	93	93	372	372	0						
177	情報システムの活用により、行政事務の効率化および行政サービスの向上を図ります。	計画内容	①総合行政情報システムの利活用・保守・管理 21,699千円	①総合行政情報システムの利活用・保守・管理 17,868千円	①総合行政情報システムの利活用・保守・管理 17,868千円	①総合行政情報システムの利活用・保守・管理 17,868千円							
			②電子自治体の推進、情報システムの共同利用 1,037千円	②電子自治体の推進、情報システムの共同利用 1,037千円	②電子自治体の推進、情報システムの共同利用 1,037千円	②電子自治体の推進、情報システムの共同利用 1,037千円				②電子自治体の推進、情報システムの共同利用 1,037千円			
		③社会保障・税番号制度導入に係る情報システム改修 20,000千円	③社会保障・税番号制度導入に係る情報システム改修 20,000千円	③内部情報システム機器更新に係るリース料 7,662千円(5年間リース)	③内部情報システム機器更新に係るリース料 7,662千円(5年間リース)	③内部情報システム機器更新に係るリース料 7,662千円(5年間リース)							
		④内部情報システム機器更新 3,831千円(5年間リース、6ヶ月分)	④内部情報システム機器更新に係るリース料 7,662千円(5年間リース)										
		事業費	46,567	46,567	26,567	26,567				146,268	138,996		
		財源内訳	国支出金	13,000	13,000						26,000	0	
道支出金						0	0						
町債						0	0						
その他						0	0						
一般財源	33,567	33,567	26,567	26,567	120,268	138,996	0						
178	情報通信基盤・機器の活用により、行政事務の効率化および住民サービスの向上を図ります。	計画内容	①地域情報化の推進、情報通信基盤・機器の利活用・保守・管理 19,511千円	①地域情報化の推進、情報通信基盤・機器の利活用・保守・管理 19,511千円	①地域情報化の推進、情報通信基盤・機器の利活用・保守・管理 19,295千円	①地域情報化の推進、情報通信基盤・機器の利活用・保守・管理 19,079千円							
			②イントラ電話機器更新(各施設電話主装置含む) 10,000千円	②庁内無線LANシステム更新 2,000千円	②業務用スキャナの更新に係るリース料 875千円(5年間リース)	②業務用スキャナの更新に係るリース料 875千円(5年間リース)				②業務用スキャナの更新に係るリース料 875千円(5年間リース)			
		③業務用スキャナの更新 875千円(5年間リース)	③業務用スキャナの更新に係るリース料 875千円(5年間リース)	③業務用プリンターの更新(旧総合行政計上) 337千円(5年間リース、6ヶ月分)	③業務用プリンターの更新に係るリース料(旧総合行政計上) 674千円(5年間リース)	③業務用プリンターの更新に係るリース料(旧総合行政計上) 674千円(5年間リース)							
		事業費	30,386	22,386	20,507	20,628				93,907	80,430		
		財源内訳	国支出金								0	0	
			道支出金								0	0	
町債						0	0						
その他						0	0						
一般財源	30,386	22,386	20,507	20,628	93,907	80,430	0						
179	地域振興策や事務共同処理の検討など、広域連携の推進を図ります。	計画内容	①負担金の支出(490千円) ・広域ソフト事業実施補助	①負担金の支出(490千円) ・広域ソフト事業実施補助	①負担金の支出(490千円) ・広域ソフト事業実施補助	①負担金の支出(490千円) ・広域ソフト事業実施補助							
			②各部会による専門的な検討 ・幹事会による広域連携可能または共同設置 事業の抽出・検討 ・副町長会議	②各部会による専門的な検討 ・幹事会による広域連携可能または共同設置 事業の抽出・検討 ・副町長会議	②各部会による専門的な検討 ・幹事会による広域連携可能または共同設置 事業の抽出・検討 ・副町長会議	②各部会による専門的な検討 ・幹事会による広域連携可能または共同設置 事業の抽出・検討 ・副町長会議				②各部会による専門的な検討 ・幹事会による広域連携可能または共同設置 事業の抽出・検討 ・副町長会議			
		事業費	490	490	490	490				1,960	1,960		
		財源内訳	国支出金								0	0	
			道支出金								0	0	
			町債								0	0	
その他						0	0						
一般財源	490	490	490	490	1,960	1,960	0						

【VI. 地域経営】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画		
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業	
180	【充実】 広報くりやまの発行など、行政情報を広く発信します。	計画内容	①広報印刷費および関係需用費6,066千円 ②広報配付委託および丁合機保守1,695千円 ③事務機借上および編集ソフト使用料等509千円 ④暮らしのガイドブックの作成に伴う広告料-千円 ⑤記録映像撮影委託465千円 ⑥記録映像のホームページ公開(以後、随時) ⑦広報、広報写真。記録映像デジタルアーカイブ化事業臨時雇用、委託料など500千円 ⑧栗山町公式ホームページの運営	①広報印刷費および関係需用費6,066千円 ②広報配付委託および丁合機保守1,695千円 ③事務機借上および編集ソフト使用料等509千円 ④町勢要覧発行準備(翻訳等)200千円 ⑤記録映像撮影委託465千円 ⑥広報、広報写真。記録映像デジタルアーカイブ化事業臨時雇用、委託料など500千円 ⑦栗山町公式ホームページの運営	①広報印刷費および関係需用費6,066千円 ②広報配付委託および丁合機保守1,695千円 ③事務機借上および編集ソフト使用料等509千円 ④町勢要覧作成 4か国語計 計8000部印刷500千円 ⑤記録映像撮影委託465千円 ⑥広報、広報写真。記録映像デジタルアーカイブ化事業臨時雇用、委託料など500千円 ⑦栗山町公式ホームページの運営	①広報印刷費および関係需用費6,066千円 ②広報配付委託および丁合機保守1,695千円 ③事務機借上および編集ソフト使用料等509千円 ④暮らしのガイドブックの作成に伴う広告料-千円 ⑤記録映像撮影委託465千円 ⑥広報、広報写真。記録映像デジタルアーカイブ化事業臨時雇用、委託料など500千円 ⑦栗山町公式ホームページの運営			①広報印刷費および関係需用費 ②広報配付委託および丁合機保守 ③事務機借上および編集ソフト使用料等 ④折込用丁合機更新 ⑤町勢要覧発行準備(翻訳等) ⑥町勢要覧作成 4か国語計 ガイドブック版ホームページ更新 ⑦暮らしのガイドブックの作成に伴う広告料 ⑧記録映像撮影委託 ⑨ホームページバージョンアップ・デザイン刷新 ⑩栗山町公式ホームページの運営	
		事業費	9,235	9,435	10,535	9,235	38,440	43,900		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	9,235		9,435	10,535	9,235	38,440	43,900	0		
181	町が保有する公文書の適切な公開と情報提供を推進します。	計画内容	①公開制度及び公開請求状況の町広報掲載 ②情報公開・個人情報保護審査会	①公開制度及び公開請求状況の町広報掲載 ②情報公開・個人情報保護審査会	①公開制度及び公開請求状況の町広報掲載 ②情報公開・個人情報保護審査会	①公開制度及び公開請求状況の町広報掲載 ②情報公開・個人情報保護審査会			①公開制度及び公開請求状況の町広報掲載 ②情報公開・個人情報保護審査会	
		事業費	128	128	128	128	512	512		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	128		128	128	128	512	512	0		
182	【充実】 予算・決算・財政状況などの情報を分かりやすく公表します。	計画内容	①財政情報の広報紙掲載(年6回) ・予算、決算、財務諸表、財政状況 648千円(財務諸表作成費) ②予算説明書及び決算説明書の発行 ・予算説明書 一般向け6,500部 750千円(印刷・配付費) 中学生向け2,000部 80千円(印刷費) 小学生向け1,000部 60千円(印刷費) ・決算説明書(自前印刷) ③財政事情説明書の公表 ④財政情報のホームページ掲載 ⑤財政モニター制度の実施 40千円(モニター謝礼、会議費) ⑥町財政に関する出前型学習会の開催			①財政情報の広報紙掲載(年6回) ・予算、決算、財務諸表、財政状況 ②予算説明書及び決算説明書の発行 ・予算説明書 一般向け 中学生向け 小学生向け ・決算説明書(自前印刷) ③財政事情説明書の公表 ④財政情報のホームページ掲載 ⑤財政モニター制度の実施 (モニター謝礼、会議費) ⑥町財政に関する出前型学習会の開催				
		事業費	1,578	1,578	1,578	1,578	6,312	6,312		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	1,578		1,578	1,578	1,578	6,312	6,312	0		
183	【充実】 自治基本条例に基づき、町民への情報提供に関する仕組みを充実します。	計画内容	①各種計画及び条例策定プロセスの公表 ②審議会等情報の公開 ③出前型政策説明(懇談)制度の運用 ・お茶代 @150円×20人×10回=30,000円	①各種計画及び条例策定プロセスの公表 ②審議会等情報の公開 ③出前型政策説明(懇談)制度の運用 ・お茶代 @150円×20人×10回=30,000円	①各種計画及び条例策定プロセスの公表 ②審議会等情報の公開 ③出前型政策説明(懇談)制度の運用 ・お茶代 @150円×20人×15回=45,000円	①各種計画及び条例策定プロセスの公表 ②審議会等情報の公開 ③出前型政策説明(懇談)制度の運用 ・お茶代 @150円×20人×15回=45,000円			①各種計画及び条例策定プロセスの公表 ②審議会等情報の公開 ③出前型政策説明(懇談)制度の運用 ・お茶代	
		事業費	30	30	45	45	150	240		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	30		30	45	45	150	240	0		

【VI. 地域経営】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画		
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業	
184	栗山町史(平成史)を編集・発刊します。	計画内容	①町史編集に伴う原稿資料の作成及び整理	①町史編集に伴う原稿資料の作成及び整理 臨時職員 1名 1,500千円 ②町史編集委員会、庁内連絡会議の設置	①町史編集に伴う原稿資料の作成及び整理 臨時職員 1名 1,500千円 ②町史編集委員会、庁内連絡会議	①町史編集に伴う原稿資料の作成及び整理 臨時職員 1名 1,500千円 ②町史編集委員会、庁内連絡会議		①町史編集に伴う原稿資料の作成及び整理 臨時職員 1名 ②町史編集委員会 ③町史発行 2,000部		
		事業費	0	1,500	1,500	1,500	4,500	21,500		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	0	1,500	1,500	1,500	4,500	21,500	0			
185	【新規】 開拓130周年記念事業を行います。	計画内容	①記念誌編集に伴う原稿資料の作成及び整理	①記念誌編集に伴う原稿資料の作成及び整理	①記念誌編集に伴う原稿資料の作成及び整理	①開拓130年及び町政施行70年記念式典の実施 ②記念誌編集に伴う原稿資料の作成及び整理		①記念誌の発行(10年の歩みダイジェスト版)		
		事業費	0	0	0	1,000	1,000	1,500		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	0	0	0	1,000	1,000	1,500	0			
186	【新規】 コミュニティ放送により、町民との情報共有手段の充実を図ります。	計画内容			①発起人集め ②設立準備会設立 ③発起人総会開催 ④事業計画の策定 放送区域の設定(電波調査等) 役員の決定、放送番組の編集、番組審議機関の設置 経営見直し、申請書類の準備 ⑤放送局開局を希望する法人の募集 ⑥放送局開局希望法人に対する開局支援 ⑦放送局開局支援業務委託料 4,100千円(電波調査及び申請書類作成費用)	①免許申請(工事着工)、審査(総合通信局) ②予備免許交付、運用開始 ③放送局整備工事 43,050千円 ④防災ラジオ購入 10千円×2,500台×1.08 =27,000千円 ⑤広報料 300千円×5ヶ月×1.08=1,620千円 ⑥専用線利用料 100千円×5ヶ月×1.08 =540千円		①広告料 ②機器保守料 ③専用線利用料		
		事業費	0	0	4,100	72,210	76,310	22,896		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金				13,500	13,500	0	
			町債				43,000	43,000	0	
			その他					0	0	
一般財源	0	0	4,100	15,710	19,810	22,896	0			
187	町長のまちづくり懇談会を行います。	計画内容	①まちづくり懇談会食糧費……………66千円	①まちづくり懇談会食糧費……………66千円	①まちづくり懇談会食糧費……………66千円	①まちづくり懇談会食糧費……………66千円		①まちづくり懇談会食糧費		
		事業費	66	66	66	66	264	264		
		財源内訳	国支出金					0	0	
			道支出金					0	0	
			町債					0	0	
			その他					0	0	
一般財源	66	66	66	66	264	264	0			

【VI. 地域経営】

No.	計画事業名	区分	前期実施計画					後期展望計画		
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業	
188	日常的な町民との情報共有制度「くりやまキャッチ・ボイス」を運用します。	計画内容	①制度の運用 *町広報等に係るコストは別事業で計上	①制度の運用 *町広報等に係るコストは別事業で計上	①制度の運用 *町広報等に係るコストは別事業で計上	①制度の運用 *町広報等に係るコストは別事業で計上		①制度の運用 *町広報等に係るコストは別事業で計上		
		事業費	0	0	0	0	0	0	0	
		財源内訳	国支出金					0	0	0
			道支出金					0	0	0
			町債					0	0	0
			その他					0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	0	0			
189	【充実】 自治基本条例に基づき、多様な世代に対する町民参加機会を充実します。	計画内容	①重要事項に対する町民参加保障 個別の必要予算は各課室事業で要求 ②審議会等の委員公募の推進 ③子どものまちづくり参加体験 中学校公民科教育プログラム 「(仮)子ども提案まちづくり体験事業」 a. 先進地視察(浦幌町、ニセコ町) b. 内部検討・制度設計 (事業対象及び支援内容等検討) *経営企画課・町教委による検討会議 c. 学校(中学校または高校)との協議 *総合的な学習の時間の確保等	①重要事項に対する町民参加保障 個別の必要予算は各課室事業で要求 ②審議会等の委員公募の推進 ③子どものまちづくり参加体験 中学校公民科教育プログラム 「(仮)子ども提案まちづくり体験事業」 c. 学校(中学校または高校)との協議 *総合的な学習の時間の確保等 d. 実施要綱等の整備(制度化) e. 学校指導計画への反映 *想定される実践パターン 中学校または高校カリキュラム 生徒会活動、学校推薦生徒による実行委	①重要事項に対する町民参加保障 個別の必要予算は各課室事業で要求 ②審議会等の委員公募の推進 ③子どものまちづくり参加体験 中学校公民科教育プログラム 「(仮)子ども提案まちづくり体験事業」 *試行的な取り組み f. WS実施 *栗中3年生想定 WS有識者謝礼 @25千円×3クラス×2回 =150千円 現地学習用バス借上料(スクール転用) @ 5千円×3クラス×2回 = 30千円 WS需用費 @20千円	①重要事項に対する町民参加保障 個別の必要予算は各課室事業で要求 ②審議会等の委員公募の推進 ③子どものまちづくり参加体験 中学校公民科教育プログラム 中学校公民科教育プログラム 総合計画策定(改定)への子ども参加機会 ・お茶代 @150円×20人×5回=15,000円 ・消耗品費@5,000円 ③「(仮)子ども提案まちづくり体験事業」 f. WS実施(200千円) g. 提案事業の実現(800千円) @400千円×2提案事業		①重要事項に対する町民参加保障 個別の必要予算は各課室事業で要求 ②審議会等の委員公募の推進 ③子どものまちづくり参加体験 中学校公民科教育プログラム 中学校公民科教育プログラム 総合計画策定(改定)への子ども参加機会 ・お茶代 ・消耗品費 「(仮)子ども提案まちづくり体験事業」 f.WS実施 g.提案事業の実現		
		事業費	0	0	200	1,020	1,220	4,020	0	
		財源内訳	国支出金					0	0	0
			道支出金					0	0	0
			町債					0	0	0
			その他					0	0	0
一般財源	0	0	200	1,020	1,220	4,020	0			
190	【新規】 町民参加により、栗山町自治基本条例の見直しを行います。	計画内容	①先進地自治体視察(道外) @60,000円×2名=120,000円 ②庁内見直し委員会 ・アドバイザー謝礼 @25,000円×1名×6回=150,000円 ③(仮)町民見直し委員会 ・委員謝礼@4,000円×10人×5回 =200,000円 ④町民参加機会の提供 ・お茶代@150円×20人×20回=60,000円 ⑤啓発パンフレット(7,000部カラー8P) ・印刷費@170,000円					①先進地自治体視察(道外) ②庁内見直し委員会 ・アドバイザー謝礼 ③(仮)町民見直し委員会 ・委員謝礼 ④町民参加機会の提供 ・お茶代 ⑤啓発パンフレット ・印刷費		
		事業費	0	700	0	0	700	700	0	
		財源内訳	国支出金					0	0	0
			道支出金					0	0	0
			町債					0	0	0
			その他					0	0	0
一般財源	0	700	0	0	700	700	0			

【参考:分野別事業費内訳】

分野別	区分	前期実施計画					後期展望計画		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前期4か年全体	優先事業(財政計画計上)	展望事業	
I 生活環境	事業費	346,666	254,362	303,730	254,309	1,159,067	872,476		
	財源内訳	国支出金	0	0	11,550	0	11,550	0	
		道支出金	3,000	0	0	0	3,000	0	
		町債	97,200	54,000	57,600	68,500	277,300	104,400	
		その他	1,100	1,100	1,100	1,100	4,400	19,045	
一般財源	245,366	199,262	233,480	184,709	862,817	749,031	0		
II 教育	事業費	466,600	337,157	438,421	526,334	1,768,512	1,201,979		
	財源内訳	国支出金	17,873	2,230	14,930	7,296	42,329	8,920	
		道支出金	12,565	7,030	7,030	4,200	30,825	16,800	
		町債	67,600	0	51,100	192,900	311,600	0	
		その他	88,709	111,109	108,529	131,193	439,540	524,772	
一般財源	279,853	216,788	256,832	190,745	944,218	651,487	0		
III 医療・保健・福祉	事業費	317,279	279,690	280,295	282,700	1,159,964	1,130,328		
	財源内訳	国支出金	10,502	8,246	8,246	8,246	35,240	32,984	
		道支出金	10,615	10,615	10,615	10,615	42,460	42,460	
		町債	0	0	0	0	0	0	
		その他	13,459	13,659	13,659	13,659	54,436	54,636	
一般財源	282,703	247,170	247,775	250,180	1,027,828	1,000,248	0		
IV 産業	事業費	639,160	643,109	609,398	564,733	2,456,400	2,165,448		
	財源内訳	国支出金	134,796	134,796	134,796	134,796	539,184	539,184	
		道支出金	155,923	162,832	142,921	114,867	576,543	417,697	
		町債	42,500	48,200	35,800	26,500	153,000	76,700	
		その他	107,810	107,810	107,810	107,810	431,240	431,240	
一般財源	198,131	189,471	188,071	180,760	756,433	700,627	0		
V 都市基盤	事業費	1,272,615	1,056,241	1,023,566	932,604	4,285,026	3,228,159		
	財源内訳	国支出金	421,391	309,751	373,540	343,115	1,447,797	1,191,350	
		道支出金	2,500	0	2,500	0	5,000	0	
		町債	627,400	570,600	462,100	396,500	2,056,600	1,505,300	
		その他	35,000	0	26,991	27,577	89,568	116,168	
一般財源	186,324	175,890	158,435	165,412	686,061	415,341	0		
VI 地域経営	事業費	105,355	104,255	112,091	156,942	478,643	396,330		
	財源内訳	国支出金	13,000	13,000	0	0	26,000	0	
		道支出金	0	0	0	13,500	13,500	0	
		町債	0	0	0	43,000	43,000	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	
一般財源	92,355	91,255	112,091	100,442	396,143	396,330	0		
合計	事業費	3,147,675	2,674,814	2,767,501	2,717,622	11,307,612	8,994,720		
	財源内訳	国支出金	597,562	468,023	543,062	493,453	2,102,100	1,772,438	
		道支出金	184,603	180,477	163,066	143,182	671,328	476,957	
		町債	834,700	672,800	606,600	727,400	2,841,500	1,686,400	
		その他	246,078	233,678	258,089	281,339	1,019,184	1,145,861	
一般財源	1,284,732	1,119,836	1,196,684	1,072,248	4,673,500	3,913,064	0		